

保土ヶ谷 ほっとな まちづくり



第3期保土ヶ谷ほとなまちづくり(地域福祉保健計画)は、多くの区民の皆さん、関係団体・機関が熱心に意見交換しながら策定されました。

しかし、計画の策定はゴールではなく、スタートです。

本計画は、「つながり支えあい 安心していきいきと暮らせるまち ほどがや」を基本理念としています。基本理念の実現に向けては、策定の際と同様、多くの区民の皆さん、関係団体・機関がつながり、協力し合って推進していくことが重要です。

保土ヶ谷の力を結集し、“ほとなまちづくり”を進めましょう。

— 目次 —

第1章	第3期保土ヶ谷ほとなまちづくりの基本理念	1
第2章	地域福祉保健を取り巻く状況	4
第3章	区全域計画	9
	1 見守り・支えあい	11
	2 いきいき健康	19
	3 担い手づくり・情報	27
第4章	地区別計画	35
	● 保土ヶ谷地区	36
	● 保土ヶ谷南部地区	38
	● 保土ヶ谷中地区	40
	● 岩井町原地区	42
	● 保土ヶ谷西部地区	44
	● 新桜ヶ丘地区	46
	● 権太坂境木地区	48
	● 保土ヶ谷東部地区	50
	● 岩間地区	52
	● 中央地区	54
	● 中央東部地区	56
	● 和田地区	58
	● 上星川地区	60
	● 常盤台地区	62
	● 西谷地区	64
	● 川島東部地区	66
	● 仏向地区	68
	● 川島原地区	70
	● 上新地区	72
	● 笹山地区	74
	● 千丸台地区	76
第5章	取組の進め方	78
第6章	資料編	85

第1章 第3期保土ヶ谷ほっとなまちづくりの基本理念

1 策定にあたって

■ 近年…

少子高齢化や核家族化が進み、家族だけでは解決できない課題が増えています。

また、地域を取り巻く状況も大きく変化し、「地域のつながりが少なくなった」という声も聞かれます。

保土ヶ谷でも、家族や近所に相談できる人がいない、異変に気付く人がいない、という状況が増えています。

■ こんな中、力を発揮するのは…

地域のつながり・支えあいです。身近な地域ほど、近所の方の変化に気付いたり、助けあったりしやすくなります。あいさつを交わすだけでも、孤立を防ぐきっかけになります。

また、一緒に活動したり、趣味を楽しんだりできる仲間がいれば、心と身体の健康にもつながります。

いつ起こるか分からない災害時を考えても、日頃から地域で助けあえる絆を深めておくことはとても重要です。



■ 保土ヶ谷ほっとなまちづくりとは…

保土ヶ谷の様々な人や団体が、つながり支えあうことで、安心していきいきと暮らせる地域にしていこうとする、「保土ヶ谷区地域福祉保健計画」の愛称です。

区全体の方針や取組を記載する「区全域計画」と、地区ごとに住民の皆さんが中心となって策定する「地区別計画」から構成されており、この計画に基づいて区全体・各地区が取組を進めていきます。

“ほっと”には、人の温かさやまちの活力を表す「ホット(HOT)」で、安心して暮らせる「ほっとする」まちをつくろう、という意味が込められています。もちろん「“ほど”がや」にもかかっています。



■ 10年後の姿を見据えて…

2025年(平成37年)には団塊の世代が75歳以上になり、介護需要が急速に高まる2025年問題と言われる時期を迎えます。横浜市では、2015年(平成27年)に比べ、75歳以上の高齢者が1.4倍、認知症のある高齢者が1.5倍に急増することが見込まれています。

また、1世帯あたりの人数も減少傾向にありますので、地域のつながり・支えあいを進める保土ヶ谷ほっとなまちづくりの取組はこれからますます重要になってきます。

計画全体で大切にしている視点



① 地域の人々を対象に

「ほっとなまちづくり」は、地域に暮らす全員のために進める取組です。

障害や病気がある人もない人も、つながり支えあう一員として、声をかけ合っていきます。



これからの保土ヶ谷を担う子どもや若い世代が、地域活動に参加する機会をつくっていきます。

支援が届かないまま様々な生活課題を抱えている人の存在に気づき、支えることも必要です。

② 地域の人々で進めよう

区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザも一緒に進めます!



「ほっとなまちづくり」は、一部の人が進めるものではありません。全員が主役の取組です。

あいさつを交わしたり、さりげなく見守ったり…一人ひとりができるちょっとしたことが、誰かの支えになることもあります。



「する・される」の関係よりも、一人ひとりのできることを生かしながら「お互いさま」のまちを目指します。

活動している様々な人や団体、関係機関は連携して「安心していきいきと暮らせるまち」を目指します。

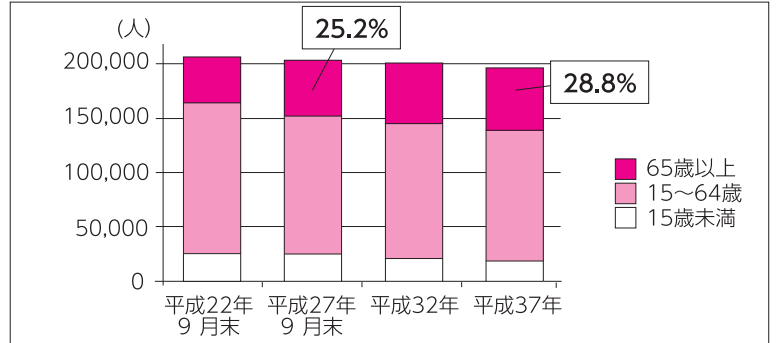
第2章 地域福祉保健を取り巻く状況

1 統計で見る保土ヶ谷

少子高齢化の進展

人口推計によると、今後更に少子高齢化が進み、人口全体も減少していきます。平成37年(2025年)には65歳以上の割合(高齢化率)は28.8%と平成27年9月末から3.6ポイント増加、75歳以上の高齢者人口は約1万人増加すると推計されています。

<年齢層別人口の推移>

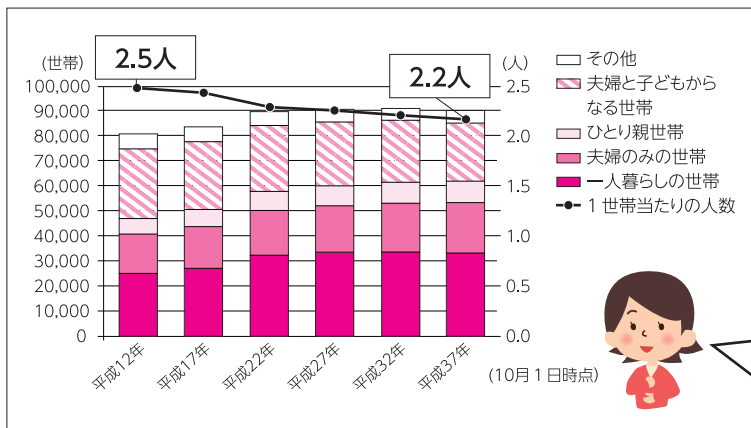


(出典:横浜市統計ポータルサイト)

	15歳未満	15~64歳	65~74歳	75歳以上	合計
平成27年(9月末時点)	23,792人	129,193人	26,399人	25,221人	204,605人
	5千人減 (20.3%減)	9千人減 (6.8%減)	5千人減 (17.1%減)	9千人増 (37.1%増)	9千人減 (4.3%減)
平成37年推計<2025年>	18,953人	120,414人	21,873人	34,571人	195,811人

一人暮らし・夫婦のみ世帯の増

<家族類型別世帯数及び1世帯当たり人数の推移>



(出典:国勢調査)

“高齢者が元気に暮らし続けられるまち”
“子育てしやすいまち”をみんなで作って
いく必要があるね。



一人暮らしの世帯は年々増加する一方で、1世帯当たりの人数は減少傾向にあり、平成37年には2.2人になると推計されています。

特に高齢者の一人暮らしの世帯は平成12年から22年の10年間で約1.8倍となっており、孤立などの課題に直面しています。

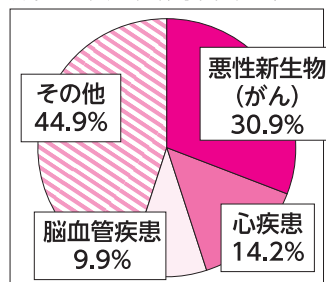
家族だけでなく、同じ地域に住んでいる人たち
とも助けあって生活していければいいね。



生活習慣改善の大切さ

悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患などがもとで亡くなる方が多くなっています。生活習慣を改善することで予防につながる場合もあるため、早い段階から運動や食事などに気を付けることが重要です。

<平成25年死因割合(上位3位)>



(出典:横浜市健康福祉局)

生活習慣の改善は、認知症になる確率を減らすこと
にもつながります。



誰もが自分らしく地域で暮らすために

要介護認定者の増加

平成22年3月から27年3月までの5年間で要介護認定者(要支援以上)が約2,000人増加しています。また、要介護認定者のうち約55%に認知症があるという推計もあります。自立した生活を長く続けるためには、健康づくりや介護予防が重要です。

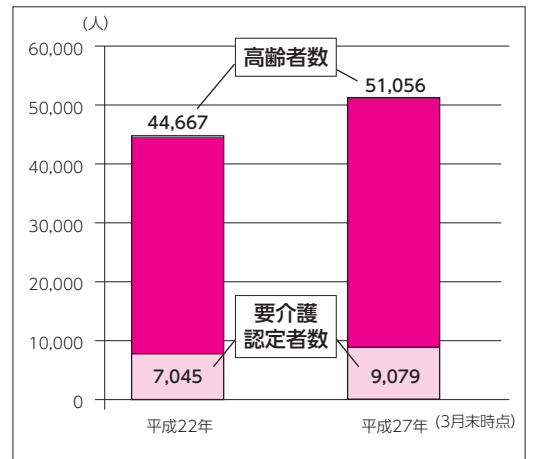


元気な高齢者の活躍

一方、要介護認定を受けていない方が高齢者全体の8割以上を占めています。元気な高齢者を増やし、その力を生かしていくことが大切です。



<高齢者数・要介護認定者数の推移>



(出典:横浜市統計ポータルサイト)

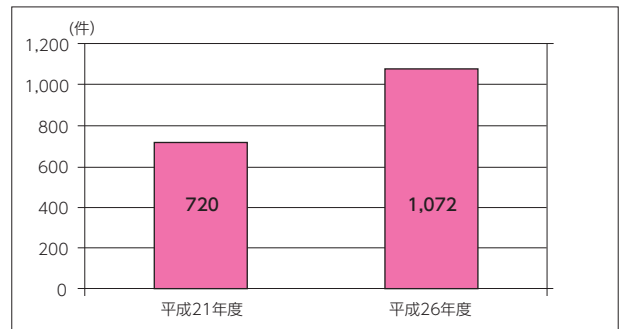
地域における子育て支援の重要性

児童相談所(市全体)での新規虐待把握件数は、平成21年度から26年度までの5年間で約300件増加しています。

子どもの虐待やいじめなどを未然に防ぐためには、学校との連携や地域全体での見守りが大切になります。



<児童相談所(市全体)での新規虐待把握件数の推移>



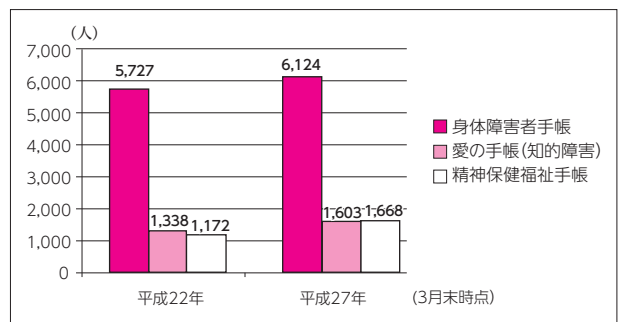
(出典:横浜市子ども青少年局)

障害者への理解とつながりづくり

平成27年3月末時点での障害者手帳所持者数は、約9,400人(区全体人口比で4.6%)となっており、平成22年3月末から比較すると約1,200人増加しています。

お互いに理解し合い、同じ地域の中でつながり合える関係づくりが求められています。

<各障害者手帳所持者数の推移>



(出典:横浜市統計書)

コラム 保土ヶ谷が100人の村だったら...

保土ヶ谷区の状況についてもう少し身近にイメージしやすいように、約20万人の人口を100人に換算してみました。



47世帯
(うち17世帯が一人暮らし)



0歳の赤ちゃん1人
65歳以上の高齢者25人
認知症がある方2人



要介護認定者4人
障害者手帳所持者5人
生活保護受給者2人



外国人2人

2 アンケートで見る保土ヶ谷

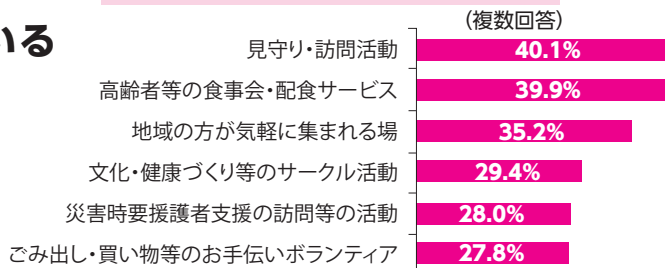
保土ヶ谷区地域福祉保健アンケート

調査概要 調査時期：平成27年1月
 調査対象：保土ヶ谷区在住の18歳以上4,000人(住民基本台帳から無作為抽出)
 調査方法：郵送によるアンケート形式
 回答数：2,091人(回答率52.3%)

見守り・支えあいの活動が求められている

今後、地域で充実してほしい福祉保健活動について、「見守り・訪問活動」や「高齢者等の食事会・配食サービス」などが上位を占めました。身近な地域での支えあいの取組が必要とされています。

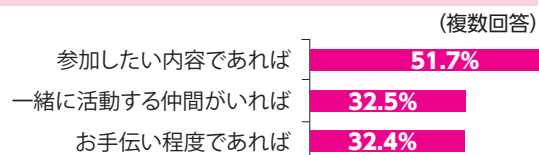
● 今後、地域で充実してほしい福祉保健活動



地域活動への参加は内容が大事 仲間、手伝い程度の気軽さもポイント

どのようなことがあると地域活動に参加しやすいかについて、約半数の人が「参加したい内容であれば」と回答。「一緒に活動する仲間がいれば」、「お手伝い程度であれば」と回答した人がそれぞれ約3割いました。内容の充実だけでなく、参加への工夫も重要な要素となっています。

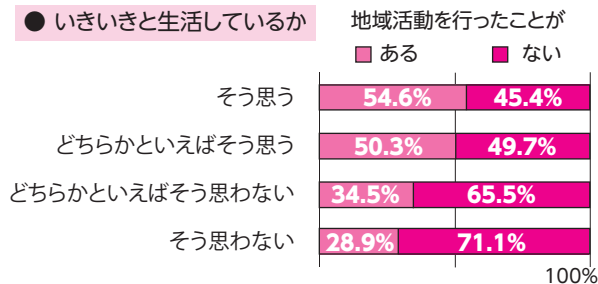
● どのようなことがあると地域活動に参加しやすいか



地域活動で、いきいき!

いきいきと生活していると感じているかについて、いきいきと感じていると回答した人ほど、地域活動を行ったことがある割合が多くなっています。

● いきいきと生活しているか

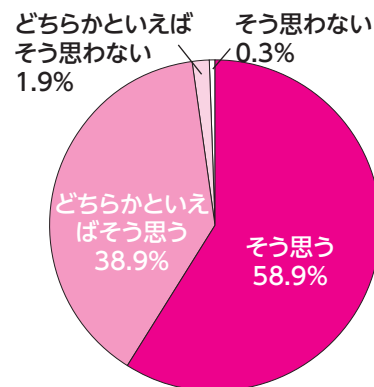


保土ヶ谷区子育てアンケート

調査概要 調査時期：平成24年5月～平成25年1月
 調査対象：生後4か月児～3歳児を養育している保土ヶ谷区在住者
 調査方法：乳幼児健康診査(4か月児・1歳6か月児・3歳児)対象者への郵送によるアンケート形式
 回答数：2,094人(回答率69.5%)

子どもの成長に地域との関わりは「必要」

子どもの健やかな成長や自立のため、近所や地域の人との関わりは必要かについて、子育て中の方の9割以上が、地域との関わりを必要と考えていることが分かりました。



3 「トークほどがや」で見る保土ヶ谷

★「トークほどがや」実施概要★

保土ヶ谷の魅力や将来像をざっくばらんに語り合うワークショップ「トークほどがや」を開催しました。当日は中学生から80代の方まで幅広い年代の方々152人が参加し、ワールドカフェ形式で自由に意見を出し合いました。

日時：平成26年7月19日(土)13:30～16:00

場所：西谷地区センター体育館

ほどがやに住んでよかったこと。 ほどがやはどんなまち？

- ・ 山坂が多いがそのおかげで足腰が鍛えられ、ご近所同士の助けあいも生まれている。
- ・ 横浜国立大学や保土ヶ谷公園、保土ヶ谷宿など、様々な地域資源がある。
- ・ 地域を愛している人が多く、人情に厚い。絆が残っている。

★ワールドカフェって??

「カフェにいるときの気軽な雰囲気」で「会議のような真剣な討議」ができる話し合いの方法です。

テーマごとに席替えをするので、多くの方と意見交換ができます。



10年後のほどがや大予想。どんなまちになっている？

- ・ 地域によっては駅周辺の人口が増えるかもしれないが、高齢化が進み、認知症や一人暮らしの方が増える。
- ・ 山坂で鍛えられた元気な高齢者も増え、担い手として活躍している。
- ・ 子育てを地域、社会全体で支えるまちになってほしい。
- ・ 相鉄とJR・東横線の直通線開通により町並みが変わるが、緑、畑、寺、神社、あいさつの習慣などの今の良さを残していきたい。



10年後、より良いほどがやであるためにできることは？



- ・ 自治会町内会の当番や地域の清掃など、それぞれができることをできるだけやろう。
- ・ ボランティア、地域活動の後継者の育成。国大生などの学生たちともコラボレーションしたい。
- ・ より良い地域づくりは地域の資源を知ること。保土ヶ谷の良さを積極的に見つけよう。

(皆さんの想いが書き込まれた模造紙)

参加者の皆さんから口々に出た言葉は「保土ヶ谷が好き」ということでした。

地域・年齢・性別・立場などが異なる様々な方が、「ほどがや」というキーワードで話し合い、想いを1つにできたこの時間は、とても有意義で大切な機会となりました。

「トークほどがや」のような話し合いは、その後、各地区において地域を改めて見つめ直す手法の1つとして、広がりを見せています。

トーク
ほどがや

地域の一員として、青少年を輪の中に入れることが必要。乳幼児から高齢者までいる中に混ざること、色々な見方、価値観に触れ、人との距離感をつかめるようになる。

★ 自立に向けた若者の居場所づくり、総合相談窓口

【よこはま西部ユースプラザ】



「地域の方から声をかけてもらえることが嬉しい」という利用者の声。いかに今まで孤立してきたか。仲間だと感じられる温かい見守りが支えになる。

★ 障害者の地域での日常生活を見守る後見的支援事業を実施

【障がい者後見的支援室 ほどがやゆめあん】



在住外国人の中には話を聞いてもらえる場がない人もいる。在住外国人が孤立せず、地域の中で顔の見える関係ができれば。

★ 多言語による生活情報の提供、相談

【保土ヶ谷区国際交流コーナー】



子ども同士はすぐに仲良くなるので、子どもを遊ばせながら、母親同士で情報交換をしている。つながっていると感じると安心できる。

★ 子育てママサークル

【ちゃいるどまま】



学生のアイデアを、地域の方たちが自由にやらせてくれて、協力もしてくれる。地域とつながるのは、勉強になるし、楽しい。

★ 横浜国立大生によるまちづくり団体【ワケヨコ】



活動を始めたのは自分のため、生きがいにもなっている。できる範囲で楽しみながら。



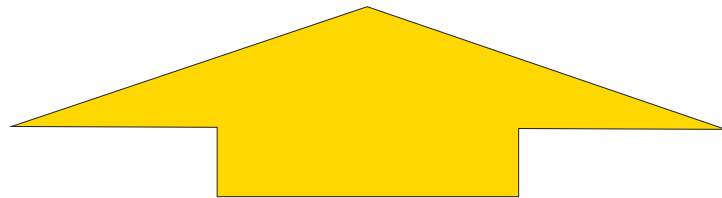
日曜大工、介護施設での麻雀の相手など男だから得意なことがある。

★ 男性のボランティアグループ【そこそこ手伝い隊】

第3章 区全域計画

《基本理念》つながり支えあい 安心していきいきと暮らせるまち ほどがや

【大切にしている視点】 地域のみんなを対象に／地域のみんなで進めよう



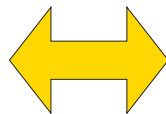
3つのテーマに沿った取組を進めて基本理念の実現を目指します。

1 見守り・支えあい

地域の誰も孤立しないよう、つながりをつくり、お互いに見守りあい、助けあえるような安心のまちを目指します。

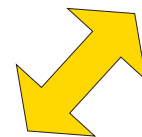
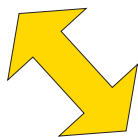
2 いきいき健康

地域の誰もが身近に出かける場所があって、一緒に趣味を楽しんだり健康づくりの活動に参加できたりするような、心も身体も健康なまちを目指します。



3 担い手づくり・情報

地域の様々な取組を進めていくため、担い手の輪が広がるまち、必要な人に必要な情報がしっかり伝わるまちを目指します。



なお、3つのテーマは、それぞれ関連する部分もあります。

例えば ○「見守り・支えあい」の取組へ参加すると、まわりとのつながりが深まり、自分自身の生きがいづくりや健康づくりにつながります。

○「いきいき健康」の取組へ参加することは、お互いに見守りあいにもつながります。

○「担い手づくり・情報」の取組を進めることで、「見守り・支えあい」「いきいき健康」の取組の充実につながります。

第3章(11～34ページ)の構成

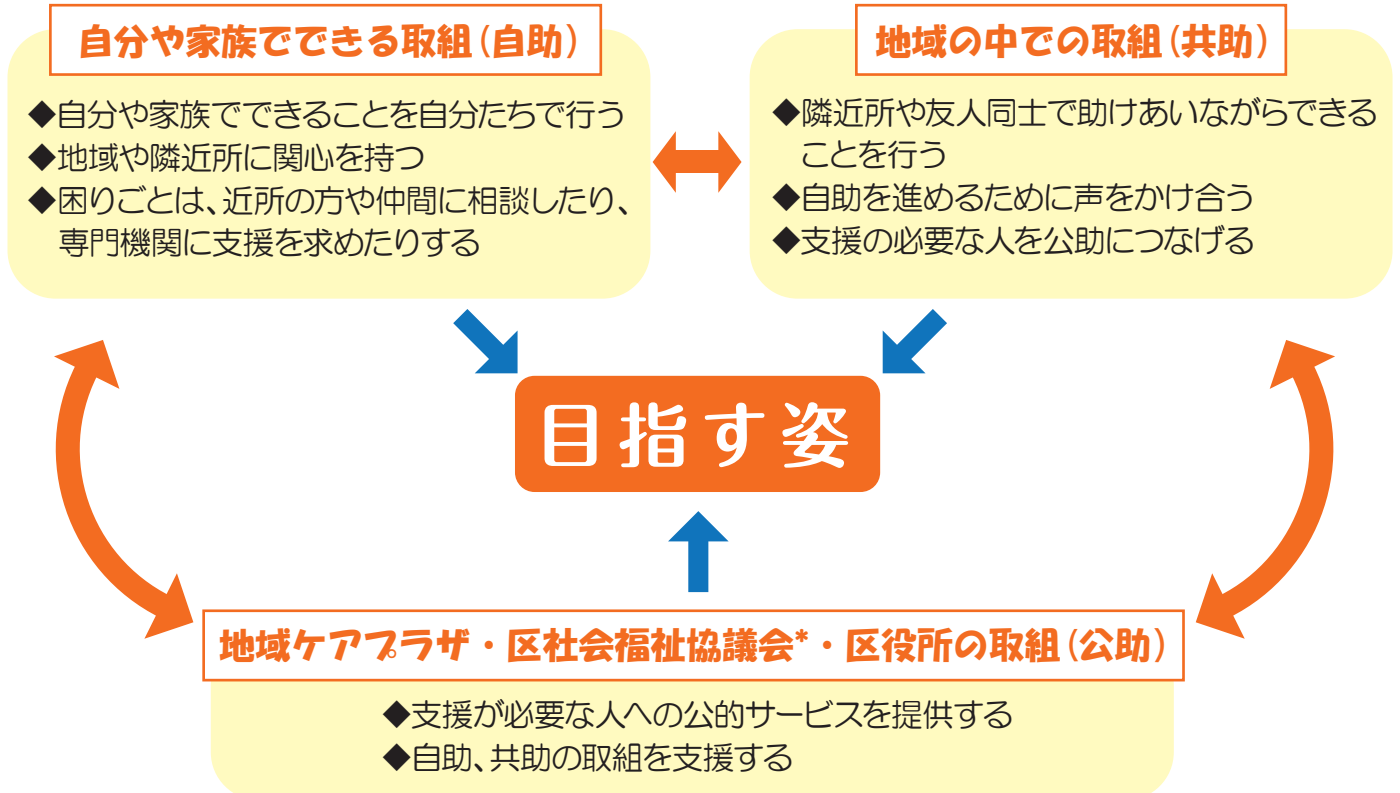
3つのテーマごとに、(1)これまでの取組、(2)目指す姿、(3)目指す姿に向けた主な取組に整理しています。

	(1)これまでの取組	(2)目指す姿	(3)目指す姿に向けた主な取組
1 見守り・支えあい	これまでに行われてきた取組や、取組を進めるうえで見えてきた課題	見えてきた現在の課題を踏まえた、今後目指していくまちの姿・将来像	目指す姿の実現に向けた主な取組及び例示と、区全域を対象に行われている主な取組や制度
2 いきいき健康			
3 担い手づくり・情報			

◆ 目指す姿に向けた主な取組の進め方 ◆

取組を進める主体ごとに「自分や家族でできる取組(自助)」、「地域の中での取組(共助)」、「地域ケアプラザ・区社会福祉協議会*・区役所の取組(公助)」に整理しています。

それぞれが取組を進めるとともに、互いに関係し合い、安心していきいきと暮らせるまちづくりを進めていきます。



*区社会福祉協議会は民間の社会福祉法人ですが、高い公共性と地域支援の専門性を持ち、共助の取組を支援する組織であることから、本計画では公助として記載しています。

1 見守り・支えあい

(1) これまでの取組

つながりづくり

- ・ お祭りや運動会、文化・スポーツを楽しむグループ活動などにより、地域でのつながりづくりが行われています。
- ・ 交通安全の見守り・清掃活動・防犯パトロールなどで通りかかった際のあいさつや、地域の防災訓練により、顔の見える関係が広がっています。



こんな課題も・・・

- ・ 一人暮らしの高齢者や子育て中の方、引きこもりの青少年など、地域とのつながりがなく孤立している人もいます。



つながりを生かした見守り・支えあい

- ・ 地域の方による訪問活動が行われ、孤立防止や安心につながっています。
- ・ 定期的な地域の食事会や交流サロンなどが、参加者同士の見守りにつながっています。
- ・ 講座の受講を通じて認知症の正しい知識と理解を持つ方が増え、身近な地域での見守りの輪が広がっています。
- ・ 障害のある方の日常生活を見守る地域の協力者が少しずつ増えています。
- ・ 災害時に支援が必要な要介護の高齢者や障害者など（災害時要援護者）との、日頃からの顔の見える関係づくりに取り組む地域が少しずつ増えています。



こんな課題も・・・

- ・ 見守り・支えあいの活動者が一部の人に限定されがちです。
- ・ 困ったときや異変に気付いたときの相談先を知らない人もいます。
- ・ 地域と災害時要援護者との日頃からの顔の見える関係づくりが更に求められています。



ネットワークづくり

- ・ ライフライン事業者などの協力により、日常業務の中で異変を発見した場合には区役所などの関係機関に連絡が入る仕組みが始まりました。
- ・ 高齢者の支援の充実、地域課題の発見や解決に向けた、地域の方と、医療・介護の関係機関などが参加する会議が始まりました。
- ・ 子どもに関わる関係者の連絡会を開催し、子育てしやすい環境づくりに向けて連携して取り組み始めました。
- ・ 児童虐待防止の取組として、地域ケアプラザエリアごとの連絡協議会が始まりました。

こんな課題も・・・

- ・ 様々な関係団体・機関が情報を共有し相談・調整し合えるように、連携を更に深めることが必要です。



(2) 目指す姿

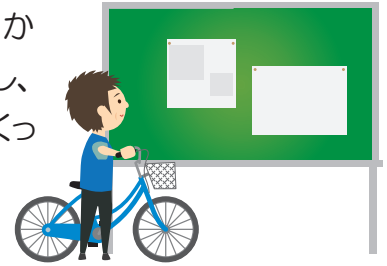
1 一人ひとりが地域のことを知り、隣近所とつながりがある。

おはよう。朝早く大変ね。



お掃除お疲れさまです。

より良い地域づくりは、一人ひとりが地域や隣近所に興味を持つことから始まります。顔見知りの方を増やし、安心して住みやすい地域をみんなでつくっていきましょう。



来週お祭りがあるのか。行ってみようかな。

2 これまで地域との接点がない人ともつながりを持てる場や機会がある。

地域の行事に参加しづらかったり、近所に顔見知りがつくりにくかったりする人もいます。そんな時、ちょっとした工夫や声かけが、つながるきっかけになることもあります。

もちつき大会に誘ってみて良かったわ。とっても楽しそつ。



3 病気や障害などへの理解を広げ、誰もが地域とのつながりを持つことができる。

病気や障害の状態は様々。人によって、できること・困っていることは違います。知ろうとする気持ちをみんなが持ちましょう。まずはお互いにあいさつすることから。

家はどっちだったかな…



こんにちは。どうしましたか？

せっかく誘ってもらったんだからやろうかな。



定年退職されたんですね、どうです、一緒にやりませんか？

手話の講座に行ってきたんだ。ちよつと興味が出てきたよ。



4 困った時や災害時にも支えあい、助けあいができる。

お互いさまですよ。この前はうちの子どものお相手をしてくれました。



助かるわ。

「する・される」よりもお互いさま。自分のできるちょっとしたことが誰かの役に立つかもしれません。身構えず、支えあい、助けあいの気持ちで。そんな地域なら災害時にも助けあえる安心のまちになるはずですよ。

私も避難するので一緒に行きましょう。道路にも亀裂が多くて危ないですから。



5 生活の中で異変に気付き、相談機関につなぐことができる人が増える。

隣近所や仲間同士のちょっとした変化や困りごとに気付いてあげられるような、温かいお付き合いを広げていきましょう。困ったときにはどこに相談したらよいか、みんなが知っておくのもポイントです。

一人暮らしのお隣さん、昨日から洗濯物干しっぱなし。心配だな。



あなたが地域ケアプラザを教えてくださいましたおかげで相談できて助かったわ。



6 地域で活動している方々・団体同士が連携し、必要な情報共有が行われる。

地域では、たくさんの方々が活躍しています。それぞれの情報を整理したり、一緒に考えてみたり、役割を分担してみたり。良いまちにしたいという共通の想いを持つ皆さんの協力が大きな力を発揮します。

心配ね。今から配食サービスがあるのだから、子を伺ってみるわ。



最近〇〇さんが交流サロンに来ないの。何かあったのかしら。

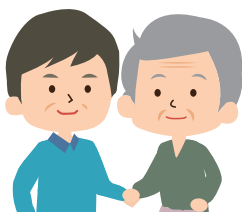
7 地域と関係機関の連携が更に深まり、必要な支援につなげることができる。

地域と、福祉施設・行政などの関係機関では、それぞれ知っている情報や得意なことが異なります。いつでも協力し合える体制ができれば、とても心強いです。

定期的に連絡会をするようになってスムーズに協力し合えるようになってきましたね！



災害時の安否確認は、地域ぐるみでやろう。日頃の見守りをしている民生委員さんにも相談してみよう！



日頃の見守りありがとうございます。今度、一緒に訪問してみましよう。



以前から訪問していた方が、だいぶ症状が進んできているようなんです。

地域ケアプラザ職員

民生委員・児童委員

(3) 目指す姿に向けた主な取組

自分や家族でできる取組（自助）

身近なつながりを持つ

- 日頃から地域の情報に関心を持ちます。
- 身近な地域で行われている行事や活動に参加します。



保土ヶ谷宿の歴史を教えてくれるガイドツアー楽しかったな。すごく詳しいおじさんが紙芝居をしてくれたんだよ。お父さんが自治会の回覧板を見て連れて行ってくれたんだ。

- 家族や職場・学校以外にも知り合いや友人をつくります。

犬の散歩でよく会う人にあいさつしてみたら、横浜FCのサポーターでね。一緒に応援に行って、帰りには一杯やりながら仕事のこととか相談できたりして嬉しいよ。



「いざ」に備える

- 緊急時や災害時などに備え、日頃から準備しておきます。



一人暮らしだし、年も年だから、何かあったときのために息子の連絡先をお隣さんに伝えてあるの。熱中症になって救急車を呼んだとき、お隣さんが息子にすぐ伝えてくれたのよ。

- 災害時に支援を要する方は、支えてくれる関係者とも相談し、できるだけ事前の対策をしておきます。

ケアマネジャーと相談して、災害時の備蓄として、常用薬や電池パックをある程度ストックしています。



- 地域ケアプラザや民生委員・児童委員などの身近な相談先を調べておきます。

困りごとは自ら発信

- 困っているときは、隣近所の方や民生委員・児童委員、関係機関などに相談します。また、隣近所と助けあったり、サービスを活用したりします。

主任児童委員さんに相談したら子育てサポートシステム*のことを教えてくれました。時々頼むようになったら気持ちにも余裕ができたわ。

*「子どもを預かってほしい人」と、「子どもを預かれる人」が会員として登録し、会員相互の責任と信頼関係のもとに子育ての支援を行います。



地域の中での取組（共助）

つながるきっかけ

- 様々な地域活動を住民同士がつながるきっかけにします。

お祭りで子どもに喜んでもらえるよう、スタンプラリーをしています。スタンプは、係の人に話かけると押せるような仕組みにして、会話のきっかけにしています。



- 地域との関わりが少ない方の地域参加を増やしていくため、個別に声かけをして一緒に参加するなどの工夫をします。

地区社協の方に、レコードカフェに誘っていただきました。コーヒーを飲みながら懐かしい音楽を聴けるんです。時々そばにいる人と話すくらいの関係が無口な私にはちょうどいいんです。



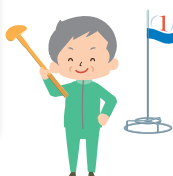
- 防災訓練などの活動は、支援が必要な方など様々な住民が参加するようにします。



地域防災拠点の訓練に、障害者施設にお住まいの方も参加してくれました。「避難者へのお知らせは放送と張り紙があるといい」、「ここにスロープがあるといい」などを確認し合いました。

気付いて つなげる

- 日頃の付き合いや仲間同士の集まりで、普段と違う様子の方がいたら声をかけます。



家に強引なセールスが来て悩んでいたとき、グラウンドゴルフ仲間が「元気がないな、困っていることでもあるのか」って声をかけてくれて。横浜市消費生活総合センター*を教えてくださいました。

*消費生活に関する、商品やサービスの契約トラブルなどの相談に応じ、助言・あっせんなどを行います。

仕事で帰りが深夜になった時、コンビニに近所の子がいたから、声をかけました。話を聞くと、友達関係に悩んでいるとのことだったので、子ども・家庭支援相談*に連絡してみました。

*乳幼児期から学童期・思春期までの子育てに関する相談窓口です。



- 生活の中で異変のサインに気付いたら、民生委員・児童委員、地域ケアプラザ、区役所などに連絡します。



近所の子どもの泣き声が長時間聞こえるので、よこはま子ども虐待ホットライン*に連絡しました。

*24時間フリーダイヤルの、虐待に関する通報や相談の窓口です。

お互いさま 全員が主役

- 生活のちょっとした困りごとは、「お互いさま」の関係で助けあいます。



毎朝近所を掃除していたら、近所の方にお礼を言われてお話しするようになってね。買物帰りに会った時に、重い荷物を持ってくれたんです。お互いさまですって言われたよ。

- 多くの方が地域の活動や行事で活躍できる場をつくります。

知的障害がある娘は太鼓を習っていて、地域のお祭りでは毎年呼ばれて太鼓をたたいているんですよ。



連携強化で 安心のまち

- 見守りに関わっている方々が、協力し合い、支援の幅を広げます。
- 支援が必要な方への対応や、地域課題の解決に取り組むため、地域と関係機関が協力します。



あんしん訪問員さん(17ページ参照)が見守ってくれていて、困った時は必要な人につないでくれて助かります。災害時の安否確認については自治会の役員さん、金銭管理についてはあんしんセンター(18ページ参照)を紹介してくれました。近くで毎月やっている食事会にも誘ってくれました。

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の取組（公助）

<地域ケアプラザ>

誰もが参加
できる地域

- ・関係者・団体・機関と連携し、子育て中の親子や、病気や障害がある方などが、身近な地域でつながりを持ち、活動に参加できる機会を設けます。



地域の取組
をサポート

- ・地域の方々が行う、見守り・支えあいの活動が円滑に行えるように、活動の相談、担い手育成講座実施などの支援をします。

福祉保健の
拠点として

- ・より多くの方に、福祉保健の身近な総合相談窓口として知っていただけるように、PRしていきます。

地域ネットワーク
のつなぎ役として

- ・認知症の正しい知識と理解を持つ方を養成する講座を継続するとともに、認知症の方を支え、徘徊時には早期発見につなげるためのネットワークづくりを進めます。
- ・地域の方々と、医療・介護の関係機関などが参加する会議の開催を通じ、個別支援の充実、地域課題の発見・解決に取り組みます。

<区社会福祉協議会>

福祉教育・
福祉啓発

- ・近所の方の変化に気付ける関係性の大切さ、気付いた際の対応への理解が深まるように、若い世代への福祉教育と、住民向けの福祉啓発を地域の方々とともに進めます。



孤立した方への支援
の仕組みづくり

- ・生活困窮や引きこもりなど、生活課題を抱えながらも孤立し、支援に結び付かない方を、近隣住民とともに見守り、支える仕組みづくりを行います。また、地域ケアプラザなどと連携して必要な支援につなげます。

地域と関係機関の
橋渡し役として

- ・関係機関と地域の方々がお互いの役割を知り、日常的につながり合えるように、様々な場面で情報共有の機会を設けます。

<区役所>

セーフティ
ネットとして

- ・病気や障害など、生活に困難を抱えた時にも、安心して生活できるように支援します。
- ・生活保護を受けている方や生活再建が必要な方の自立に向けた、就労支援や子どもたちの学習支援に取り組みます。

区域ネットワーク
のつなぎ役として

- ・病気を抱えても住み慣れた場所で生活を続けられるように、在宅医療相談室とともに、医療・介護の連携を深めていきます。

- ・区役所・警察・消防・医療機関・学校・その他関係機関・地域の方々など様々な関係者が日頃から虐待・いじめ・障害・認知症などの情報共有・検討できる環境づくりを進め、連携を深めていきます。



- ・認知症の方や子どもたちを見守るエリアごとのネットワークが、互いにつながりを持つように結び付けます。

- ・地域の方々や関係機関と連携して障害児・者とその家族の相談や支援に取り組みます。

気付きの目
を広げる

- ・不適切な養育や児童虐待防止のための啓発活動を積極的に行います。
- ・病気や障害への理解が深まるように、研修会や講演会などを行います。

地域の取組
をサポート

- ・地域の方々による日頃の見守りや要援護者把握の取組を支援します。
- ・地域子育て支援拠点などと連携し、子育て支援に取り組む方をサポートします。

区全域を対象に行われている主な取組や制度

地域包括ケアシステムの構築

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援が連携し合う体制(地域包括ケアシステム)の構築を進めます。

● 地域ケア会議

医療・介護の関係者や、民生委員・児童委員など地域の関係者の方も参加する地域ケア会議を開催します。この会議には、個々の高齢者の課題を検討する会議、地域ケアプラザのエリアごとに地域課題を検討する会議、区全体での課題把握や検討を行う会議があります。これらの会議を積み重ねながら、高齢者に対する支援の充実と、それを支える地域づくりを進めていくことを目指しています。



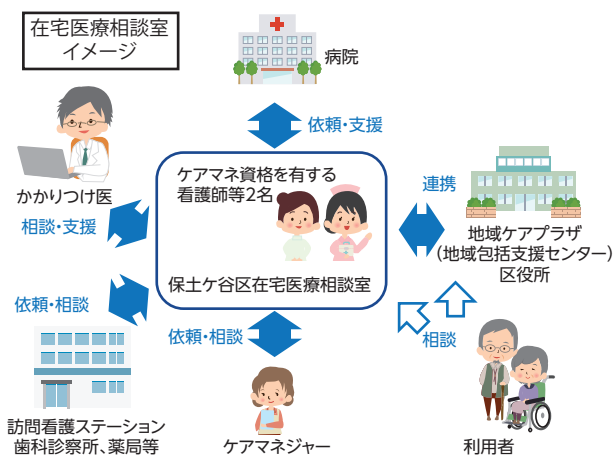
● 多職種連携

病気を抱えても住み慣れた家などで療養し、自分らしい生活を続けられるように、医師・ケアマネジャー・ヘルパー・訪問看護師などの連携を強化するため、地域ケアプラザごとに多職種連携会議を推進しています。

また、平成27年10月に保土ヶ谷区在宅医療相談室が開設されました。在宅医療や介護の連携・相談などを行っているほか、市民講座や多職種連携会議を中心となって開催していきます。

〔問合せ先〕区高齢・障害支援課

☎334-6328 FAX331-6550



認知症見守りネットワーク

保土ヶ谷区では、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活を続けられるように、認知症サポーターの養成を進めてきました。地域の皆様の協力により、平成26年度末には、目標にしていた1万人を達成することができました。



今後も地域ケアプラザや、地域の中で認知症サポーターを育てている認知症キャラバンメイトの皆様と協力し、自治会町内会や学校、警察署、消防署、商店、交通機関、宅配業者などを対象に認知症サポーター養成講座を開催していきます。

また、地域ケアプラザを中心に認知症カフェや認知症ご本人の力を生かした活動など、見守りのネットワークを広げる取組を行っています。

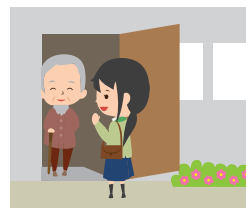
〔問合せ先〕区高齢・障害支援課 ☎334-6328 FAX331-6550

＜認知症サポーターとは＞

認知症の正しい知識と理解をもって、認知症の方とその家族を見守り、地域の中で手助けする応援者のことです。

あんしん訪問

地域の「あんしん訪問員」が、一人暮らしの高齢者などの自宅を定期的に訪問したり、声かけをしたりする取組です。必要に応じ、関係機関につなぐ橋渡し役をします。あんしん訪問がより多くの方に認知され、地域で見守りに関わる方同士の連携が進められるよう周知を進めていきます。



- 対象 一人暮らしや高齢者のみ世帯(おおむね70歳以上)、その他支援が必要と思われる方
- 訪問員 民生委員・児童委員、地域で推薦された友愛活動員やボランティアの方約700人(平成27年9月時点)

〔問合せ先〕区福祉保健課 ☎334-6311 FAX333-6309

子育て支援連絡会／児童虐待防止連絡会

子育て支援や児童虐待防止に関わる様々な団体・機関の情報共有を図り、連携を深めています。

区域だけでなく、地域ケアプラザエリアごとにも子育て支援連絡会・児童虐待防止連絡会を開催し、エリアごとの課題に応じた子育て支援の取組を進めています。

● 子育て支援連絡会

身近な場所で安心して子育てができる地域づくりを目指して、情報共有や課題の解決に向けた検討をしています。区役所、地域子育て支援拠点「こっころ」、区社会福祉協議会、育児支援センター園を事務局に子育ての関係団体・機関などが参加しています。

● 児童虐待防止連絡会

保護の必要な家庭を地域で支えていくために、関係機関が集まり役割分担を考えたり、関係づくりを行ったりしています。子育て支援連絡会の参加機関に加え、学校・病院・医師会・警察・児童相談所・民生委員・児童委員などが参加しています。

〔問合せ先〕区こども家庭支援課 ☎334-6323 FAX333-6309

横浜市障害者後見的支援制度

障害者の日常生活を見守り、必要に応じて定期訪問のほか、将来的な不安や希望を適切な機関へつなぐ制度です。その方の願う地域での暮らしが実現できる方法を一緒に考えていきます。

「障がい者後見的支援室ほ도가やゆめあん」の職員のほか、地域の方々による「あんしんキーパー」が、登録した方を日々の生活の中で気にかけて見守ります。なお、この制度では、ヘルパー派遣・お金の預かりなどの直接サービスは行っていません。

〔問合せ先〕障がい者後見的支援室ほ도가やゆめあん ☎331-9537 FAX331-9030

あんしんセンター（権利擁護事業）

高齢の方や障害のある方の生活や金銭管理などに関する相談をお受けし、日常的な金銭管理が困難な方には、次のサービスを契約に基づいて提供します。

- 福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス
- 預金通帳など財産関係書類など預かりサービス

また、地域ケアプラザなどと協力しながら、あんしんセンターや成年後見制度に関する講演会を開催したり、地域の方や関係団体向けに出張説明会を実施したりするなど、支援が必要な方の権利擁護について普及啓発を行います。また、地域の身近な存在である市民が後見活動を行う「市民後見人」の養成や活動の支援を行います。

〔問合せ先〕保土ヶ谷区社会福祉協議会 ☎332-2797 FAX334-5805



生活困窮者自立支援制度

平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、生活再建をお考えの方に、自立に向けた支援をしていきます。

面接を重ね、相談者に寄り添いながら、状況に合わせた支援計画をつくり、具体的に困窮問題に対応します。

- 就労支援
 - ・自立相談支援員による情報提供・助言
 - ・ハローワークとの連携
 - ・中間的就労、就労準備の支援
- 家計相談支援事業
 - ・家計のやりくりの見直し、優先順位付け
- 住居確保給付金
 - ・離職・廃業時の住宅費の支給（条件あり）
- 一時生活支援事業
 - ・路上生活からの再出発

その他、学習支援事業など、様々な制度・機関などを活用した援助を行います。

〔問合せ先〕区生活支援課 ☎334-6266 FAX334-6030

2 いきいき健康

(1) これまでの取組

関心を高める・きっかけづくり

- ・ 地域の様々な行事、仲間同士で行う趣味などの活動が、外出するきっかけになっています。
- ・ 健康づくりを推進している地域の方が様々な場面を活用し、生活習慣の改善や検診(健診)の重要性などを住民向けに啓発しています。
- ・ 健康づくり活動への参加やウォーキングでポイントがたまるなど、楽しみながら活動できる仕組みができ、健康づくりのきっかけとなっています。



こんな課題も…

- ・ 仕事が忙しかったり、現時点で健康に不安がなかったりなどの理由で自分の健康に関心を持たない人もいます。
- ・ 健康に関心を持っていても、改善のための行動に結びつけるところまでいかない人もいます。



活動の継続

- ・ 活動の一部に、体操などの健康づくりを取り入れるグループが増えてきています。
- ・ ウォーキングやグラウンドゴルフ、ラジオ体操などの運動に継続的に取り組んでいるグループもあります。
- ・ 地域のための活動に参加し、やりがいを感じて活動を続けることで、自身の健康につながっている人もいます。



こんな課題も…

- ・ せっかく健康づくり活動を始めても、仲間がいなかったり、成果が見えなかったり、といったことで継続しない人もいます。



連携で地域づくり

- ・ 様々な団体が、身近な場所で楽しみながら健康づくりに取り組める機会をつくっています。



こんな課題も…

- ・ 様々な団体が行っている活動の情報が十分共有されていなかったり、住民に必要な情報が行き渡っていなかったりすることがあります。
- ・ 健康づくりの知識を持った地域の人材の活躍の場が十分でない場合があります。



(2) 目指す姿

1 自らの健康に関心を持っている。



お腹が気になってきたな。
健康診断に行ってみようかなあ。

へえー若いうちから
気を付けないといけないのね!

勉強や仕事、子育てに追われてつい忘れがちですが、元気で楽しい毎日を送るには、まずは自分の「こころとからだ」の健康を保つことが重要です。

また、一人ひとりが健康に目を向けやすい環境も大切です。

2 外出するきっかけや立ち寄る場所が身近にたくさんある。

毎日何かの用事や、立ち寄る場所がありますか？

気楽に外出するきっかけや場所が身近にたくさんあれば、いつの間にか健康づくりに一歩踏み出しているはずですよ。

近いならわたしも行ってみようかな。



近くの集会所で囲碁大会をやるみたいよ。



保土ヶ谷は坂が多いから、外に出るだけで足腰が鍛えられるなあ。

3 健康づくりを楽しみながら続けられる。

お友達もたくさんできるし、体力づくりになるわね。



みんなで公園遊びは楽しいね。また遊ぼうね!

血圧が下がってきたぞ！みんなと体操を続けているおかげかな!



一人よりもみんなで一緒に健康づくりに取り組むと、仲間ができて楽しく続けることができ、更に効果もアップします。

日頃の成果を実感しながら行うことが、続けていくポイントです。

4 地域のなかでいきいきと活動できる。

人と人との「つながり」があるまちは、その地域の人たちの健康に良い影響を与えられています。

地域の行事やボランティア活動に参加するなど、身近な地域で活動することは、自分の生きがいづくりや健康づくりにもつながります。



5 地域で活躍する団体同士が連携し、健康づくりを推進している。

地域では様々な人材が、様々な健康づくりの活動を行っています。

活躍する団体同士が情報交換したり、地域の活動として一体的に取り組むことができると、活動が更に効果的に進められます。

禁煙のすすめについて広めて
きたい！
けどどうやって…？



保健活動推進員

スポーツやレクリエーション活
動を地域に広めたいけど、な
なか良い機会がないな



スポーツ推進委員



うちの自治会でやっているサ
ークルで、健康についての講
座を設けてみませんか？

(3) 目指す姿に向けた主な取組

自分や家族でできる取組（自助）

健康的な生活・ 健診を受ける

- 健康的な生活習慣を身に付けます。



早く寝て早く起きるようにしてるから、毎日元気に学校に行っているよ。朝ごはんもちゃんと食べると、もっと元気になれるんだ。

- 検診(健診)を受けて、生活習慣の振り返りに役立ってます。



3歳児健診の時に乳がんの話聞いて、検診を受けることにしました。子どもだけじゃなくて、自分の健康も大事だと考える機会になりました。

いきがい づくり

- 仕事や勉強だけでなく、自分、家族・友人との時間、地域での時間も大切にします。



作業所で知り合った仲間とボッチャ*の会をやっています。毎日の作業でヘトヘトになることもあるけれど、仲間との時間はとてもかけがえのないもので、自分の原動力です！

*ボールを投げたり転がしたりして、標的(目標球)にいかにも多くボールを近づけるかを競うスポーツです。パラリンピックの正式種目にもなっています。

- こころの健康にも気を配ります。



仕事が忙しかったせいか、「最近イライラしがちね」と妻に言われてハッとしました。久しぶりに休みをとって家族と陣ヶ下公園に行ってきました。おかげでリフレッシュできました。

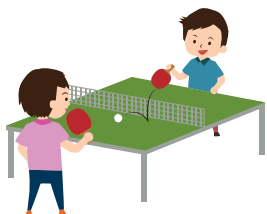
つながり をつくる

- 無理をせず自分のペースで地域の活動に参加します。



近所の人に誘われて、「月1回ならいいかな」と思って、町内の夜間パトロールに行っています。ウォーキングにもなるし、身近な知り合いも増えて、楽しみながらやっています！

- 一緒に健康づくりに励む仲間を持ちます。



近くの地区センターで卓球を練習しています。そこで友達ができ、いつもお互い励まし合いながらやっています。体力がついてきたので、次は一緒に大会に出てみようかと思っています。

地域の中での取組（共助）

初めての人も
参加しやすく

・初めての方、地域との接点がない方でも参加しやすくなるよう工夫します。



近くの公園でラジオ体操を行っています。音が聞こえて興味をもってくれる人が来たら、「一緒にやりましょうよ」と子どもから高齢者まで誰でも声をかけています。今まで地域と関わりない人も多かったけれど、皆一緒に楽しくやっています。

楽しんで
継続する

・活動の一部に健康に役立つ内容を取り入れます。



地域で一人暮らし高齢者の昼食会をやっています。むせる人が多くなってきたので、地域ケアプラザの指導のもと、食べる前にお口の体操を取り入れました。今は自分たちで考えて楽しく運営していて、「きらり☆シニア塾」(25ページ参照)にも認定されました！

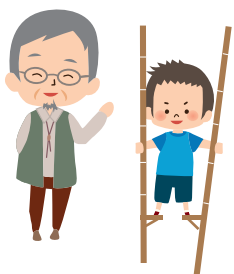
・仲間同士で楽しみながら、健康づくりの活動を継続します。



ポイントに応じて景品がもらえると聞いて、よこはまウォーキングポイント(25ページ参照)に登録してみたわ。いざ歩いてみたらダイエットにもなるし、会社の同僚にも勧めているの。「今日は何歩歩いた?」とか歩数を見ながら楽しく情報交換しているわ。

地域貢献の
出番づくり

・より多くの方が、地域で活躍できる機会をつくれます。



子どもたちに昔遊びを教えています。竹とんぼやけん玉など、それぞれメンバーが交代で得意なものを教えています。私は竹馬が得意なので、作り方や遊び方を教えながら、自分も楽しんでやっています。

連携強化で
広がる健康

・より効果的な活動をするため、健康づくりに関わる団体同士が情報を共有します。



地域の会合で、食生活等改善推進員さんとお互いの活動の情報を共有をしました。地域で野菜摂取を増やす啓発をしたいという話を聞いたので、今度うちの自治会の会合に来てもらって、一緒に考えてみようかな。

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の取組（公助）

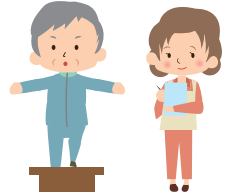
<地域ケアプラザ>

関心・活動の きっかけづくり

- ・地域に出向いて、健康に関する講座や相談の機会をつくります。
- ・これまで地域への参加が少なかった方が地域に出るきっかけをつくります。
- ・健康づくりに取り組む地域の方と連携し、健康づくりの事業を実施します。また、地域の健康づくりの担い手を増やす講座を行います。

地域の取組 をサポート

- ・地域の様々な活動の情報を収集し、PRなどの支援をします。
- ・身近な場所で健康づくりを行うグループが増えるよう、様々な人や団体に働きかけます。
- ・地域の方が、効果的に楽しみながら活動を継続できるよう、相談に応じたり、活動の成果が確認できるよう支援したりします。



<区社会福祉協議会>

活動紹介・ 情報発信

- ・いきいきと活動している人や団体を、区域での広報などで紹介し、地域の方へ幅広くお知らせしていきます。
- ・地区社会福祉協議会などをはじめとした様々な団体の会合を通じ、地域での活動参加が自らの健康にも大切であることを伝え広めていきます。



助成金に よる支援

- ・人と人がつながる機会となる地域の取組について、資金面で支援していきます。

<区役所>

健康意識 を高める

- ・一人ひとりが世代やライフスタイルに応じた健康づくりの知識を得て、行動できるよう啓発に取り組みます。
- ・趣味や地域活動などに参加して人とのつながりを持つことが、健康にも大きく関わることを啓発し、活動への参加を後押しします。

きっかけづくり ・継続の支援

- ・地域の方々と連携し、取り組みやすい健康行動の紹介と、継続して取り組むための支援や環境づくりを行います。

地域の取組 をサポート

- ・健康づくりや介護予防を進める人・取り組むグループの、活動PRやスキルアップを支援します。
- ・地域の食事会・配食などの活動に対し、食中毒予防など衛生管理の支援をします。



セーフティ ネットとして

- ・生活習慣の改善や医療機関の受診が特に必要な方に、きめ細かく保健指導をしていきます。
- ・病気や障害がある方やそのご家族について、地域の方や関係機関と協力して個々の状況に応じた健康上の支援を行います。

区全域を対象に行われている主な取組や制度

よこはまウォーキングポイント・ほどウォーク

「よこはまウォーキングポイント事業」は、40歳以上の市民の方に歩数計を使って楽しみながら健康づくりを進めていただく事業です。

保土ヶ谷区では、様々な年齢層の区民が、ウォーキングによる健康づくりに継続的に取り組み、暮らしの中にウォーキングが定着することを目指し「ほどウォーク事業」を展開しています。効果的なウォーキングのやり方講座の開催やイベント・広報などでのPRを実施するほか、継続に向けての支援として「ほどウォーク ウォーキングガイド」の作成などを通じて区民の健康づくりを応援しています。

〔問合せ先〕区福祉保健課 ☎334-6344 FAX333-6309



健康スタンプラリー

「健康スタンプラリー」は健康づくり事業などに参加してスタンプを集め、3つのスタンプがたまると景品に応募できる、市民誰もが参加できる事業です。

様々な事業に参加していただき、より多くの方が健康づくり・介護予防などに取り組むきっかけとなるように実施しています。

区役所だけでなく、医師会、歯科医師会、薬剤師会、老人クラブ連合会、地区センター、コミュニティハウス、地域ケアプラザ、きらり☆シニア塾、保土ヶ谷スポーツセンター、保健活動推進委員会などが、スタンプの対象となる健康づくり事業を実施しています。

〔問合せ先〕区福祉保健課 ☎334-6344 FAX333-6309



スポーツの街ほどがや

子どもから高齢者まで全ての市民がいきいきとした生活を送るとともに、地域住民の交流や心豊かな暮らしを育むことを目指し、様々な団体がスポーツイベントを開催しています。

● スポーツ推進委員

かるがもファミリーマラソン大会、グラウンドゴルフ大会、少年少女球技大会を開催し、多くの世代がスポーツを楽しみ、互いに交流できる機会を提供するとともに、各地区で地域に根ざしたスポーツイベントを実施して地域の活力アップに貢献しています。

● 区体育協会

各種競技の区民大会開催を通じて地域スポーツの発展、区民の健康増進に寄与するとともに、毎年3月の「ほどがやスポーツ祭り」では、障害者と健常者が一緒に楽しめる大会を開催しています。

● さわやかスポーツ普及委員会

いつでも誰でも気軽にできる、さわやかスポーツの普及活動として、奇数月の土曜日もしくは日曜日にスポーツセンターで体験コーナーを実施しています。

また、地域や学校の求めに応じて体験会を開催し、地域の身近なスポーツを推進しています。

〔問合せ先〕区地域振興課 ☎334-6305 FAX332-7409



きらり☆シニア塾

認定証



身近な場所で、ウォーキングや体操などの介護予防や健康づくりの活動を取り入れて活動しているグループを「きらり☆シニア塾」と認定し、認定証を配布しています。平成27年12月末現在、56グループを認定し、紹介シートや区ホームページでPRしています。

また、地域ケアプラザと連携し、“はじめ方”講座やリーダー養成講座を開催するなど、新たなグループの立ち上げや活動内容の工夫などに関する支援をしています。

〔問合せ先〕区高齢・障害支援課 ☎334-6328 FAX331-6550



公私保育園合同育児講座

区内在住の未就学児とその養育者を対象に、区内認可保育園と区こども家庭支援課が合同で、育児講座を開催しています。

講座の内容は、身体計測・保育体験・子どもの発達を促す親子遊び体験・子どもの発達に関する講話・事故予防に関する啓発などで、養育者に対し、保育園の保育士・栄養士・看護師やこども家庭支援課の保健師が子育て支援を行っています。
〔問合せ先〕区こども家庭支援課 ☎334-6397 FAX333-6309



発達に不安のある子どもを対象にした音楽療法

区内7か所の地域ケアプラザでは、発達に不安がある子どもなどを対象とした取組を実施しています。音や音楽を使って遊び、体を動かすことで感覚が刺激され、心と体の発達が促されます。また、子どもへの関わり方などの相談を行うこともできます。

〔問合せ先〕区こども家庭支援課 ☎334-6323 FAX333-6309



学齢障害児余暇支援

障害のある学齢期の子どもとその家族が身近な地域で安心した生活が送れるように、地域活動ホームや地域ケアプラザが、放課後や休日などに、ダンスや音楽などのレクリエーション等の事業を実施しています。

外出や地域での交流の機会を設け、様々な仲間やボランティアなどとふれあうことにより、社会参加の促進につなげています。

〔問合せ先〕区高齢・障害支援課 ☎334-6384 FAX331-6550



青少年健全育成

区内の青少年の健全育成を行うため、青少年指導員や子ども会などが異年齢間の交流を深める事業や見守りなどによる環境づくりを行っています。

● 保土ケ谷区青少年指導員協議会

青少年指導員が、青少年の健全育成を目的に、イベントの開催やパトロールなどによる地域の見守りを行っています。

◆主なイベント◆

保土ケ谷区手作り紙ヒコーキ大会、ほどがやバンドバトル、子ども科学教室、保土ケ谷区新春かるた大会 など



● 保土ケ谷区子ども会育成連絡協議会

イベントなどを開催し、次世代の青少年の健全育成を担うジュニアリーダーを育成しつつ、青少年の健全育成を推進しています。

◆主なイベント◆

海の子山の子アドベンチャー交流会、子ども大会、子ども芸術劇場、新春書初め大会 など



〔問合せ先〕区地域振興課 ☎334-6305 FAX332-7409

3 担い手づくり・情報

(1) これまでの取組

担い手の発掘

- ・ 地域行事やイベントの中で、福祉保健の活動を紹介し、活動への参加のきっかけづくりを行っているところがあります。
- ・ 地域の福祉活動への参加に向けて、認知症や障害などの理解促進のための各種講座や、ボランティア養成講座などを行っています。
- ・ 将来の担い手となる子どもたちに、助けあいやボランティア活動への関心を持ってもらうため、小中学校で福祉講座やボランティア講座を行っています。



こんな課題も・・・

- ・ 子育てや就労をしている世代は、時間的な制約から地域活動に参加しづらい状況にあります。

活動の継続・発展

- ・ 地域の活動者同士が課題や想いを共有したり、自分たちの活動を見直したりする機会として、活動内容に応じた連絡会が開催されています。
- ・ 区内には、長年にわたり地域活動を支えている方々がたくさんいます。



こんな課題も・・・

- ・ 多くの活動団体で役員のなり手が少なく、また、高齢化により活動の継続が困難となっている団体もあります。

情報環境の整備

- ・ 回覧板や掲示板に加え、地域で行われている活動やイベントなどの情報について、ホームページによる情報提供も行われるようになりました。
- ・ 地区社会福祉協議会などで活動の情報を載せた広報紙の発行が進み、身近な地域の取組を知る機会が増えています。



こんな課題も・・・

- ・ まだ地域の取組に関心を持っていないため、発信される情報に意識が向いていない人もいます。

(2) 目指す姿

1 活動に興味を持ってもらうためのきっかけづくりが意識的に行われている。



地域の方が大勢集まるお祭りで活動のPRをしています。活動の様子を写真入りのチラシやポスターで紹介したら、いろいろな人が興味を持ってくれました。

活動を継続するには、新たな仲間を増やしていくことが大切です。

個別に声をかけて誘ったり、様々な場面で活動を知ってもらうきっかけづくりを行ったりして、どんな活動なのかを分かりやすく伝えましょう。

2 より多くの方が、できることを、できる時に、できる範囲で活動している。

ありがとうございます。できる時に手伝ってくれたら、助かるよ。

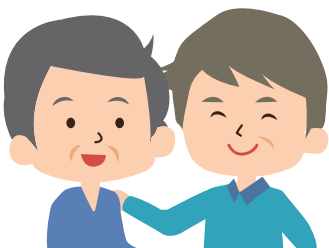


パソコンなら得意なので、チラシづくり手伝いますよ。働いているので、土日の昼間しかお手伝いできないんですが…

無理のない役割分担ができると、より多くの方が自分の時間をうまく使って、得意な分野で活動に参加できるようになります。

3 次の世代に活動が引継がれている。

そうですね？ではやってみます。フォローをお願いします。



私もサポートするから一緒にやろうよ。



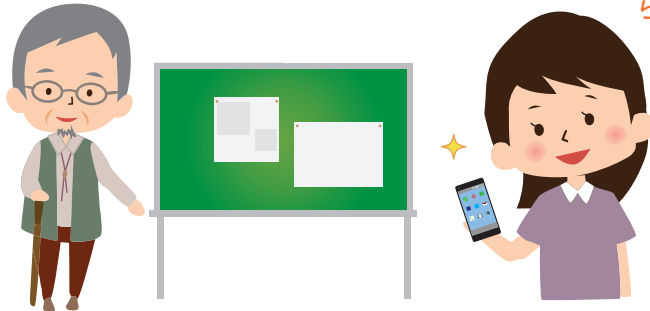
次の活動の取りまとめ役は誰にしましょうか？

活動を引き継いでくれるリーダー層はすぐには見付かりません。

少しずつ役割を分担して、次の世代に活動をつなげていくことが大切です。

4 様々な媒体を使って、求める人に合わせた情報が発信されている。

散歩の時に掲示板は必ず見ているよ。
文字が大きいから読みやすいよ。



今月はこんなイベントがあるのね！
行ってみようかしら。

広報紙やホームページ、回覧板や掲示板など、情報発信のための媒体は様々です。情報を届けたい相手に合わせて、伝わりやすい方法で情報発信を行いましょう。

5 身近なところで、ニーズに応じた最新の情報が得られる場がある。

うちは3日分の
水と食糧を備蓄
しているわよ。

あら、うちも準備
しておかなくちゃ。



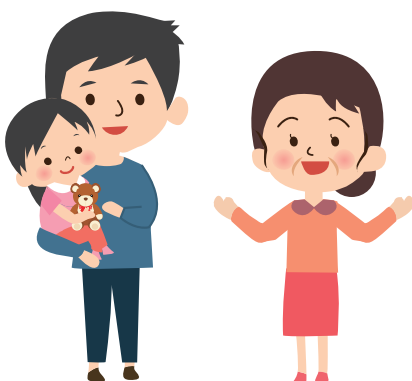
来月は防災訓練があります。
災害時の備えをみんなと一緒に確認し
ましょう。

地域で開催されている交流サロンや健康づくり教室など、人が集まる場は情報を伝える場としても有効です。

そこに集まる人のニーズに合う情報を意識的に収集し、積極的に伝えていきましょう。

6 必要な人に情報が届くように、人から人へとクチコミで情報が伝わっている。

ありがとうございます。
引越してきたばかりなので
避難先の確認のためにも参加してみます。



昨日、町内会の交流サロンで聞いたんだけど、
来月、防災訓練があるんですって。
子ども連れの方も歓迎って言うってたわよ。

情報を広く行き渡らせるには、人から人へと、一言添えて伝えていくと効果的です。

自分が得た情報を誰に伝えると一番喜ばれるかを思い浮かべて、隣近所の人に伝えていきましょう。

(3) 目指す姿に向けた主な取組

自分や家族でできる取組（自助）

自発的な参加

- 地域の行事や地域活動をしている団体に参加します。

うちの子は知的障害があるんですが、自治会に加入したら会長さんとも知り合えて、地域の防災訓練に誘ってもらいました。地域の方々とつながっていると何かあった時に安心なので、子どもと一緒に参加してみようと思います。



- 趣味や経験、特技を生かして、自分のできる時間にできる範囲で活動します。

昔からコーヒーを入れるのが大好きなので、会社が休みの日だけ、地域の交流サロンでコーヒーを入れています。地域の知り合いも増えて、定年退職後も地域で楽しくやっっていけそうです。



情報を得る

- 隣近所とのつながりを持ち、情報が入りやすい関係を築きます。
- 地域の情報に関心を持ち、自治会町内会の回覧や掲示板などで自ら情報を得るようにします。

回覧板は以前は自分だけ見て、お隣に回していたんですが、よく考えたら家族それぞれに見てもらった方が詳しい情報があるので、今は家族全員で見るようにしています。



地域の中での取組（共助）

タイムリーな声かけ

- 初めての人も参加しやすいように、個別に声をかけて一緒に参加するなどの工夫をします。
- 子どもが生まれた時や転居してきた時など、タイミングを逃さずに地域の情報を伝え、お誘いします。

引っ越してきたばかりの時に、ご近所の方が向こうから挨拶に来てくれてうれしかったです。地域の子育てサロンにも誘ってもらったので、参加してみようかしら。



- 地域活動の役員などを終えた後も、引き続き協力してもらえそうな声かけを行います。

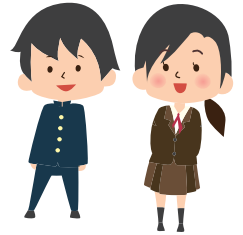
一年間、自治会の役員をやってみただけど、地域のことがいろいろ分かって良かったな。役員を終えた後に声をかけてもらって、役員をやった仲間と一緒に、行事の手伝いをするグループに入ったよ。



参加しやすい工夫

- 相手に合わせて、参加の仕方や手伝ってほしい内容を具体的に伝えます。
- 新しい人も活動に参加しやすいように、雰囲気づくりを大切にします。

学校が夏休みなので地域の行事のお手伝いに初めて参加したよ。地域の人たちがとても喜んでくれて、うれしかったなあ。



新たな担い手発掘の工夫

- 様々な方法で地域活動のお手伝いをしてくれる人を広く募り、参加のきっかけを増やします。

住民の困りごとを聞くアンケートをした時に、お手伝いできる人も募ってみたら、協力してもいいという人が結構いたんです。

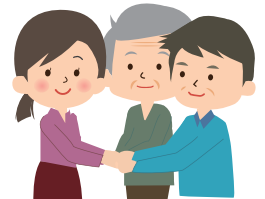
地域のために役に立ちたいと思っている人たちを集めて、住民の助けあい活動を始められると良いなあと思っています。



後継者の育成

- 活動を長く継続するために、一人で抱えこまず、役割を分担することでスムーズに次の世代に引き継いでいきます。

私たちのグループでは、班ごとにリーダーとサブリーダーを
おいて分担しながら活動してきました。
一人に負担が集中することもないので、長く続けてくれる人が
多いです。



相手に合わせた情報発信

- 届けたい相手に合わせて、発信する情報の内容や見せ方、情報発信の媒体(掲示板やホームページなど)を工夫します。

健康のためにいつも一人で散歩しているんだけど、回覧板
で見た地域の広報紙に、健康ウォーキングの楽しそうな活動
の様子が載っていて、仲間と一緒に歩くのもいいなあって思っ
たんだ。次の日曜日は参加してみようかな。



クチコミ効果の活用

- 自分が得た情報は、自分一人にとどめずに、その情報を必要としている人に伝えます。

地域の交流サロンでシニア男性向けの地域デビュー講座の
チラシをもらったんだけど、そういえば、お隣さんも今年で
定年退職だって言ってたな。この情報、教えてあげよう。



地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の取組（公助）

<地域ケアプラザ>

きっかけづくり

- ・学校と連携し、若い世代が福祉保健活動やボランティア活動に触れる機会をつくれます。
- ・病気や障害がある方が、心身の状況に合わせて地域活動やボランティア活動に参加し、活躍できる場づくりを進めます。



活動者の養成・支援

- ・地域活動の担い手を増やしていくための講座を開催します。また、活動が継続できるよう、必要な支援を行います。

活動のコーディネート

- ・地域の人材の趣味や特技を生かしたボランティア活動が行える機会を増やしていきます。

情報の拠点

- ・地域の情報を収集し提供することにより、地域の活動団体を支援します。
- ・地域の会合や活動の場で、必要な情報を分かりやすく伝えます。

<区社会福祉協議会>

担い手の発掘育成の支援

- ・地域ケアプラザなどの関係機関と協働して、元気なシニア世代が地域活動に参加しやすくなるような取組を行います。
- ・地域活動のリーダー層を対象に、新たな担い手の発掘や育成に関する情報や手法をまとめ、広く周知します。



次世代の育成

- ・子どもの頃から地域活動に触れる機会をつくり、ボランティア活動を通じた多様な人との交流の機会を提供します。

情報の整理・発信

- ・地域の交流サロンなど、人が集まる場に様々な情報を届けます。
- ・ホームページのリニューアルや、様々な情報が集まる福祉保健活動拠点*の掲示スペースの整理により、情報が探しやすい環境を整えます。

*地域の福祉保健活動団体を支援するため、打合せや活動場所の提供、ボランティア活動の相談や福祉保健情報の発信を行う拠点です。

<区役所>

地域人材と支援職員の育成

- ・地域の魅力を発見したり、地域課題を解決したりする力を身に付けられる講座を開催します。
- ・地域ケアプラザ、地区センター、ほどがや市民活動センター（33ページ参照）、区役所などの地域活動を支援する職員のスキルアップを図るため、研修を企画・実施します。



自治会町内会への加入促進

- ・自治会町内会の活動を紹介し、加入促進につなげていきます。

わかりやすい広報

- ・高齢者や障害者、外国人など誰にとっても分かりやすい広報を行います。

地域活動の広報・共有

- ・地域活動の事例を、共有し広められる機会をつくれます。

区全域を対象に行われている主な取組や制度

ボランティアセンター・各種ボランティア講座

ボランティアセンターは、ボランティアしたい人と頼みたい人をつなげます。また、各種ボランティア講座の開催などにより、担い手の育成や活動支援を進めていきます。



ボランティアしたい人



ボランティアセンター



ボランティアを頼みたい人

- ・ボランティアの受付、相談窓口
- ・ボランティア保険の受付
- ・講座、交流会の開催
- ・貸出機材の受付 など
- ・情報紙の発行

〔問合せ先〕保土ヶ谷区社会福祉協議会 ☎332-2412 FAX334-5805

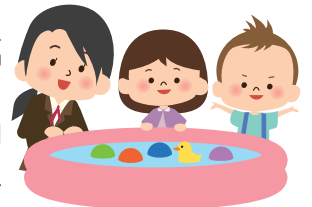
夏休みちょっとだけボランティア

小中高校生を対象に、夏休み期間の体験学習として実施しています。児童・生徒が、福祉やボランティア活動に興味や関心を持つきっかけづくりを目的としています。

「手話体験コース」「点訳(点字制作)体験コース」「施設活動・地域活動コース」のプログラムがあり、多くの福祉施設やボランティアグループ、障害のある方々にご協力をいただいています。

身近な地域にある福祉施設や地域に根差して活動しているグループでの体験は、児童・生徒が地域について考え、地域とつながりを持つきっかけにもなっています。

〔問合せ先〕保土ヶ谷区社会福祉協議会 ☎341-9876 FAX334-5805



ほどがや市民活動センター アワーズ での取組

● ボランティア入門講座

区社会福祉協議会・地域子育て支援拠点こっころとの共催で、地域へ一歩を踏み出してもらうための入門講座として、地域活動や市民活動を始めたい方を対象に年1回ボランティア養成講座を開催しています。講座終了後もボランティア活動の場へつなぎ、受講者が継続してボランティア活動ができる仕組みを整えていきます。

● シニアライフ講座

団塊世代の地域デビューの支援・きっかけづくりを目的に実施しています。連続講座のため、回数を経るごとに参加者同士の交流が生まれ、仲間づくりの大切さが実感できます。

〔問合せ先〕ほどがや市民活動センター アワーズ ☎334-6306 FAX339-5120



はぐくみプロジェクト・ほどがやの地域づくり大学校(仮称)

● はぐくみプロジェクト

区民が地域に関心を持つきっかけをつくり、地域活動に参加する機会を設けることで、協働の担い手となる人材の発掘・育成を行います。

また、アワーズと連携して、区民利用施設など、区民の地域活動を支援する職員としてのスキルアップを図る講座を開催します。

● ほどがやの地域づくり大学校(仮称)

アワーズ、自治会町内会などとの協働により、地域づくり講座や特色ある地域の事例研究などを行う「ほどがやの地域づくり大学校」(仮称)を開講し、自治会町内会の役員など減少傾向にある地域の担い手の育成を図ります。

〔問合せ先〕区地域振興課 ☎334-6305/6380 FAX332-7409



福祉教育・福祉啓発

区社会福祉協議会では、子どもたちや地域住民、企業などを対象として、自分たちのまちに暮らす様々な人の生活やそれを支える地域の人々、仕組みなどを知り、地域や福祉への関心が高まるよう啓発に取り組んでいます。

学校での福祉教育では、地域の活動者や高齢の方、障害のある方などから話を聞いたり、高齢者疑似体験などを実際に経験したりすることによって理解を深め、「自分は何をしたらいいのか」を考え、実践する気持ちを育みます。

今後は企業との連携を進め、企業の社会貢献・地域貢献活動と地域の福祉課題をつなげていくことにも積極的に取り組んでいきます。

〔問合せ先〕保土ヶ谷区社会福祉協議会 ☎341-9876 FAX334-5805



よこはまシニアボランティアポイント

指定を受けた介護施設、地域ケアプラザ、病院、地域子育て支援拠点などの施設でボランティア活動を行った場合にポイントがたまり、ポイントに応じて寄付・換金ができる仕組みです。

【対象】65歳以上の横浜市民（登録研修会への出席が必要です）

- 【対象活動例】
- 介護施設などでのお茶出し、ゲームの進行補助
 - 地域の高齢者への配食、会食サービス
 - 病院ボランティア、子育て支援活動 など



〔問合せ先〕公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 ☎671-0296 FAX671-0295

移動情報センター

障害のある方の外出に関する相談や情報提供の窓口で、外出の目的や行先などに応じた情報を提供しています。相談の内容にあわせて、公的サービスだけではなく、地域のボランティアやタクシー事業所なども含めて適切な情報を提供します。

例えば、こんな相談が寄せられています。

- 子どもの学校の送迎を手伝ってくれる人はいますか？
- ガイドヘルパーやガイドボランティアについて教えてほしい。
- 車いすで送迎できる事業所はありませんか？ など

今後も情報収集や各事業所との連携を進めながら、ボランティアセンターとともに、外出の付き添いボランティアの募集や活動支援を行っていきます。

〔問合せ先〕保土ヶ谷区社会福祉協議会 ☎332-2479 FAX334-5805



子育てや高齢者の健康づくりなどに役立つ情報提供

<ほっとなタウンマップ>

地域で行われている様々な福祉保健活動の情報を掲載した区社会福祉協議会運営のホームページです。分野別で検索でき、地域ケアプラザの事業も確認できます。
<http://www.shakyohodogaya.jp/hottown/>

<きらり☆シニアマップ>

シニアが集う地域の活動グループを紹介したマップです。区役所と地域ケアプラザが連携し、地域ケアプラザのエリアごとに作成しました。
 〔問合せ先〕区高齢・障害支援課
 ☎ 334-6328 FAX331-6550



<ほどびよメール>

赤ちゃんから就学前のお子さんを持つご家庭や、子育てを応援する方に向けて、身近なエリアの子育てイベント情報などをお知らせしているメールサービスです。地域子育て支援拠点こっころが配信しています。

〔問合せ先〕区こども家庭支援課
 ☎334-6323 FAX333-6309

<ほどびよマップ>

子どもと遊ぶお出かけ場所や公園、相談先など、子育てに役立つ地域の情報を載せたマップです。子育て支援連絡会の皆さんが作成しました。

〔問合せ先〕区こども家庭支援課
 ☎334-6323 FAX333-6309



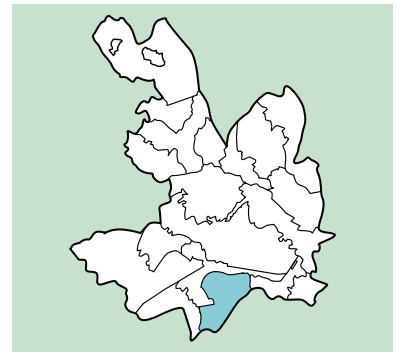
第4章 地区別計画

地区別計画は、地区社会福祉協議会のエリアごとに策定・推進する、生活に身近な計画です。

地区ごとに住民の皆さんが中心となり、各地区の状況に合わせた様々な方法で話し合いを重ね、目標・目指す姿や、それに向けて今後5年間で取り組んでいくことをまとめました。



保土ヶ谷 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 保土ヶ谷地区は区南部に位置し、狩場インターチェンジが地区の中央に走り、北側は今井川に、南側は南区に隣接しています。
- 狩場町、瀬戸ヶ谷町及び岩井町の一部で構成されています。
- 横浜市児童遊園地や英連邦墓地、老人福祉センター狩場緑風荘といった施設があり、緑が多い地区です。
- 高速道路を挟んで丘陵部が広がり、また高台に建つ住宅が多いことから、多くの方は車やバスなどを利用して生活しています。



目標・目指す姿

支えあう

高齢者も障害者も子
育て世代も子どもも
みんなで支えあおう

人情はぐくむ
保土ヶ谷地区

知る

地域の人や活動、
課題や様々な制度のこ
とを知ろう、伝えよう

つながる

世代をこえて
地域で暮らす
住民同士でつながろう

地区の取組

これまでの取組

①情報共有・発信 **担情**

- ◆掲示板や回覧板を使った情報発信
- ◆地区社協の広報紙「ぬくもり」の発行



広報紙「ぬくもり」

②世代間交流の場 **見**

- ◆子育てサロン
「ふれあいルーム にこちゃん広場」
- ◆誰でも自由に参加できる
「ふれあいカフェ」(5か所)
- ◆瀬戸ヶ谷小学校と地域の方との交流
「ふれあい給食会」



にこちゃん広場



ふれあいカフェ

③認知症も含めた高齢者の見守り **見**

- ◆高齢者の見守り活動
「あんしん訪問」
- ◆一人暮らし高齢者等の食事会「ほほえみ会」
- ◆高齢者のバス旅行
「くつろぎの旅」



ほほえみ会

④健康づくり **い**

- ◆転倒骨折予防
「くれよんの会」
- ◆健康体操
- ◆ラジオ体操
- ◆ルディックウォーキング



くれよんの会

新規

⑤担い手づくり **担情**

【現状】

- ◆共働き家庭や働くシニア層が増え、地域活動の担い手が高齢化してきている

もう一步進めて…

- ◆ふれあいカフェなど、誰でも参加できる取組は地区全体で情報共有したい
- ◆若い人や関心のない人にも情報が届くようにしたい

- ◆他の自治会の取組でも参加可能なものは相互に情報を共有できるよう工夫します
- ◆掲示板の設置場所や、インターネットでの情報発信など、若い世代にも情報が届くよう工夫します

もう一步進めて…

- ◆高齢者のみの世帯や、認知症高齢者の方を地域で見守り、支えられるようにしたい

- ◆認知症サポーター養成講座等の開催を通じて、認知症への理解を深めます
- ◆ちょっとした生活の困りごとに対応できるような地域のボランティア活動を検討します

もう一步進めて…

- ◆子どもから高齢者まで誰でも気軽に、身近で参加できる取組があるとよい

- ◆今ある活動に参加しやすいようマップ化するなどの工夫をします
- ◆地域住民のニーズを把握します

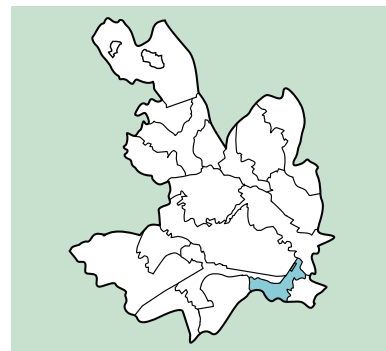
【今後の課題】

- ◆これからの保土ヶ谷地区を支える若い世代と一緒に地域づくりを考えたい

【今後の取組】

- ◆若い方や男性が参加しやすい企画の検討を行います
- ◆地域住民の生活ニーズの把握と併せて、活動ニーズも把握し、地域版のボランティア登録の仕組みなどを検討します

保土ヶ谷南部 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 保土ヶ谷南部地区は、岩井町の約1,300世帯、瀬戸ヶ谷町の約1,400世帯で構成されています。
- JR保土ヶ谷駅周辺から国道1号線に沿った保土ヶ谷橋までの地域と、今井川に沿った丘陵地域で構成されており、坂が多いことから、外出がしづらいという方もいます。
- 国道1号線沿いには歴史遺産が多く点在し、まち歩きをする団体が多く見受けられます。
- 身近に福祉関連情報や地域活動情報を入手できる拠点（地域ケアプラザ・地区センターなど）がありません。
- 地域防災拠点は、地区内で3つに分かれます（岩井町は富士見台小学校、瀬戸ヶ谷町は岩崎小学校と瀬戸ヶ谷小学校）。
- 買物は駅前のスーパー・商店を利用する方が多いです。
- 高齢化率は21%で年々増加しています。

目標・目指す姿

支え・支えられるお互いさまのまち お互いさまを感じあえるまち

近所のひとが困っていたら、
そっと手を差し伸べ、
「ありがとう」
「お互いさまですから」
を自然に言えるまちに
しましょう。

助けて!と言えるまち

支えられる人も、支える人も
「助けて!」の一言がないと、
互いに力の貸しようが
なくなってしまう。
誰もがSOSを出せる地域を
つくり、みんなで相談し、
助けあいましょう。

一人で行う良い取組を みんなの取組に

皆さんが一人で行なっている良い取組を、
多くの人に広めましょう。
顔を合わせるところから
地域のつながりをつくり、
力を合わせて取り組みましょう。



地区の取組

これまでの取組を発展

★子育てサロン「ポテト」 **見**

毎月第3金曜日、保護者と子どもの交流の場として、0歳～就学前のお子さん・保護者を対象に開催しています。平成16年より始まり、平成28年度で13年目を迎えます。

今後のポイント

読み聞かせ・親子体操・交流を中心に行なっていますが、参加者の意見を聞きながら、主任児童委員を中心にボランティアの皆さんと一緒に運営していきます。



★交流の場

①お楽しみ会「三吉演芸場」での観劇 **見**

70歳以上の一人暮らしの方を対象に年1回開催しており、毎回好評です。

今後のポイント

時期や観劇時間など少しずつ工夫を重ねながら今後も継続していきます。



お楽しみ会



食事会

②食事会 **見**

70歳以上の一人暮らしの方を対象に年3回開催しています。

今後のポイント

時間枠を拡大し、食事の前後でお茶を飲んでおしゃべりできるようにします。

★広報紙「保土ヶ谷南部地区社協だより」 **担情**

引き続き年1回発行し、活動状況を地域の方に分かりやすく周知します。

今後のポイント

地区社協の活動だけでなく、自治会や、地域で活動している様々なグループの紹介などを行い、団体間の連携強化につなげ、情報共有することで新しい取組ができるようにしていきます。時機を見て年2回発行にします。



新しい取組

★ティーサロン **見**



子どもから高齢者まで誰でも自由に集うことができる交流の場の開催を検討します。

★「まち歩き」の開催 **見** **い** **担情**

防犯・防災・福祉・健康づくり・歴史・交流など様々な視点でのまち歩きを実施し、地図に落とし込む取組から始めます。



★認知症についての勉強会開催 **見**

認知症の方がいる家庭は孤立しがちです。地域が認知症への理解があり、サポートできる体制であれば、孤立を防いでいくことができ、家族の安心につながります。地域住民への理解啓発から始めます。

★健康づくり **い**

ラジオ体操会を定期的で開催します。

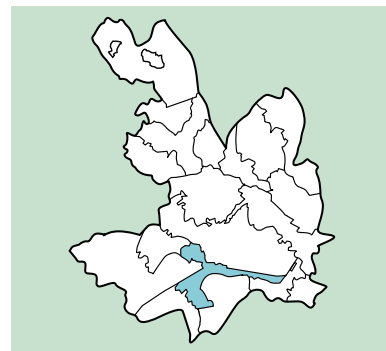


★「地区社協運営委員会(仮称)」設置 **担情**

目指す姿を実現させるために「地区社協運営委員会(仮称)」を設置し、企画、実行、周知、見直しを定期的に行います。



保土ヶ谷中 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 保土ヶ谷中地区は、今井川流域や国道1号線、JR線に沿って広がる地域です。
- 今井川、国道1号線、JR線沿いは平坦ですが、坂が多く高低差のある地域もあります。
- 保土ヶ谷町1～3丁目、及び初音ヶ丘・藤塚町・岩崎町・法泉1丁目・瀬戸ヶ谷町・権太坂1～3丁目・狩場町の一部で構成されています。
- 最近マンションが増え、高齢化が進む一方で、子どもが増えている地域もあります。
- 3つの小学校・3つの中学校の通学地域となっています。
- 新旧東海道が通り、国道1号線沿いには史跡が点在しています。また、お正月の箱根駅伝では、「花の2区」「松の9区」としても知られています。

目標・目指す姿

- ご近所同士、思いやり、支えあえるまち
- みんなが地域に参加する元気で活気あるまち

支えあい



普段から支えあえる関係があれば、いざというときにも安心。

声かけ



こんにちは。お元気？
老若男女であいさつ・
声かけできたらいいね。

絆

健康



みんなでやると楽しいね。
「行くところがある」
のが元気の秘訣かも。

ふれあい



いろんな世代が集まるといいね。
子どもたちにもまちを
好きになってほしい。

地区の取組

地域の活動にぜひご参加ください。初めての人も歓迎します。近所に友達ができる楽し
いし、安心ですよ！（一部、参加に条件がある活動もあります）



あんしん訪問・あじさいの会 **見**

高齢者の方対象の見守り訪問と配食サービス



葵の会 **見**

高齢者の方向けのミニ・デイサービス（初音が丘地区センター）

一二三会 **見**

一人暮らしの高齢者の方対象の食事会（保土ヶ谷町・2丁目・元町自治会館）



シュークリーム **見**

未就学児と保護者向けの子育てサロン（初音が丘小学校）



親子芋ほり大会 **い**

親子での芋ほり、豚汁の提供（藤田農園）



健康づくり教室 **い**

ダンベル体操や、少し遠出してウォーキング（初音が丘地区センター他）

ラジオ体操 **い**

ビデオを見ながらみんなでラジオ体操（元町自治会館）



広報紙「ささえあい」 **担情**

地区社会福祉協議会に関する活動について年2回発行



単位自治会ごとにも様々な取組が行われています。参加の方法などは、回覧板や掲示板を見ていただくか、自治会の役員さんなどにお声かけください。各活動をお手伝いいただける方も募集中です。

いま保土ヶ谷中地区では・・・

- ・ 高齢者が増えていて、お買い物が大変な方もいます。
- ・ 認知症のある方も増えていきます。
- ・ 一人暮らしなどで、地域とのつながりが少ない方は、緊急時や災害時に心配です。
- ・ 新しいマンションが増え、子どもが多くなっている地域もあります。
- ・ 地域で行われている様々な活動を知らない方もいます。
- ・ 東海道をもっとPRしたいという声もあります。

今後の検討テーマ

- ・ 自力での買い物が難しい方の支援
- ・ 認知症や一人暮らしの方の見守り
- ・ 様々な世代がふらっと立ち寄れる場
- ・ 子どもが参加しやすいイベント
- ・ 地区内の活動の情報集約、お住まいの方へのお知らせの方法
- ・ 歴史ある街並みを清掃する「はまロードサポーター」などの美化活動

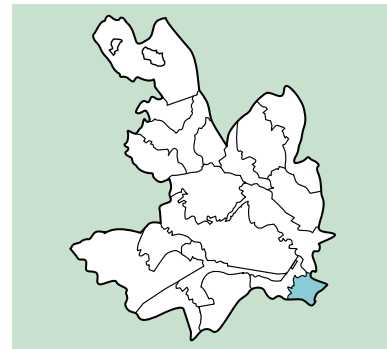
これからの進め方

保土ヶ谷中地区社協では、平成27年度から、様々な地域の団体が協力して「中地区をちょっと楽しくする会」を開催し、住民の皆様のご意見を踏まえながら「今後の検討テーマ」を整理してきました。

これからの5年間で、少しでも具体的な取組の実施につなげられるよう、自治会との連携を深めながら、引き続き検討を進めていきます。

「保土ヶ谷中地区をちょっと楽しくする会」の検討の様子

岩井町原 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 岩井町原地区は、JR保土ヶ谷駅から区南東部にかけて位置し、南区と西区に隣接した岩井町の一部で構成されています。
- JR保土ヶ谷駅との間には急坂がありますが、地区内を通るバスを利用すると、横浜駅や隣接した他区への移動が比較的しやすい地域です。
- 小・中学校、高校、病院、高齢者施設などの地域資源が豊富にあり、日頃からの交流や連携も増えつつあります。
- 20歳代～50歳代が比較的多く、また出生数も多い一方、高齢化も進んでおり、地区内の見守りやつながりがさらに重要になってきています。

目標・目指す姿

● 会館の拠点機能・地域の見守り機能を高めます。

岩井原会館を拠点とした地域活動の充実により、「岩井原会館に行けば誰かと触れあえる」環境をつくり、活動に参加する人同士のゆるやかな見守り機能を高めます。

● 町内会を超えた住民相互の交流と、活動の新たな担い手育成を図ります。

各町内会が主催する地域活動を連合全体でサポートすることにより、町内会単位を超えた住民相互の交流を進めるとともに、地域活動の新たな担い手を発掘、育成します。

● 学校・病院・施設・地域ケアプラザと行う活動を充実させます。

地域内にある保育園、小・中学校、高校、病院、高齢者施設、地域ケアプラザなどと協働して行う活動を充実させ、住民と公共施設との相互交流を促進します。

● 世代を超えた住民同士のきずなを深めます。

子どもから高齢者まで、世代を超えた地域活動を展開することにより、世代を超えた住民同士のきずなを深め、いつまでも住みつづけたいまち「いわいちょうはら」を目指します。



地区の取組

● イベントや各種事業を通じた交流 **見**

地域全体での行事に加え、岩井原会館で趣味を通じた住民同士の交流の機会として、各種教室を開催するようになりました。

- 敬老祝い会
- 富士見台小子育てサロン
- 秋季体育祭
- 納涼盆踊り大会
- 落語会
- いわいっこ冬まつり
- ボイスオブ富士見台/岩井町原
- 子ども神輿祭り

【趣味の教室】

- マージャン教室
- パソコン教室
- クラフトクラブ
- カラオケクラブ
- フラワーアレンジメント



今後のポイント

町内会や世代を越えた住民同士の交流を進め、交流を通じた参加者相互のゆるやかな見守りを進めていきます。



● 災害に備えた取組 **見**

従来から取り組んでいる消火訓練や避難訓練に加え、災害に備えて学校と連携した訓練を行います。

- 富士見台小学校の防災訓練への各町内会の参加
- 防災拠点での訓練に富士見台小学校の子どもたちの参加



● 広報啓発活動 **担情**

地域の取組を分かりやすく発信し、また様々な機会を活用して各種情報の提供を行います。

- 地区社協広報紙の定期発行

今後のポイント

広報紙発行を通じて、地域活動への参加者を増やすとともに、広報紙の編集作業を通して地域活動者同士のつながりを深めます。また、行事など人が集まる様々な機会を活用して情報発信を行います。

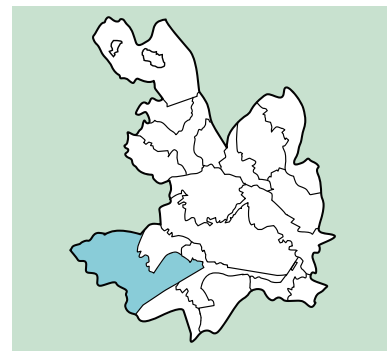
新規

● 健康づくりの取組 **い**

医療機関などと連携して、地域住民を対象とした健康づくりに向けた取組を進めます。

- 健康サロン

保土ヶ谷西部 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 保土ヶ谷西部地区は、区西部に位置し、今井川流域の低地と、周辺の丘陵部からなる地区であり、旭区・戸塚区に隣接しています。
- 今井町、境木町、法泉一～三丁目で構成され、約5,500世帯、約13,000人が暮らしています。
- 全体として住民の入れ替わりは比較的少なく、多くの人がこの地区に住み続けていると推測されます。
- 保土ヶ谷バイパスや横浜新道などが近くを走ります。
- 多くの人々が、バスを利用して相鉄線二俣川駅やJR東戸塚駅に出ます。
- 境木町公園からは、富士山やランドマークタワーを見ることができます。
- 法泉坂が、法泉一丁目、二丁目、三丁目の境を南北に貫いています。
- 今井川いこいの水辺が整備され、水生植物や川の生き物とふれあうことができます。

目標・目指す姿

みんなが
交流する
元気な
まち



ボランティア
に参加する
きっかけが
あるまち

子ども
たちが
豊かに育つ
まち

この4つを目指し、
若い世代とのつながりを
大切にしていきます。

互いの
活動が
見える
まち

地区の取組

★地域活動に関する情報を共有

これまで、「ほっとなまちづくり検討委員会」では、今井小・初音が丘小・橘中のPTAと民生委員・児童委員等が定期的に集まり、地域活動や、目指す姿について話し合ってきました。

今後のポイント PTAが地域の話し合いの場に参加する機会を通して、顔が見える関係をつくり、積極的に情報が共有できるようにしていきます。



ほっとなまちづくり
検討委員会

★地域活動へのPTAの参加

PTAは地域に関わるいろいろな活動をしています。その1つとして、高齢者食事会・さわやかお話し会(茶話会)で、お手伝いをする仕組みが数年前にできました。一緒に食卓を囲むだけではなく、血圧・体重測定、配膳、後片付けなどを通じ、交流が生まれています。楽しんで参加するPTAも多く、こうした保護者の活動への参加がきっかけとなり、「福祉のつどい」で小中学生がボランティアをすることにつながりました。

今後のポイント PTAの活動や地域のイベントを通して、保護者や子どもたちが地域の活動に興味を持ち、参加するきっかけを見つけていきます。



高齢者昼食会

★様々な人々が交流する機会の活用

平成24年度に、三世代交流をテーマにした「今井・法泉ウォーク」を行いました。PTA・民生委員・恵和学園など様々な人々が協力して企画を行いました。PTAの働きかけで子どもたちも参加し、高齢者・PTAと三世代でグループをつくって歩きました。ゴールでは、歩いて新たに発見した地域のことをお互い発表しました。

平成25年度の「第5回福祉のつどい」では、小中学生・高齢者・恵和学園の人々が交流しながらレクリエーションや食事を楽しみました。小学生のダンス披露、小中学生ボランティアによる駄菓子屋さんなども行われ、世代間の交流につながりました。

今後のポイント このように、地域に住む様々な人々が関わる機会を活用し、交流の場を生み出します。また、「参加しやすさ」を意識して、活動の間口を広げます。



今井・法泉
ウォーク

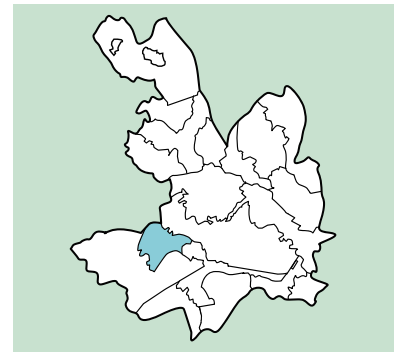


福祉のつどい

～保土ヶ谷西部地区ではほかにも様々な活動が行われています～

配食サービス、子育てサロン、母親ネットワーク、母親サークル、あんしん訪問、ふれあい給食会、救命情報カプセル、健康体操教室、健康講演会、豆まき、新春のつどい、地区社協・連合同研修会など...

新桜ヶ丘 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 新桜ヶ丘地区は区西部に位置し、今井川流域の北側丘陵部の開発によりできた地区です。
- 新桜ヶ丘一～二丁目及び仏向町の一部で構成され、約2,800世帯、7,000人が暮らしています。
- 総人口は徐々に減少し、それに伴い高齢化率は上昇しています。
- 保土ヶ谷バイパスや横浜新道、環状2号線などが近くを走ります。
- 多くの方が、バスを利用して相鉄線星川駅や和田町駅、JR東戸塚駅に出ます。



藤塚小児童が作成した地区のシンボルマーク「さくらん」

目標・目指す姿

みんなが主役のまちづくり

地域活動への参加を通して

交流の輪を
広げられた♪

年代を越えた
友達ができる♡

地域のことが
わかった!

と実感してもらえているので、より多くの方に参加してもらえよう、活動の輪を広げていきます。また、活動の輪を広げていく中で新たな担い手を発掘し、継続へとつなげていきます。

『住むならやっぱり新桜ヶ丘だよね!』
と言われるまちづくりを、
地域みんなで目指して!!

向こう3軒注意の目

子どもや障がい者、高齢者に優しく、災害時に一人も見逃さない地域にしよう!



地域防災拠点に「民生班」を設置し、災害時における要支援者への理解を深める活動を取り入れています。また、救命カプセルを全戸配布したので、その活用をしていきます。

※自治会費の集金は訪問のチャンス

おとなり近所お友達

地域活動などの時に、おとなりさんに声をかけるなど顔の見える関係づくりを進めよう!

「地域交流のつどい」や「昔あそびのつどい」を開催しています。

また、新桜ヶ丘地区社協だよりを発行しています。

※町内清掃は井戸端会議の場

地区の取組

★みんなが主役のまちづくり

- ・ 配達ボランティア：月一回、キッチン友の会が作った松花堂弁当を、高齢者、一人暮らしの方を対象に届けています。あんしん訪問も兼ねています。
- ・ キッチン友の会：高齢者向け昼食会・配食サービスの料理を作っています。
- ・ 新桜ヶ丘音頭普及委員会：作詞、作曲、振付を住民の手で作成。ふるさと作りを目的としています。
- ・ 花ボランティア：藤塚小学校のお花の手入れや児童と一緒に植え込みをしたりしています。
- ・ 子育てサロン「おもちゃばこ」：未就学児とその保護者を対象に、藤塚小視聴覚室を会場に毎週活動しています。学校行事に合わせて保育を行っています。
- ・ 新桜ヶ丘パートナー：コミュニティサロン「まどか」や、配食サービス「さくら草」など地域の皆様のオアシスとして利用してもらっています。
- ・ よつ葉会：藤塚小学校で高齢者のミニデイケアを実施。小学生との交流やバスハイク、バザーも行っています。
- ・ 藤小「朝ボラ」：藤塚小学校周辺で、朝の見守りとあいさつを行っています。
- ・ 藤小ホットプラス：地域の人材・物を活かして学校教育支援をしています。



活動発表の場「新春地域交流のつどい」

【その他の主な活動】

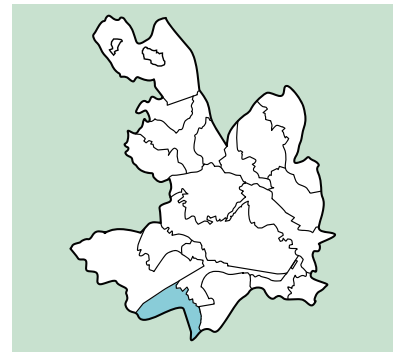
あんしん訪問推進委員会、藤塚太鼓、藤小図書ボランティア、青パトボランティア、“カーリットの森”を守る市民の会、パンダ公園花の会、ノーオンプコーラス、生き生き塾、藤塚小学校地域防災拠点、保土ヶ谷消防団第一分団第四班、交通安全母の会、今井町・新桜ヶ丘環境対策協議会、市沢・仏向の谷戸に親しむ会、老人クラブ3団体、イベント協力3団体、学校開放関連団体(市民図書他少年野球等8団体)、藤小キッズクラブ、藤小PTA・OB会、各委嘱団体(民生他4団体)



【今後のポイント】

- 高齢化が進む中で、新たな地域の担い手を発掘し、住民全員が地域に関われる地区にしていきたいです。
- 自治会の組織づくりと連携の再確認をしていきます。

権太坂境木 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 権太坂境木地区は区の最南端に位置し、戸塚区に隣接しています。多くの方がバスを利用して、JR東戸塚駅または保土ヶ谷駅にでます。
- 権太坂1～3丁目、境木本町で構成され、約5,000世帯、12,700人が暮らしています。開発が進んだ住宅建設が一段落して、新旧住民と一緒に安定した生活をしています。
- 人口は平成21年をピークに微減傾向にあり、40歳～50歳が主流となっています。高齢化率は、5年前から5%ほど増加し24.5%となり、さらに高齢化が進むことが予想されます。



境木地蔵尊

目標・目指す姿

さまざまな人が活躍できる場をつくり、地域活動を行う担い手を増やします。

楽しみながら、健康づくりができる取り組みを継続します。
みんなが元気で長生きし、安心して生活できるまちを目指します。

地域と学校が連携し、みんなで子どもを育てることに、さらに取り組みます。

各活動団体が連携して福祉活動にあたります。



区内でさまざまな活動を行っている人や団体が協力し、「権太坂境木地区社会福祉協議会」を核に、連携・情報交換を行うことで、それぞれの活動を活性化しています。

権太坂境木地区社協運営委員会

地区の課題や取組をみんなで話し合う会議を年4～5回開催しています。協力してまちづくりをするための大切な機会となっています。これからも継続して開催し、少しでも多くの方の意見を取り入れるよう運営をしていきます。



地区の取組



【子育てサロン「ピッコロ」】 **見** **担情**

未就園児を対象にした子育てサロンです。固定したプログラムはなく、集まった人たちが自由に親睦をはかることができます。



見 **担情**

【デイケア「すみれ」】

高齢者を対象に、昼食、レクリエーション、体操、落語、音楽会など多彩な活動をしています。



い **担情** **見**

【健康づくり「ハッピー体操」】

高齢者の健康増進を目的に、健康チェックや転倒骨折予防体操を行っています。



【医学講演会】 **い**

年1回、各分野のお医者さん、薬剤師さんなどをお招きして医学講演会を開催しています。



担情 **見**

【レコードカフェ】

レコードを聴き、コーヒーを飲みながら音楽や昔の話をし、みんなが気軽に集える「レコードカフェ」を開催しています。企画・運営してくれる担い手を募集しつつ行っています。



【広報わが町】 **担情**

地区社会福祉協議会が年1回発行している広報紙で、各自治会町内会から編集委員が参加して地域の福祉保健活動などを紹介しています。

★ 各自治会単位での活動 **見** **い**

「体操教室」「ヨガ教室」「ウォーキング」など健康増進の取組、「納涼祭」「盆踊り大会」「もちつき大会」「クリスマス会」など季節に応じた行事を行っています。

★ 推進員、指導員が中心の活動 **見** **い**

「かるたとり大会」「紙ヒコーキ大会」「グラウンドゴルフ」などを開催、実施しています。

★ ふれあいの樹林で行う「樹林フェスティバル」「落葉感謝祭」 **見**

子どもから高齢者まで、多くの住民が参加します。



★ 高齢者等の生活支援 **見**

高齢者、障害者など生活支援が必要な人をサポートするボランティア体制の確立を目指します。

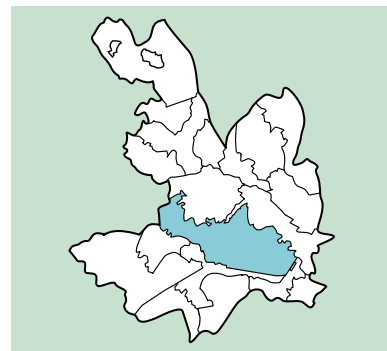
新規

★ 救命情報カプセルの普及と活用促進 **見**

緊急時に要救助者の情報を素早く把握できる救命情報カプセルの更なる配布及び普及と、配布済カプセルの活用を図るための説明会などを継続実施します。



保土ヶ谷東部 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 保土ヶ谷東部地区は、国道1号と横浜新道に囲まれた、東西に延びた地区です。
- 帷子町1～2丁目、月見台、霞台、花見台と桜ヶ丘一丁目・二丁目、岩崎町、岩間町2丁目、星川一丁目、初音ヶ丘、藤塚町、仏向町の一部で構成されています。
- 新しく開発された地域と、以前からほとんど変わらない地域が混在した地区で、約3万2千人が暮らしています。
- 高齢化率は約25.5%で、年々増加しています。
- 坂が多いため、住民の多くは車やバスを利用して生活しています。
- 県立保土ヶ谷公園があり、その中にある硬式野球場では夏の高校野球県大会などが行われています。

目標・目指す姿

地域住民がお互いに協力し、
住みやすいまちをつくらう！

今までの活動を継続し、
さらに充実・発展させよう



● 地区社会福祉協議会が中心となり、“住みやすいまち”の実現に向けた取組を進めていきます。

● 取組を検討・実現する際には、自治会町内会、民生委員・児童委員、主任児童委員、青少年指導員、スポーツ推進委員、保健活動推進員、老人クラブ、ボランティア団体など、様々な関係団体・機関と連携して、地域ぐるみで進めていきます。

● 今までに地域の中で育んできた多くの活動を、今後も継続して取り組んでいきます。

● 参加者のニーズや地域全体として必要なことを常に意識し、活動内容の充実・発展や担い手育成を進めます。

● 地域の様々な団体やボランティアの方々との連携を強化していきます。

地区の取組

今後5年間で力を入れていく新しい取組

“誰もが利用できる”“来た人が活躍できる”居場所づくり **見** **い** **担情**

子どもから高齢者まで、誰もが利用でき、そこに来た人同士がつながり、教え教えられる関係で互いに活躍できる「居場所」を、各自治会・関係機関と協働してつくります。

場所を新設するだけでなく、各自治会で行っている既存の事業を拡充することで居場所づくりを進め、誰でも利用できるような仕組みをつくります。



ふれあいスポーツフェスティバルの開催 **い**

保土ヶ谷東部地区では、平成27年で46回を数える地区連合体育祭を実施してきました。今後は、この体育祭を地域住民の継続した親睦・健康づくりの場として、内容の幅を広げ実施していきます。また、多世代交流の場としても広げていきます。



夏祭り・盆踊りの活性化 **い** **担情**



地域住民の交流を深める重要な事業である夏祭り・盆踊りを、地区内の全自治会町内会で協力して開催することが目標です。開催にあたっては、複数自治会町内会での共催や学校への協力依頼などを進めていきます。また、子どもたちの思い出づくりの場として、地域への愛着を深める機会としていきます。

★子育てサロンさくらんぼ

県営花見台集会所で月1回開催。0歳から未就園児の親子の交流の場。



★一人暮らし高齢者配食活動

一人暮らし高齢者の見守りと健康維持を目的とした配食活動を月2回実施。

★健康講座

住み慣れた地域で元気に暮らしていくための講座を年1回開催。



- ★災害時における高齢者・要援護者支援
- ★小学校安全パトロール
- ★地域のボランティア活動
- ★犬のおまわりさん事業

★あんしん訪問

70歳以上で一人暮らしの方、日中ひとりで過ごしている方、高齢者のみの世帯の方などを対象に、月1回のペースで訪問・声かけを実施。

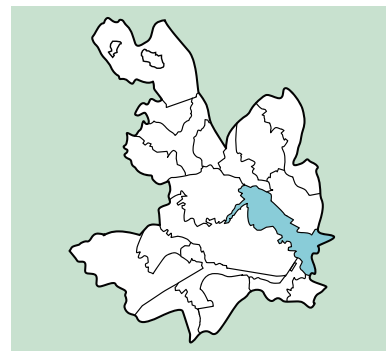
★地区社会福祉協議会だより

地域の活動・情報などを広報紙として年3回発行。全世帯と学校・施設などに配布し、地域情報をお知らせ。



これからも続けていく大切な取組

岩間 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 岩間地区は、相鉄線星川駅から天王町駅、JR保土ヶ谷駅付近まで連なる地区です。帷子川、今井川に沿った比較的平坦な土地と、高台の住宅地も一部含まれます。
- 岩間町1～2丁目、西久保町、神戸町、桜ヶ丘一丁目（一部）、星川1～3丁目、明神台で構成され、駅周辺にマンションが建ち並ぶ一方、昔からの住民など戸建も多い地域です。また、旧東海道が通り、沿線に商店が立地する地区と工場跡地に開発されたビジネスパークもあり、バラエティに富んでいます。
- 住民は約10,500世帯、約20,400人で、20代後半など若年層が区平均より多いですが、高齢化率も徐々に上がっています。
- 地区の多くのエリアでは、駅が近く、バス路線もあるため、比較的外出しやすい環境にあるといえます。

目標・目指す姿

ゆるやかなつながりのあるまち岩間地区をめざして

● 孫子老(まごころ)が笑顔でつなぐまち

多数の地域の方が参加する「ワールドカフェ」「ミニ運動会」「講座・研修会」を引き続き実施することで、家族や地域の方たちとの絆を深めます。



● 地域の団体が活発につながっていくまち

地区社協、地域ケアプラザ、区社協、区役所、自治会、老人クラブ、こども会、民生委員・児童委員などが連携して、地域活動や居場所づくり、担い手づくりに取り組みます。特に外出先で突然倒れた場合などに身元がわかるよう、緊急連絡先のわかるキーホルダーなどの見守りツールを活用し、高齢者を対象にした見守り活動を行います。



● 人と人がつながって気づいて見守るまち

地域での人と人とのつながりや、あいさつ運動を通じたちょっとした様子の変化などの気づきのなかで、認知症高齢者の見守り、児童虐待等の早期発見、障害がある方への支援に取り組み、問題が発生した場合は適切な対応（区役所など関係機関への通報など）が取れるようにします。



地区の取組

● 地区社協の活動

地域の方と関係機関とで、定期的に地区の取組について検討する場を設けています。

① ワールドカフェ

地域の皆さんが多数参加し、地域課題や課題の解決に向けて話し合ってきました。

平成27年度は「見守り」をテーマに前半は講演会、後半はワールドカフェを実施しました



26年度「町内危険箇所」



24年度「つながりのある地域」



25年度は「災害の対応」

② ミニ運動会

保土ヶ谷小学校で孫・子・老の三世代と一緒に楽しみながら種目に取り組みます。防災に関する意識を高められるよう、地区・防災クイズを行っています。

③ 講座・研修会

「健康づくり」「防災」など、地区の課題に応じた講座や研修会を開催しています。



ミニ運動会



講習会・研修会

④ 広報紙の発行

年2回「岩間地区社協だより」を発行して、地域の取組や各種情報をわかりやすく発信しています。

● 地域で支えあいの仕組みづくりが、活発に行われています

子育てサロンや高齢者会食会、健康体操などを通じて、人と人とのつながりを深めています。

① 見守り支えあう交流の場～サロン、ミニデイサービス～ **見**

明神台サロン「ひだまり」、星川3丁目配食の会、星川1丁目ひまわりの会、ステージ星川、神戸町東部町内会会食会、天王町サンハイツゆうゆうクラブ、西久保町東部自治会小物づくり、神戸町西部親和会ゆうゆうサロン、西久保町公園ハイツほのぼのクラブ

② 健康づくりの場 **い**

星川1丁目元気会、明神台ふれあい体操、岩間町おしゃべりのたまり場の会、西久保町南部町内会清掃活動

③ 次世代応援の場 **担情**

子育てサロンハーモニー、星の子学援隊、保土小パトロール隊



西久保町東部自治会小物づくり



西久保町公園ハイツほのぼのクラブ



明神台サロン「ひだまり」



星川1丁目ひまわりの会

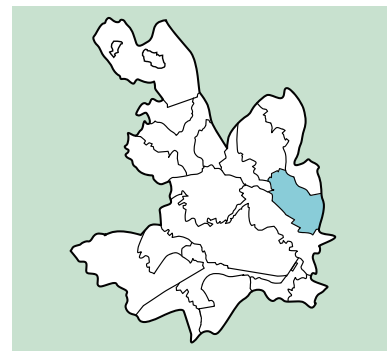
今後のポイント

- ★相鉄線星川駅、天王町駅高架完成後のまちづくりを地域で取り組みます。
- ★子育て世代や働いている人が参加しやすいイベントの実施を考えていきます。

新規

- ★認知症の方や高齢者の方をささえる仕組みを改めて構築できるよう取り組んでいきます
元気なうちからの関係づくりやいざというときのために、緊急連絡先がわかるキーホルダーなどの見守りツールを活用し、高齢者対象の見守り活動を行います。

中央地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 中央地区は、天王町1～2丁目、宮田町1～3丁目、川辺町、峰岡町1～2丁目で構成されています。
- 相鉄線星川駅、天王町駅の北側に位置し、北にかけて坂が多くなっています。
- 世帯数9,000世帯、約19,000人が暮らしています。30～40歳代が比較的多いまちですが、高齢化率も上昇しています。
- 商店なども多く、交通の利便性も高い地区です。相鉄線沿いの新しいマンションと、北部の戸建が多い古くからの町並みとが混在した地域です。

目標・目指す姿

笑顔で声を掛け合い
心通い合う 活気あふれる 安全で
安心な街 中央地区

思いやりと支え合いの心を次世代につなげていこう!

高齢者の見守りを継続・充実させよう!

障がい者への理解を深め見守るまちにしよう!

多くの仲間が参加して心通い合う地域の輪を広げよう!

子育てを地域で見守る支援の環境づくりをしよう!

星川地域ケアプラザを中心としたネットワークづくりを更に進めよう!

地区の取組

● 地域内の見守り・支えあいの取組の継続・充実 **見**

「おたのしみ会」「配食サービス」「会食会」「サロン」など。

● あんしん訪問の継続・充実 **見**

一人暮らし高齢者の孤立化を防ぐため、訪問員相互の情報交換の場を設けるなど、「あんしん訪問」を更に充実します。

● 地域への愛着・子育て支援の環境づくり **見**

お祭りや餅つきなどの行事は、子どもの思い出に残るよう工夫し、地域への愛着を持つ子どもを育てます。
また、地域と学校の更なる連携や子育て世代のふれあいの場づくりなどを通して、安心して子育てのできるまちにします。

● 自治会町内会での「認知症サポーター養成講座」の実施 **見**

認知症の理解者・支援者を増やし、認知症の人も住み続けられるまちにするため、地域ケアプラザと連携して各自治会町内会での「認知症サポーター養成講座」をきめ細かく実施します。



おたのしみ会



お祭り

今後のポイント

● 障がい者への支援

地域にある障害者施設と連携し、障がい者への理解・支援の啓発活動を進めます。

● 次世代の担い手づくり

地域ケアプラザ、区社協、区と連携し、取組を進めていく次世代の担い手づくりに努めます。

● 災害時要援護者の支援体制づくり

お互いの顔を知り、誰もがいざというときにも安心なまちにします。



天王町町内会ラジオ体操

● 地区社協健康体操講座 **い**

魅力ある講師の選定、受講者を増やす工夫をして継続します。

● ラジオ体操、ウォーキング教室など **い**

健康寿命の延伸を目指し、取組の継続、未開催の地域には実施をはたらきかけていきます。



健康体操講座

● 高齢者ボランティア **担情**

元気な高齢者が活躍するボランティアグループを立ち上げ、生きがいの場を作ります。

● 地区社協広報誌発行の継続・充実 **担情**

地域密着の情報を掲載し、地域に興味を持つきっかけにします。

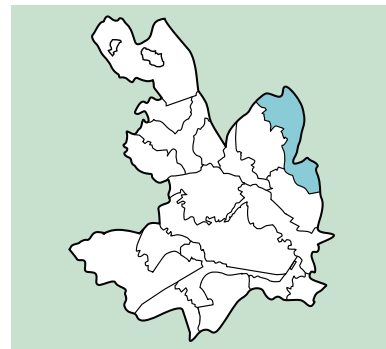
● 避難場所の周知 **担情**

災害時の避難場所(いっとき避難場所、助け合い避難場所、地域防災拠点、広域避難場所)の役割と場所を全ての住民に周知徹底して、安全・安心なまちを目指します。



地区社協広報誌
「お元気ですか」

中央東部 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 中央東部地区は、区北東部に位置し、鎌谷町、岡沢町、峰沢町の3町で構成しています。西区及び神奈川県に接しており、周辺には、緑豊かな三ツ沢公園や横浜国立大学があります。
- 中央東部地区には、約5,800世帯、約11,500人が暮らしています。新横浜通りや裁判所通りなどの区境や町境の道路、地区内を横断する国道1号や大池道路には、横浜駅西口を起点とした路線バスが運行され、住民の暮らしを支えています。
- 国道1号の南側の地域は、戸建て中心の木造住宅が密集しています。地形の起伏が激しく、幅の狭い急な坂道や階段が数多くあります。信号機もなく、商店もごくわずかです。北側の地域は、丘陵地にキャベツ畑などの農地が広がり、大規模な団地も所在しています。
- 地区内には小中学校がありません。西側の一部の地域を除き、地区内の多くは、西区及び神奈川県内の小学校の通学区域となっています。
- 地区の高齢化率は、25.6%（平成27年9月末）。昭和40～50年代に多くの団地が建設された地域は、高齢化の進展が特に著しいです。

【高齢化率の推移（65歳以上）】

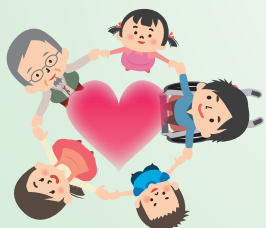
	中央東部地区全体	鎌谷町	岡沢町	峰沢町
平成27年9月末	25.6%	26.3%	20.6%	29.2%
平成10年9月末	15.7%	20.4%	15.5%	10.7%

目標・目指す姿

安心して暮らすことができるまちをめざします

支えあい・つながりの
輪をひろげよう

これまでの取り組みを継続し、
新たなテーマも取り入れます。



情報をみんなで共有し、
だれもが活躍できる
機会をつくろう

- 定期的な話し合いの場をつくりまします。
- わかりやすく情報を伝えます。
- 担い手が参加しやすい工夫をします。

地区の取組

★支えあい・つながりの輪をひろげよう **見い**

★これまでの活動を大切にしながら、新しい視点も取り入れていきます。

★あんしん・見守り★

- 災害時や緊急時に支援が必要な方々を把握し、日頃の見守りにつなげます。
- 救命情報カプセル内の情報更新や正しい使い方を、各世帯に働きかけます。
- 地域の防犯・美化・見守り活動の充実のため、日常の散歩を活用します。



★支えあい★

- 子育てサロンなどを通じて、子どもたちや子育て中の家庭を応援します。
- ひとり暮らし高齢者食事会、交流サロンを継続し、高齢者の孤立を防ぎます。認知症の予防やサポートの視点も大事にしていきます。



子育てサロン



まごころこもった豪華な手作りメニュー

★健康・交流★

- 体操、ウォーキング、グラウンドゴルフなど、健康づくりに取り組みます。
- みんなをつなぐ交流の機会を、普段から大事にします。施設との交流や、様々な世代が交流できる祭り・盆踊り・餅つきなどの地域行事を、これからも大切にしていきます。
- 身障者レクリエーションの集いを、継続します。



身障者レクリエーションの集い

★情報をみんなで共有し、だれもが活躍できる機会をつくろう **担情**

★話し合い・発信★

- 地区懇談会を定期的で開催します(隔月開催)。
 - ・それぞれの町の話や相談ごとなどを持ち寄り、情報共有と意見交換を行います。
 - ・活発な話し合いにより、「支えあい・つながりの輪」をさらに広げていきます。
- 認知症や障害などについて、理解を深めるための勉強会を定期的で開催します。
- 地区社会福祉協議会や自治会の会報を通じて、タイムリーに情報を伝えます。
- 区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザと一層連携していきます。



★担い手★

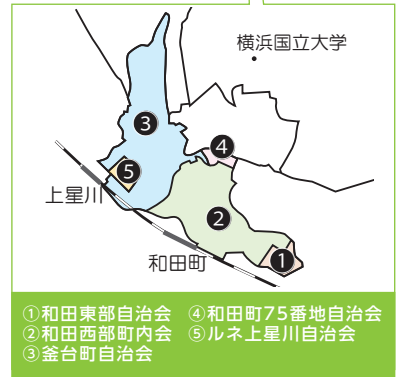
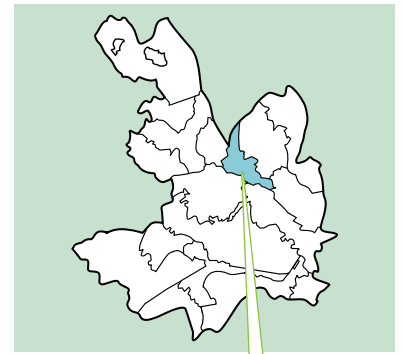
- 活動を一層充実していくため、地域の担い手を増やしていきます。
 - ・得意なこと・できることを、地域の中で活かすことができる仕組みを考えます。
 - ・今、活動している人が、今後も地域の担い手として活躍できる仕組みを考えます。
- 懇談会や勉強会、会報、声掛けなどをきっかけに、担い手を発掘します。



和田地区

【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 和田地区は、相鉄線和田町駅の北側に広がり、帷子川流域の低地と常盤公園周辺の丘陵部からなる、坂が多く自然が残る地区です。
- 国道16号に沿うように相鉄線が走り、交通の便が良く病院や保育所も多いです。また、隣近所の関係を持ちやすく、子育てのしやすい温かいまちです。
- 和田一丁目・二丁目と釜台町で構成されており、約3,800世帯、7,400人が暮らしています。（平成27年9月時点）学生が多い為、20歳前半男性の人口が多くなっています。
- 近年人口の減少に伴って高齢化率は上昇し、高齢者のひとり暮らしが増加しています。



目標・目指す姿

人に親切、人と人のつながいを大切に する「住みよいまち」

- ・誰もが気軽に立ち寄りおしゃべりができる「憩いの場・カフェ」などを検討します。
- ・地域と学校がさらに連携し、世代間の交流と子どもの見守りを進めます。
- ・認知症への理解を深め、認知症の方とその家族への温かい見守りと心強い支えづくりを進めます。
- ・マンション住民と地域のつながりを高める方策を検討します。

みんなで助け合う、自分も何かの役に立つ 「支えあうまち」

- ・活動者の背中を追えるよう、今の活動を続け、地域活動への関心を高める工夫を考え、参加を促す啓発方法を検討します。
- ・自分も地域の中で何かの役に立ちたいと思っている方が活躍できる具体的な方策を検討します。
- ・小中学生および高齢者（老人クラブ）による、困っていることをお手伝いする「お助け隊」のような組織づくりを検討します。

和田地区スローガン

**このまちが好きです！
だから集います。**

自然を愛し、人に優しい 「安心なまち」

- ・災害時の被害を最小限にするためには「日ごろの備え」が一番大切。「我が家を防災拠点」にするための実践方法をPRしていきます。
- ・災害時に必要な支援ができるよう、援護が必要な方の新たな情報収集を進めます。

古さと、新しさが共存・融合する 「楽しく・進化するまち」

- ・商店街活性化の中心として、若手中心の組織の立ち上げを検討します。
- ・相鉄線延長や立体化などまわりの環境が変わる中で、地域の活性化アイデアを話し合います。
- ・日ごろからの運動習慣や栄養バランスの重要性を啓発し、いきいき健康づくりに取り組みます。
- ・地域にあるたくさんの資源を活用する方法を検討します。

地区の取組

和田地区の取組3本柱

ふれあい食事サービス

昭和57年からスタートした取組で、毎月第4水曜日に行っています。料理する人と食事する人が交流する、楽しいおしゃべりと情報交換の場です。徒歩での参加が困難な人には送迎もしています。

これからも継続して実施し、高齢者の外出・交流のきっかけづくりとします。

見
い



配食サービス

毎月第2・4金曜日に手作りのお弁当を、登録された方にお届けしています。調理も配達もボランティアを中心に実施しています。

登録者の健康づくりのためだけでなく、日頃からの定期的な見守りにもつなげていきます。

見



ミニテイサービス「木もれ日広場」

毎月第3木曜日に開催しています。歌・手工芸・レクリエーションなど、担い手の創意と工夫がちりばめられ、参加者の笑顔があふれる取組です。

参加者同士の交流を深めるのはもちろん、幅広く地域の方々が交流していけるような工夫を考えていきます。

い



地域にはこんな取組もあります

地区連合町内会フェスティバル

い **担情**

第2期計画に基づき開始した和田地区住民のつながりや連帯感を深める行事として年1回開催し今後も継続していきます。



子育てサロン「陽だまり」

見

毎月第1火曜日に乳幼児の親子を対象に仲間づくりをしています。にじいろ保育園の先生・園児も参加し、交流の場にもなっています。

各自治会町内会での取組

い

「べっぴんマーケット」「和田町芸術作品展」「釜台体操教室」など、各自治会町内会において、多くの取組を実施しています。

保土ヶ谷中学校地域防災拠点訓練

見 **担情**

和田西部町内会防災フェア

防災の取組を通して地域住民や学校とのつながりを深めています。和田西部町内会の防災フェアは防災グッズの実践など盛大に行っています。



あんしん訪問

見

訪問や電話などにより、地域の高齢者をゆるやかに見守っています。

地域支援事業所 ダンボとの連携

見

ボランティア団体の拠点や各イベント協力などで関係を深めています。

ここにも力を入れていきます

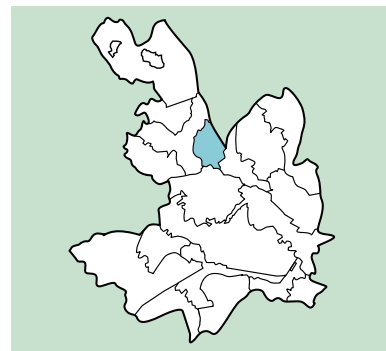
- 若い世代や商店街と連携した取組を検討していきます。
- 地域住民が広く集まり、自分たちの地区について語り合う機会を定期的につけていきます。
- 空き家や空き店舗を活用した、誰でも気軽に立ち寄り、会話や交流ができる「たまり場」づくりを検討します。
- 地区の取組を幅広く知っていただく情報誌の発行に取り組みます。



ワールドカフェ

地域の方々の和田地区への「思い」を、熱く楽しく語り合いました。

上星川 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 上星川一～三丁目で構成され、約6,100人、約3,000世帯が暮らしています。
- 南側は相鉄線と国道16号が走り、帷子川が流れる比較的緩やかな地形です。西側は環状2号線に接しています。北側は坂の多い地形です。
- 近くの上星川駅から横浜まで電車で10分程度、区域内を国道16号が走っているため移動が便利です。また、区域内にスーパーマーケットや商店街があり、買い物環境も良好です。
- 最近駅近くにマンションが建ち始め、新しい住民が増えています。

私たちのまちのこんなところが好きです。

まちの人は温かく穏やかで、長く住んでいる人も多いんだ。隣近所の付き合いが残っているから、困ったことがあっても相談できる人が多くいるんだよ。

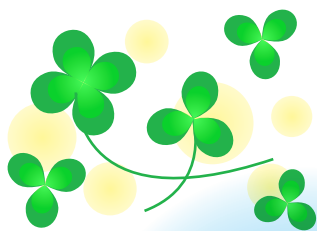
移動や買い物環境に恵まれている一方で、まだまだ緑や自然が残っているのよ。



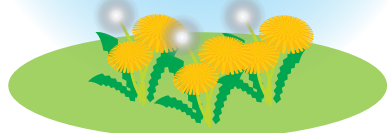
犯罪が少なく、静かで安心・安全なまちだと思うよ。

上星川という名前が気に入って住んでいる人もいますよ。

目標・目指す姿



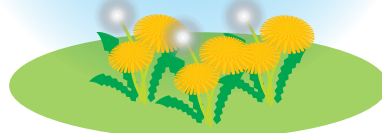
子育て世代から高齢者まで、世代を超えてみんながつながり、子育てしやすいまちを目指します。



あいさつ・コミュニケーションができ、住民一人一人が地域で一緒に住んでいるという意識を持って生活しているまちを目指します。



元気な高齢者も、認知症など病気になった方も、地域や関係機関の支えあいで、住み慣れた場所で暮らし続けていけるまちを目指します。



地区の取組

様々な住民がつながる取組 **見 い**

- * 新しいつながりは、まず**あいさつ**から。新しい住民も増えています。積極的に声かけをし、あいさつできる人を増やしていきます。
- * **ほっとするサロン(交流サロン)**での様々な工夫
 - ・つながりの輪を広げていくため、年齢を問わず集まれることを目指します。
 - ・認知症など病気がある方でもより気軽に参加できる工夫や配慮を行います。
 - ・地域作業所「とうふ工房夢21」による豆腐販売をはじめ、障がいのある方との交流を深めていきます。

支え・支えられ、住み慣れた場所で暮らす取組 **見**

- * 地域のボランティアが高齢者などの話相手や買い物の付き添いをするなど、**互いに助け合う**まちにしていきます。
- * 一人暮らし、老老介護の方、障がいのある方に寄り添い、**地域の見守り支えあい**をしていきます。
- * **上星川配食会**
これからも、手作りのお弁当を四季折々に工夫して作っていきます。
- * **きらきらぼし(子育てサロン)**
 - ・違う年齢の子どもたちとの交流を進めていきます。
 - ・異世代との交流を検討します。



みんなでいきいきと健康に暮らす取組 **い**

- * **ミニデイ上星川**
午後の短い時間ですが、折り紙・工作などしています。季節のお菓子を用意するなど、ちょっとした工夫をしながらこれからも続けていきます。
- * **ラジオ体操やウォーキング**をさらに広め、お互いの健康にも気を配れるようにしていきます。
- * **認知症予防**に力を入れ、様々な場を使い、予防体操を広めていきます。

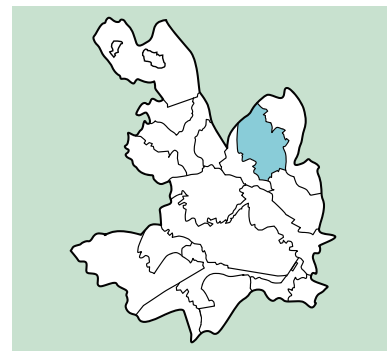


活動を知ってもらい広める取組 **担情**

- * 年2回、**地区社協だより**発行を続けます。
- ・分かりやすい情報、親しみやすいレイアウトなど読みやすい広報紙にしていきます。
- ・地域の活動は、誰でも参加しやすい雰囲気・工夫を心がけます。



常盤台 地区




【わたしたちのまちの概況・特徴】



- 常盤台地区は、常盤台・峰岡町 3 丁目で構成されています。
- 地区の中心に横浜国立大学(国大)があるため、周辺に多くの学生が暮らしているほか、キャンパスや常盤公園など緑豊かな環境が多く残されています。
- 地区連合町内会は戸建て住宅中心の自治会 7 自治会とマンション自治会 3 自治会の、計10自治会からなり、住民層は幅広い世代に亘るだけでなく、若者の割合の多さも特徴的です。
- 高台に位置しているため鉄道の駅に出るには坂の上り下りが必要ですが、その分、健康面や、静かで良好な居住環境を今後も維持できるエリアです。
- 神奈川東部方面線として、平成30年度内に相鉄・JR直通線の開通、31年 4 月には相鉄・東横線直通線の開業が予定されており、これに伴い、常盤台に近接した羽沢新駅(仮称)が設けられることから、地区の生活環境や住民層も少しずつ変化していくと考えられます。

目標・目指す姿



常盤台地区では、この4つの目標の実現を目指します！





様々な地域活動や担い手の発掘を通じて**支えあう仕組みづくり**を進め、安心して暮らせる住みやすいまちをつくっていきます。




国大や学生と共存しながら助けあえるモデル地区として、さらに**交流・連携**を深めていきます。



地域での活発な交流によって、子どもから高齢者まで仲間と一緒に、**こころとからだの健康づくり**に取り組んでいきます。



幅広い世代に加え、新線開業等に伴う新しい住民層にも認知されるよう、地区や各活動の**情報発信**を充実させていきます。



地区の取組



2020常盤台



～5年後を目指して常盤台地区は次のような取り組みを進めていきます～

支えあう仕組みづくり 国大との交流・連携

あんしん訪問 防犯パトロール
救命情報カプセル 会食会 カフェ
人材バンク 子育てサロン

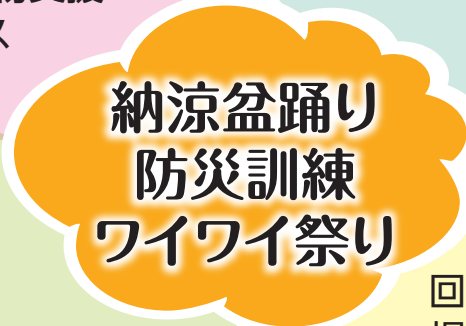


- わんわんパトロール (ピーポー・ワン)
- お助け隊
- 世代間交流
- 買い物支援
- コミュニティバス



連絡協議会 常盤祭
ワークショップ
国大・連合町内会一斉清掃
留学生による外国語講座

- セミナー
- 防災協定
- シェアハウス



健康セミナー
スクエアステップ ラジオ体操
いきいき体操 グラウンドゴルフ
ウォーキング 歌 健康麻雀

- 活動PR
- 仲間づくり支援
- リーダー養成

こころとからだの健康づくり



回覧板
掲示板
広報紙
ホームページ



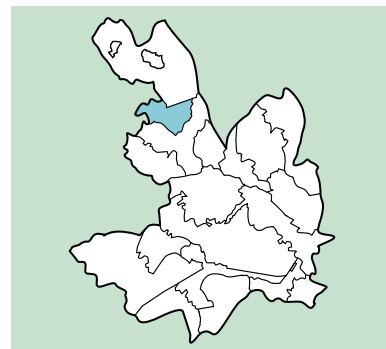
(<http://www.tokiwadai-yokohama.jp>)

- ホームページのコンテンツ充実
- 常盤台の魅力のPR
- 自治会広報紙の拡大

情報発信と共有

「○」がついているものは、今後取り組んでいきたい項目です!

西谷 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 西谷地区は、約3,400世帯、6,800人が暮らしています。
- 最寄り駅の相鉄線西谷駅は、相鉄・JR直通線や相鉄・東急直通線の開業により、大幅な利便性の向上が期待されます。
- 西谷駅を中心に商店や医療機関、地区センター、保育所などがあり、地域のふれあいの場として認知されています。保育園も地域に根付き、子育て環境も充実しています。
- 農地が多く、じゃがいも、ねぎ、キャベツなど「はま菜ちゃん」の産地です。
- 地域のほぼ中心を国道16号が通り車のアクセスも良いため、若い家族層も多く、15歳以上65歳未満の割合は67.0%と区平均より高くなっています。

【展望・課題】

- ★ 鉄道アクセス向上により生産年齢層の増加がもたらされ、世代間交流の深化、地域活動の担い手不足の解消、及び古くから根づく地域コミュニティとの融合がもたらすプラスの効果が期待されます。また平坦で徒歩で移動しやすい地域と、丘陵・坂の多い地域の両方の特性を持ち併せており、様々な生活ニーズを解決するための協力体制が求められます。

目標・目指す姿

「笑顔であいさつふれあう西谷」

地域全体で、笑顔であいさつしあい、ふれあいの場を多く作っていきます。災害時など、「何かあったとき、困ったときに、助けあえる関係」が自然と形成されていく地域を目指します。

あいさつは先手を!

ふれあいの機会を多くつくります

- ・ 子どもから高齢者まで、地域住民の日々の支えあいやイベントを行うことで、ふれあう機会をつくります
- ・ すみれ会や健康体操など、健康で元気になれる場をつないでいきます

あいさつを継続してつながりを深めていきます

- ・ あいさつ活動でより多くの顔見知りをつくり、つながりを深めます
- ・ 学援隊や町会イベントなど、年齢に関わらず笑顔で声かけ・対話ができるまちを目指します

誰もが健やかに暮らせるまちをつくります

- ・ 清掃活動や環境美化の呼びかけにより、きれいな街並みを未来に残します
- ・ 防犯のため身近な関係を育み、皆で安心して安全に暮らせる地域をつくります
- ・ 様々な活動主体で情報を共有し、災害時に助けあえる地域をつくります



地区の取組

ほっとなまちづくり懇談会の開催を通して **見い担情** 住みやすいまち・西谷らしい取組を深化させていきます。

ほっとなまちづくり懇談会は、西谷地区の現状を分析したり、必要な取組・これからの取組について話し合ったりするための重要な場となっています。

特に、西谷地区のまちづくりの検討・推進をはかる会として多くの人の参加があり、大切な「ふれあいの場」ともなっています。

「笑顔であいさつふれあう西谷」の実現に向けて、各取組を活性化していくために、各町会や地区社協、民生委員・児童委員などの取組を共有することはもちろん、幅広い方々のオープンな参加を呼びかけていきます。

地域全体の取組

★すみれ会(高齢者昼食会)

保育園児との交流会や、演芸やダンスなどを楽しむふれあいの場。毎月1回開催され、ボランティア参加の礎にもなっています。

★認知症支援

認知症サポーター養成講座開催のほか、警察・郵便局・タクシー会社などと連携体制を整え、地区全体で支援しています。

★多世代交流・地域イベント

フェスティバルin西谷・地区センター祭り・ふれあい縁日などを開催し、老若男女の気軽なふれあいの場となっています。



地域の多彩な取組

西谷地区センター・川島地域ケアプラザなどでの活動

★健康体操・親子体操

毎月1回程度開催。リンパマッサージや、親子で行うリトミック体操など、リフレッシュできる企画を実施しています。

★地域のつながりを深める交流活動

毎年1回の交流旅行、社交ダンス、カラオケなど、有志でイベントを自主開催しています。

★子育てサロン

保育資格を持つ主任児童委員・民生委員・地域のボランティアが活動するサロンです。子育てのアドバイスの他、親子運動会なども実施しています。



各町会での活動

★各町会の元気な活動

町会ごとにシニア世代の任意団体の活動があり、「きらり☆シニア塾」認定団体も多くあります。また、縁日や紙ヒコーキ大会などの子ども会の活動も盛んです。

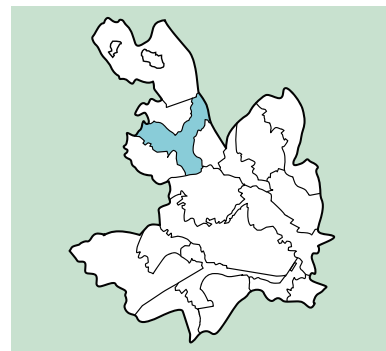
防犯・防災に力をいれていきます!

見い担情

- あいさつ運動の励行により、災害時などに協力できるつながりをつくれます!
- 夜間パトロールなど、日頃から防犯活動に取り組みます!
- AEDマップの作成など、命を守る準備に取り組みます!



川島東部 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 川島東部地区は、相鉄線上星川駅と西谷駅の間に位置し、帷子川流域の平地と国道16号線を挟んで広がる丘陵部からなる高低差のある地区です。
- 川島町と東川島町・西谷町の一部、第1町内会から第6町内会まで6つの町内会で構成されています。約3,400世帯、7,100人余が暮らしており、高齢化率は25%です。
- 毎年、地域や世代を超えた交流と親睦を図る地区連合の運動会が開催されています。
- 小学校は川島・上星川・坂本の3校、中学校は西谷・保土ヶ谷の2校の通学地域となっています。



地区連合の運動会

目標・目指す姿

地域の絆・つながりを目指す「ほとなまちづくり懇談会」の活動を続けていきます。

自然体で隣近所の人とあいさつや声掛けをしていきます。

要援護者との日常的なかわり、そして見守り活動につながります。

世代間の交流を大切にした地区社協の事業などを、さらに充実させていきます。

行政・専門機関との連携を深めることは、地域の福祉向上につながります。

地区連合や町内会の各種行事・地区社協の事業等の諸活動を通して、支えあいの仲間や担い手を増やし、活動の輪を広げていきます。

人がつながり、仲間ができていくことにより、地域の様々な場面での助けあいが生まれます。

あいさつで
地域に広がる
笑顔の輪
を大切にして

広報紙・標語ポスター・のぼり旗等を通して、地域の絆・つながりを深める福祉の情報や活動を地区に広く知らせていきます。

どのように支えあい、助けあえばいいのかを伝えていくことによって、担い手を増やしていくこととなります。

地区の取組

川島東部地区ほっとなまちづくり懇談会 **見** **い** **担情**

6町内会長、地区社協役員、地区民児協委員、川島地域ケアプラザ、区役所・区社協地域担当の構成で2か月に1回の懇談会を開いています。



今後のポイント

●ふれあいウォーキング **見** **い** **担情**

子どもから大人までの参加により、世代間の交流を図っていきます。

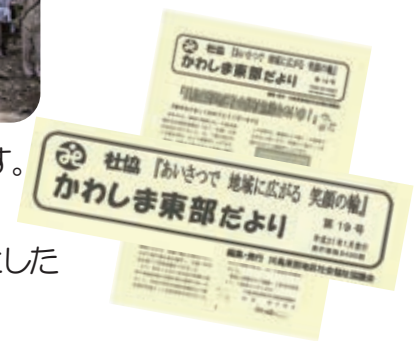
地域の良さを発見・再確認していきます。

自然体であいさつや声掛けをして、支えあいの仲間を増やしていきます。



●標語の普及啓発 **見**

川島東部だより・町内掲示板の標語ポスター・のぼり旗等をきっかけとした普及啓発活動を進めていきます。



川島東部地区社協事業の充実

●昭和56年からの「ふれあい給食会」 **見** **担情**

多くのボランティア・川島小学校児童と先生方の参加協力を得て、一人暮らしの高齢者の皆さまが食事と歌や演奏などのひとときを楽しんでいます。



●平成16年からの「子育てサロンほのぼの」 **見** **担情**

地区の主任児童委員とボランティアを中心に乳幼児の交流と子育て中の保護者の情報交換や育児相談を行っています。



●日帰り交流バス旅行 **見** **い**

「ふれあい給食会」参加者がバス・温泉施設を利用して親睦を図っています。

●坂本小ふるさとまつりへの出店 **い** **担情**

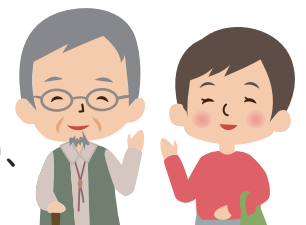
地産の野菜や生花の出店を通して地域の良さを小学生や保護者に伝えています。



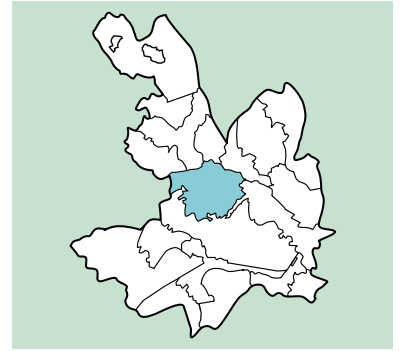
あんしん訪問活動の継続

●災害時要支援者連絡票づくり **見** **担情**

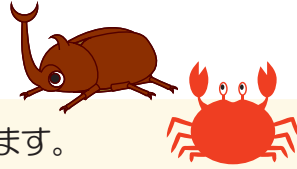
平成20年から民生委員が中心となって、本人同意のもとで連絡票を作り、町内会と見守り・支えあう取り組みをしています。



仏向 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】



- 仏向地区は仏向町、仏向西、坂本町で構成されています。
- 区のほぼ中央に位置し、帷子川流域の低地と丘陵部からなり、旭区と隣接しています。
- 相鉄線の和田町・上星川両駅の南側に、駅から坂を上っていく地形に沿って広がり、約8,300世帯、18,000人が暮らしています。
- 自然豊かで、仏向川沿いにサワガニやカブトムシがいたり、たちばなの丘公園付近でホタルを見ることができます。また、昔からの歴史や史跡、文化財も豊富です。
- 畑が多い土地を活かし、住民同士で畑を貸し借りしたり、直売所にて新鮮な野菜が手に入りやすく、学校給食にも取り入れられています。また、ミカン狩りや芋ほり等も楽しむことができます。
- 近くには幹線道路が走っており車でのアクセスも良く、転入してくる若いファミリー層も多く、15歳未満の割合は13.4%と区平均より高い状況です。今後も児童数の増加が見込まれてはいますが、高齢化率は22.8%と、年々増加する傾向です。



目標・目指す姿

『子どもから高齢者まで自然にあいさつができるまち仏向』

顔の見える関係づくりが進むまち仏向

- ・子供から高齢者、新しい住民と古くからの住民が気軽に交流でき、お互い様で助け合えるまち
- ・自治会町内会、近隣の方と「いざという時」に備えて見守り・助け合いについての情報を共有できるまち

防災訓練を通して
要援護者とも
つながりたいね



生きがいを持って楽しく暮らせるまち仏向

- ・地域の自然や食を通じて生きがいづくりを進めるまち
- ・仏向の自然・坂・史跡を活かしたウォーキングに、関係団体みんなで取り組めるまち
- ・ラジオ体操、ミニ運動会等、健康づくりに楽しく気軽に参加できるまち

昔の良さも忘れない
でほしいね。
元気な高齢者もたく
さんいるよ



誰もが地域の一員として活躍するまち仏向

- ・世代間交流を促進し、仏向の歴史や伝統ある文化について、知り・伝えることで、「わがまち仏向」の仲間づくりを進めるまち
- ・地域でのイベント参加や学校を通して次世代を担う人材の発掘、育成できるまち
- ・障害のある方も施設作業所を通じて、地域の一員としての実感を持てるまち

☆様々な機会を通じて、既存の取り組みや各団体活動の周知を深め、交流や健康づくりの場、地域人材の活躍の場を広げていきます。

地区の取組

取り組み姿勢

自然や史跡を活かした仏向らしい交流をすすめていきます。

★ 仏向ほっとなまちづくり委員会 **見** **い** **担情**

仏向地区の地域福祉保健計画の検討・推進をはかる委員会です。

自治会町内会や地区社協がそれぞれの活動や話題を報告しあい、地域の課題解決に向けてどのような取り組みが必要か、話し合いを重ねています。

また、住民と関係機関・団体が交流を深め、「人と人とが声を掛け合えるまち・認知症についての理解を深めること」を共通の目標とし、それぞれの得意分野を活かした「仏向フェスタ」にも取り組んでいます。

★ 地区懇談会 **見** **い** **担情**

みんなで協力してまちづくりをするための大切な場となっています。

地区の課題や取り組みを皆で定期的に話し合っています。

今後も継続して開催するとともに、多くの方の意見を反映し、誰もが「まちづくりの主役」として参加できるよう工夫していきます。

継続的な取り組み

★ 夏祭り盆踊り大会 **い** **担情**

★ ふれあいウォーク **見** **い**

★ 仏向地区連合町内会ミニ運動会 **い**

★ たかのご祭り **見** **担情**

★ すいとんの会 **見**

★ ふるさと祭り・ふれあい教室 **見** **い**



ふれあいウォーク

仏向地区連合町内会ミニ運動会

すいとんの会

夏祭り盆踊り大会

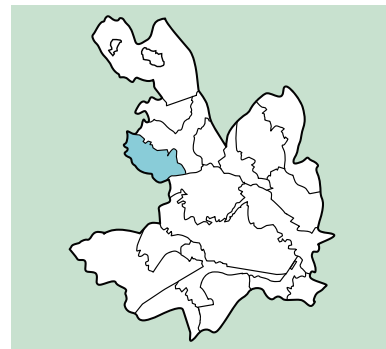
これらの取り組みを「横のつながり」を持ちながら継続して進めてゆきます。

継続的な取り組み

★ 地域サロン **見** **い** **担情**

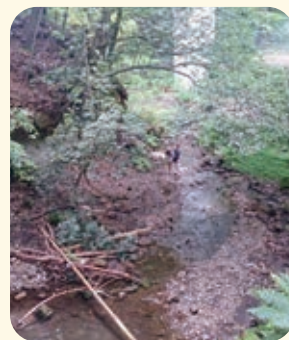
気軽に、誰もが立ち寄れる身近なサロンを、地域の色々な場所で、いろいろな形で開催し、食・文化活動・園芸などの生きがいつくりを通して、閉じこもり予防や見守り合う関係づくりにつなげていきます。

川島原 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 川島原地区は区北西部に位置し、旭区と隣接しています。
- 駅から少し離れているため、住民の多くが車やバスを利用して生活しており、旭区の鶴ヶ峰駅を利用する方もたくさんいます。
- 川島町(一部)で構成されており、約4,600世帯、9,500人が暮らしています。
- 5年前と比べて人口減少が進んでおり、高齢化率は5%ほど増加し、33.0%と著しく上昇しています。また、平成25年3月にくぬぎ台小学校が川島小学校に統合されました。
- 市内でも数少ない溪谷を活かした陣ヶ下溪谷公園が身近にある、緑豊かな地区です。



陣ヶ下溪谷

目標・目指す姿

わたしたちはこのようなまちを目指します！

つながりがあり、あんしんして暮らせるまち川島原

近隣同士・同世代との つながりがあるまち

近所の方や、同世代とのつながりがあると、身近な地域で見守ったり支えあうことができ、生活のあんしんへとつながります。

多世代とのつながり があるまち

子どもと、近所の方や祖父母・年配者など多世代との関わりがあると、お互いが受ける影響は大きなものです。多世代がほっとする居心地のいいまちを目指します。

関係機関・団体との つながりがあるまち

地域でさまざまな活動を行っている関係機関・団体が連携や情報交換を行うことで、協力してまちづくりを行い、さらに活動を活性化していきます。

地区の取組

新規

川島原地区ほっとなまちづくり委員会

見

い

担情

自治会町内会の役員や地区社協、民生委員・児童委員、PTAなどが集まり、住みよいまちを目指してざっくばらんな意見交換を行っています。今後、川島原地区では、「近隣同士・同世代とのつながり」「多世代とのつながり」「関係機関・団体とのつながり」を大事にしていきたいとの意見が多く出ました。



◆近隣同士・同世代とのつながりがあるまち

【地域での取組】



あんしん訪問活動、日帰りバス旅行、旧くぬぎ台小地域防災拠点防災訓練、ボランティアグループひまわり(高齢者会食サービス)、ハッピーかわしま(転骨体操グループ)、川島地域ケアプラザとの連携事業(健康フェスティバル等)

【今後の取組】

- ☆高齢になっても安心して暮らせるまちづくり
- ☆近所のお茶のみ場や、子どもたちが気軽に集まれる身近なたまり場づくり
- ☆ゴミだしボランティアなど、支えあえるつながりづくり

◆多世代とのつながりがあるまち

【地域での取組】



小学生の登下校見守り、誕生祝や成人の祝い、芋まつり、陣ヶ下溪谷散策(蛭鑑賞等)

【今後の取組】

- ☆地域の会合の場に子どもとともに参加して、皆で話し合える環境づくり
- ☆地域の自然や社会資源を生かし、子どもから高齢者まで誰もが一緒に交流でき、お互いに見守りあえる場づくり



◆関係機関・団体とのつながりがあるまち

【地域での取組】



広報紙「こんにちは!社協です」、川島地域のまちづくり検討会

【今後の取組】

- ☆地域全体の情報を取ることができ、自治会町内会や地区社協など、地域の活動に参加しやすくなる仕組みづくり



今後のポイント

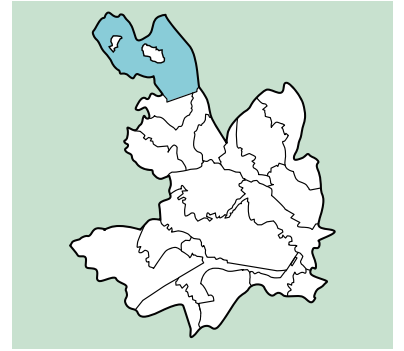
★川島地域のまちづくり検討会

旧くぬぎ台小学校を起点とし、川島地域のよりよいまちづくりを目指して検討しています。その事業の一つとして「川島地域まちづくりオータムフェスティバル」を開催し、スポーツやミニ防災イベント等を実施しています。

平成27年度は、このフェスティバルで地区社協と連携し、「芋まつり」を開催しました。今後も自治会町内会をはじめ、関係する団体相互の連携を図り、より幅広い世代、多くの地域の人たちとの交流を目指していきます。



上新 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 上新地区（上菅田町・新井町）は保土ヶ谷区の北部に位置し、昭和44年10月に港北区から保土ヶ谷区に編入された区域です。
- 地域の産業も農業を中心に成り立っていましたが、丘陵地帯では、江戸時代にはサトウキビの栽培、明治期以降には手もみの煎茶づくりなど、特色のある産業もありました。
- 昭和40年頃から、大規模な団地や住宅地の開発が行なわれ、人口の流入も進みました。現在は、上新地区区内で約17,000人が暮らしています。平成19年にほっとなまちづくりのモデル地区に選ばれ、古き良き時代の人間関係もいかしたコミュニティを形成していますが、一方で高齢化もすすんでいます。
- 相鉄・JR直通線の開通や相鉄・東横線直通線の開業が予定されており、これに伴い、地域の利便性が向上し、さらなる発展が期待されます。

目標・目指す姿

～つなごう地域の絆～

幸せを **地域と** **次世代** につなげるまちづくり

支えあいと支援のあふれるまち

- 地域住民が安心して暮らせるよう子ども、障がい者、高齢者への見守りや支援活動を行います。
- 地域での支援の輪を広げるためのボランティア活動をすすめていきます。

つながりによるいきいき健康が実現できるまち

- 高齢者から子どもまであらゆる世代の交流の場やイベントの場を通じて、地域のつながりを強めます。
- 健康長寿を目指して高齢者の居場所や仲間づくりをすすめます。

人材を活用した担い手づくりを進めるまち

- 広報紙やHPを活用して現在の活動を周知し、新たな活動の担い手を増やしていきます。
- 各団体の活発な交流により住民相互のつながりを強めていきます。

地区の取組



ほっとな福祉健康まつり

ステージイベントや地区内の活動団体がブースを出展。多くの参加者で賑わいます。



ほっとなまちづくり委員会

自治会町内会や地域活動団体などで構成。2か月ごとに定例会を開催し、ほっとなまちづくりに関する事業の企画・運営や情報共有を進めています。



上新地区体育祭

「つなごう地域の絆」を合言葉に、世代を超えた交流の場として定着しています。



地域がつながる大きな絆

地域や活動団体がつながり、みんなの力を合わせて地域活動を支えます。



上新地区ホームページ・広報紙「社協じょうしん」

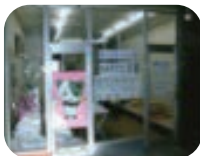
上新地区ほっと

検索

幅広い世代に向けて地域情報を発信。地域を身近に感じるきっかけづくりを進めています。「上新地区ほっと」で検索できます。「社協じょうしん」は年2回全世帯に配付しています。

支えあいと支援のあふれるまち

- あんしん訪問
- 友愛活動
- 高齢者のたまり場 上菅田 いっぷく茶屋
- 子育てサロン・赤ちゃん教室
- 上菅田エリア 子育て支援連絡会 上菅田いっぷく茶屋



地域でつながる身近な絆

身近な地域のつながりを強め、安心して暮らせるまちにしていきます。

つながりでいきいき健康なまち

- じょうしん健康ウォーキング
- ノルディックウォーキング
- グラウンドゴルフ
- きらり☆シニア塾



じょうしん健康ウォーキング

人材を活用した担い手づくりを進めるまち

- 認知症サポーター養成講座/オレンジロバの会
- 日帰りバス研修会
- ボランティア部会

自治会町内会の活動

地域の活動グループと連携し、様々な活動を展開しています。

- ひとり暮らし高齢者配食活動
- ふれあいサロン
- 趣味の会
- 地域のお祭り 等

今後のポイント

体制づくり

地域活動を支える自治会町内会の活性化に向けて

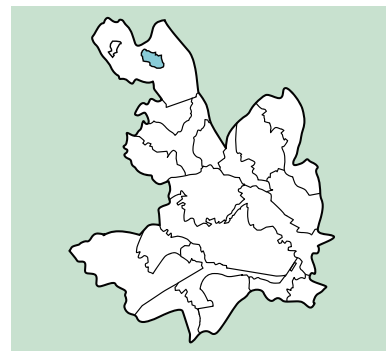
- ・近隣とのコミュニケーションを深め、お互いの顔が見える身近な小地域での支えあい活動を充実していきます。
- ・地域内の活動グループの横のつながりを強め、地域の課題に協力して取り組みます。

担い手づくり

ボランティア活動や世代間の交流等を通じた地域人材の育成に向けて

- ・世代間の交流の場を広げ、地域に触れる機会を増やし地域への関心を高めていきます。
- ・上新地区社協にボランティア部会を立ち上げ、生活上の困りごとを地域でサポートしていく仕組みづくりを進めます。

笹山 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 笹山地区は区北部に位置し、丘陵部が開発されてきた緑豊かな地区です。駅から少し離れているため、住民の多くはバスを利用して生活しています。地区全体で、約2,700人が集合住宅で暮らしています。
- 70歳代の高齢者が多く、高齢化率が50.4%（平成26年9月末時点）となっています。若い世代の中には外国人留学生もいます。
- 住民同士の声かけや困った時の助け合いが色々なところで行われ、見守り・支え合いの活動が活発な地域です。

目標・目指す姿

つながりのあるまち

活動をPRし、
参加につながる
コミュニケーションの
輪を広げます

- 声かけ、掲示板、口コミでの誘い合い
- 子どもから高齢者まで、障がいのある人も、外国の人も世帯や地区を超えた、つながりづくり
- 「互近助」災害時の支えあいへ
- いつでも、いつからでも参加できるように、遠くから見守り
- 「今ある活動をつづける」「参加をつづける」ことが健康づくり
- 団地清掃や花植えてコミュニケーション
- モットーは「皆が楽しく笑える活動」



活動を工夫し、
担い手づくりに
つなげます

- 特技を生かした「ちょいボラ」参加
- 男性がパワーを発揮できる場の工夫
- 外国の人も参加できる場づくり
- 趣味活動から担い手へ
- 担い手も参加者も楽しめる工夫
- お誘いを断られてもまたチャレンジ

地区の取組

- ♪ **高齢者ミニデイサービス「よろこびの会」** 毎月第2水曜日 茶話会
- 血圧測定も毎回実施し、健康管理もしています。
- 脳トレやゲームのほか、笹山保育園児たちとの交流も。
- どんどん、活動の内容が充実していることが自慢。
- 「よろこびたいそう」ってすごい!!
- お茶とおしゃべりが楽しみ。和気あいあいとした雰囲気での近況報告・情報交換。



園児との交流

- ♪ **シニアサロン「やまびこ」** 転倒骨折予防体操 毎月第1、3金曜日
- ここでも脳トレやってますよ!
- 「きりり☆シニア塾」に認定され、活動がより充実しました。
- 「ミニ運動会」はみんなやる気満々! 室内用にアレンジしたグラウンドゴルフやラダーゲーム、仮装なども。楽しみ満載!



- ♪ **子育てサロン「笹山キッズ」** 毎月第3水曜日 未就学児対象
- 地区を越えて、近隣地域一帯で賑やかに開催している評判の活動。
- ここを卒業して小学校へ入学した子どももいます。



- ♪ **笹山小学校「下校時パトロール隊」** 毎週火～金曜日
- 10年以上(平成17年スタート)継続している活動。平成27年に、教育委員会から感謝状をいただきました。
- 子どもたちへの声かけは見守りに通じています。挨拶をするように声をかけ、地域全体で子どもたちを大切にしています。



- ♪ **歌声広場「ハーモニー笹山」** 毎月最終月曜日
- 懐メロや童謡など、一緒に歌うのが楽しい。ひきこもり予防で始めましたが、健康増進など、いろんな効果が期待できます。



- ♪ **「笹山配食サービスひまわり」** 毎週木曜日。1食350円
- 顔を合わせることで、温かい真心もお届けしたいと願い活動しています。
- 福祉施設と協力するなど、地域ぐるみで実施しているところは、とっても珍しいのです。



- ♪ **見守り活動「あんしん訪問」**
- 見守りが必要な人がいたら、民生委員につなげます。

- ♪ **広報紙「ほのぼの」** (地区社協。3月発行)
- **広報「ささやま」** (自治会。2月発行)
- 全戸配布で、地域の活動をお知らせしています。

- ♪ **カラオケ愛好会、卓球愛好会、てらこや**

カラオケ愛好会



♪ 老人会「笹山寿会」

清掃活動やグラウンドゴルフ、新年会などある活動を継続しています。



清掃活動



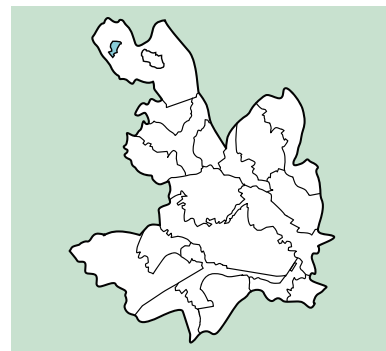
新年会

- ♪ **「ちょいボラ」始めました** 草刈、電球交換、ごみ出し、買い物などのお手伝い
- ほっとなまちづくり懇談会をきっかけに立ち上げ、自治会より回覧でボランティアさんを募集しました。口コミで次第に輪が広がって、地域デビューのきっかけにもなりました。真心をモットーに活動しています。



グラウンドゴルフ

千丸台 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 千丸台地区は県営千丸台団地(アパート、ハイツ)で構成されています。
- 約2,000人が暮らしており、年々減少傾向にあります。
- 65歳以上の高齢者の割合は49.5%で、年々増加しています。
- 区を中心から北西部に位置していて、緑豊かな地域です。
- 高齢者・障がい者世帯が多く、見守り活動など地域での支えあいが盛んな地域です。
- 住民が日常的に気軽に集まれる場があるほか、お祭りなどの行事も盛んに行われている、住民同士の交流が活発な地域です。

目標・目指す姿

みんながお互いを心配し声を掛け合い
励まし合う地域(ほっとなまちづくり)

地域住民のために
生かそう地域力

かけよう一声
つなごう心

子どもも高齢者も
障がい者もずっと
住み続けたい街

本当に困っている人
の声を拾っていく



地区の取組

千丸台地区では「防災の仕組みづくり」を重点的に取り組めます！

防災についての基本方針

地区社協 事後の対応

- ・炊き出し
- ・日用品の備蓄

自治会 災害への備え

- ・防災訓練
- ・防災への意識啓発
- ・防災無線の設置

民生委員 要援護者支援

- ・要援護者の把握
- ・安否確認



千丸台団地 昭和39年創設期

各団体の取組も充実していきます！

平成27年4月

自治会～交流～

- ・顔の見える場所づくり
～お祭りや青空市場の充実
- ・各委員会での住民の把握

つながり

声かけ

情報・みんなの関心

地区社協～支えあい～

今までの活動を継続し、地区社協の活動の6本の柱の中で、在宅自立支援事業を充実していきます



民生委員～見守り～

- ・あいさつによるつながり
- ・要支援者の把握・訪問
- ・あんしん訪問員との連携

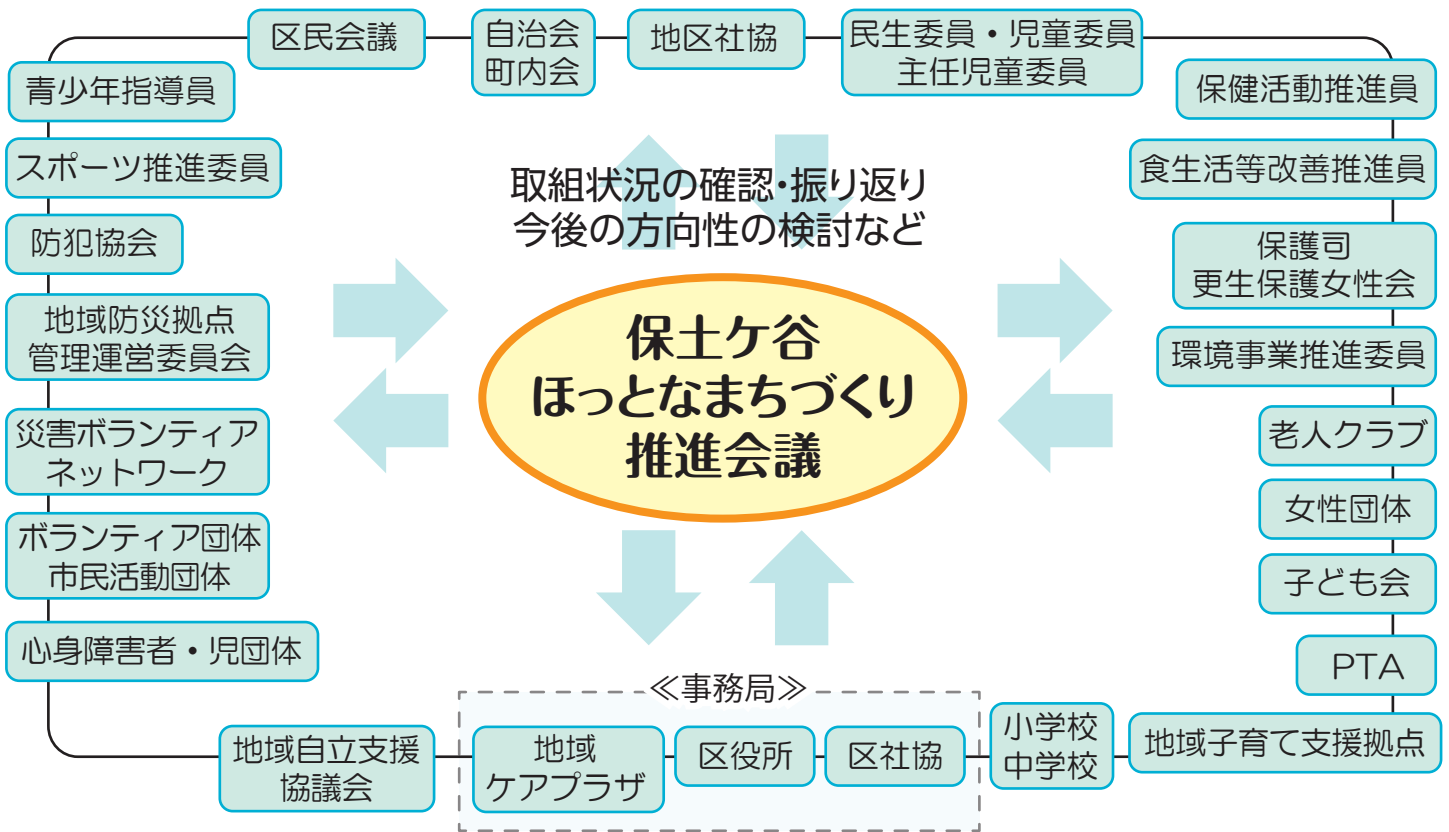
第5章 取組の進め方

1 区全域計画の推進体制・振り返り

区民の皆さんや関係団体・機関、地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所などが、連携しながら進めていきます。

取組の状況については、区内の様々な関係団体・機関が参加する「保土ヶ谷ほとなまちづくり推進会議」において確認し、振り返りを行うとともに、今後の方向性などの意見をいただきます。区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザは事務局として会議を開催するとともに、推進会議の意見を踏まえ、区民の皆さんや関係団体・機関と協働して区全域の取組を更に充実させていきます。

《区全域計画推進のイメージ》



《スケジュール》

1年目 (平成28年度)	2年目 (平成29年度)	3年目 (平成30年度)	4年目 (平成31年度)	5年目 (平成32年度)
第3期計画の推進			第4期計画 策定の準備	
保土ヶ谷ほとなまちづくり 推進会議で振り返り（毎年）		振り返り 中間		振り返り 最終

2 地区別計画の推進体制・振り返り

地区別計画でまとめた「目標・目指す姿」や「地区の取組」については、毎年振り返りを行い、取組状況やその成果を確認することで、今後の活動につなげていきます。また、より効果的に取り組んでいくため、地区内の様々な活動の状況や地域の困りごとについて、関係者が定期的に情報共有することも大切です。

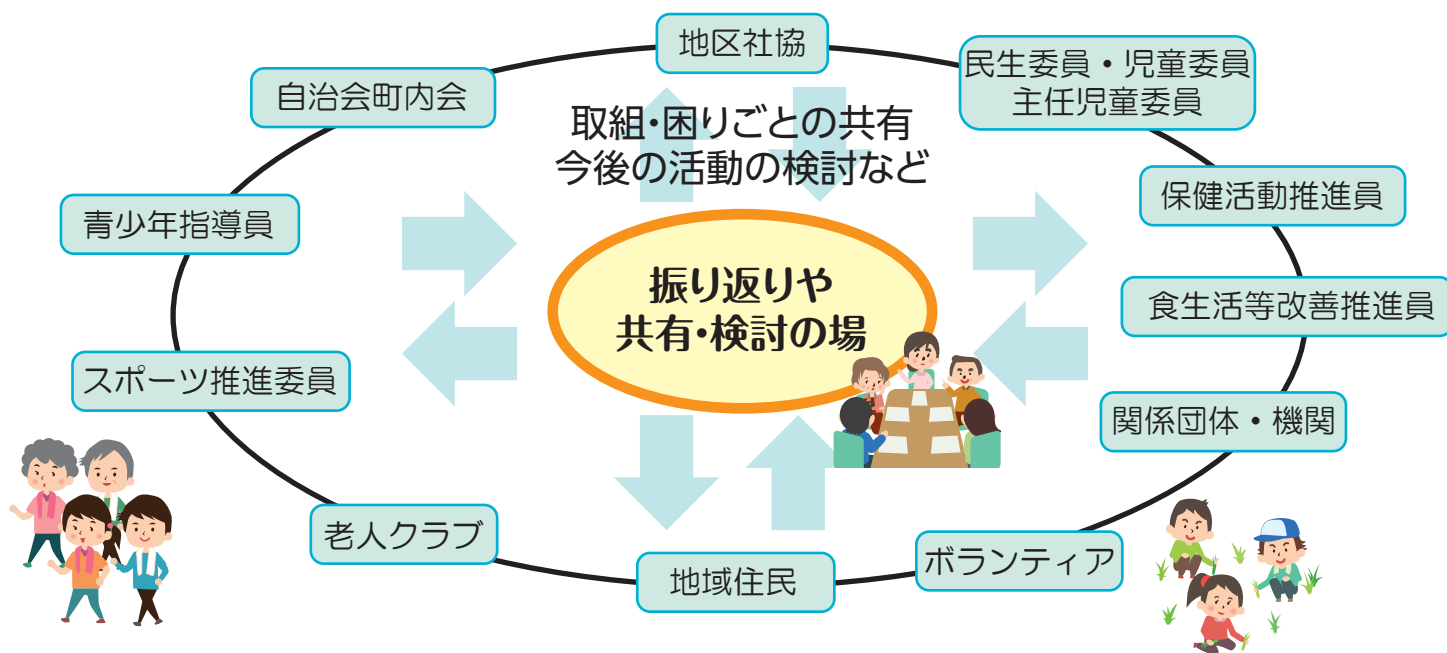
振り返りや情報共有・検討などを行う場には、広く状況把握や検討、連絡調整ができるように、地域で活躍する様々な方に参加していただくことが望ましいです。

なお、各地区の取組状況は、様々な機会（「ほっとなまちづくりフォーラム」での活動発表、活動事例集の作成など）を活用して区全体で共有していきます。

振り返ることによって取組が整理され、その先の活動にもつながります。



《地区別計画推進のイメージ》



地区ごとに、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザの職員で“地区支援チーム”を編成し、地区別計画の推進をサポートします。



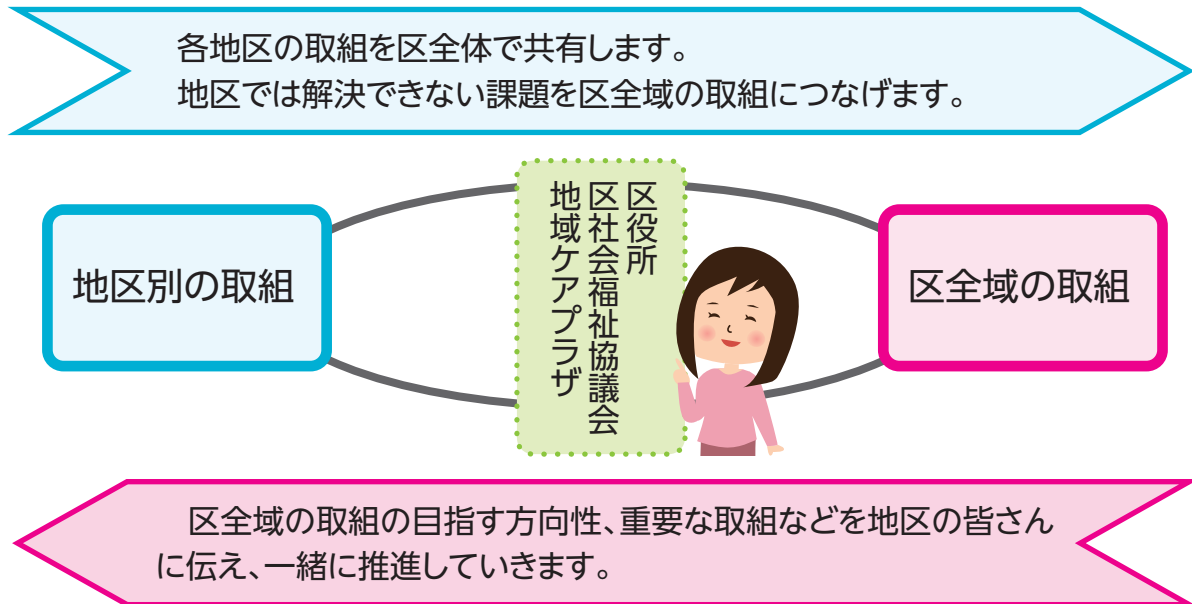
《スケジュール》

1年目 (平成28年度)	2年目 (平成29年度)	3年目 (平成30年度)	4年目 (平成31年度)	5年目 (平成32年度)
第3期計画の推進				
振り返り(毎年)				
		活動事例集 の作成		第4期計画 策定の準備

■ 区全域の取組と地区別の取組の連携について

区全域の取組と地区別の取組は、互いに反映させ合いながら推進します。

区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザは、地区支援チームとして各地区の取組をサポートする際や、各種会議の機会を活用して、2つの取組をつないでいきます。



コラム 地区社会福祉協議会(地区社協)とは…

地域住民に最も身近な社会福祉協議会として、地域の方々が「自分の地域は自分たちで良くしていこう」という気持ちで組織する任意の団体です。

メンバー

自治会町内会、民生委員・児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、食生活等改善推進員、青少年指導員、スポーツ推進委員、ボランティア、老人クラブ、子ども会、学校、福祉施設など、様々な方々

活動内容

- ・集まった団体などのメンバーと連携し、共通の目標を持ちながら地域内の福祉活動の支援・調整を図る
- ・地域の特性を生かした福祉活動を実施する

保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進会議に参加した団体の方々に、第3期計画期間中に取り組んでいくことをまとめていただきました。



保土ヶ谷区連合町内会長連絡会

自治会町内会は、清掃活動やパトロール、お祭りなど地域生活に関わる様々な分野を対象に活動しています。

社会環境が大きく変化する中で、福祉、防災などの課題に取り組んでいくためには、これまで以上に地域の力を合わせる必要があります。そのためにも、多くの方が自治会町内会に加入・参加していただけるようなきっかけづくりに取り組みます。

保土ヶ谷区民会議

私たちは、区民の視点で、行政と区民とのパイプ役として「いつまでも住み続けたいまち保土ヶ谷」を目指して活動しています。

ほっとなまちづくりに関しては、区や地域ケアプラザ主催の「認知症サポーター養成講座」のお手伝いなどを福祉分科会が担ったり、更に区民会議主催の各種講座等を通じて、多くの区民へ、子どもや高齢者福祉に対する理解を深めたりする活動を推進していきます。

保土ヶ谷区民生委員児童委員協議会

地域の方に幸せの種をまくことができるよう、地域福祉の最前線で高齢者・子どもの見守り・支えあいを、あんしん訪問や地域サロンなどを通して強い使命感を持って行っています。

福祉のアンテナを高く掲げて、地域の福祉に関わる内容を受信できるよう、自治会町内会、社会福祉協議会、地域ケアプラザなどと協力して努めていきたいと思えます。そして、それらを的確に行政など関係機関につなげ、地域の福祉向上に努めます。

保土ヶ谷区主任児童委員連絡会

主任児童委員は、未来を担う子ども達を育てるために、行政機関と協力し、連絡を取り合うパイプ役です。地域の中で子育て支援として「子育てサロン」を開催しているほかに、保育園や小中学校、その他各関係機関とも連携して幅広く子どもたちを見守る活動をしています。

今後は世代間交流の場として「子育てサロン」を活用することで、地域の方々が安心して集える場所を作るなど、更なる子育て支援につなげていきたいと考えています。

保土ヶ谷区青少年指導員協議会

地域社会における青少年の自主的活動と育成組織活動を推進することにより、青少年の健全育成を図ることを目的に活動しており、イベントの開催や地域の見守りを行っています。

今後は、区内の青少年が健やかに成長できる環境づくりのため、関係団体と連携し、子ども同士及び大人と子どもの交流を深める事業やパトロールによる見守りを行います。

保土ヶ谷区 スポーツ推進委員連絡協議会

スポーツ推進委員は自治会町内会長より推薦され、各自治会町内会・地域、また保土ヶ谷区の事業の企画・実施・支援、それから横浜市や関係団体と連携をとり各種事業に取り組んでいます。

スポーツ推進委員の母体である各自治会町内会に重点を置き、地域から盛り上げて保土ヶ谷区を活発な区にするために、区民のニーズを調査して多くの区民が参加できる事業を企画していきます。

保土ヶ谷区保健活動推進委員会

「健康寿命を延ばそう」をテーマに、日常生活にウォーキングを取り入れることや、がん検診の受診啓発活動等を通し、地域住民とともに健康づくりをしています。

一人でも多くの方が健康づくり活動を継続していけるよう地域の関係団体とも連携し、テーマを共有しながら取組の輪を広げていきたいと考えています。

保土ヶ谷区食生活等改善推進委員会 通称:ヘルスマイト

「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、野菜たっぷり、塩分少なめ、バランスよく3食しっかり食べましょう、の内容を盛り込んだ啓発活動を地域で行っています。

健康横浜21の数値目標の達成を目指して健康寿命の延伸に向けた事業を展開し、健康寿命日本一を実現しましょう。

保土ヶ谷保護司会

保護司会は、更生保護を目的に、各々の立場で犯罪や非行のない地域社会のため頑張っています。

保護司とは法務大臣が委嘱する非常勤の国家公務員で、罪を犯し少年院や刑務所を出所したり保護処分を受けたりした人の立ち直りや再犯を防ぐため、社会復帰の指導援助に努めています。そのためには地域の方々の理解と援助が必要です。皆様の協力をお願いいたします。

保土ヶ谷区更生保護女性会

私たちは、犯罪の起こりにくい地域づくりと青少年の健全育成に向けて取り組んでいます。特に、区内の中学校との交流を中心とした活動を行っています。

中学校と近隣小学校の保護者・教職員・保護司を交えての「ミニ集会」を開催、区内の中学校を卒業する3年生全員に、1つ1つ会員手作りの「愛の鈴」を届けるなどの活動を続けています。

保土ヶ谷区 環境事業推進委員連絡協議会

地域・学校・事業所・行政等と連携し、様々な活動を通して、花と緑を愛し清潔できれいなゴミのないまちづくり活動を推進しています。

「ほどがや花フェスタ」での「3R夢キャンペーン」によるごみを減らす3R活動の推進、手つかず食品削減、リサイクルの推進などを行い、今後も連携しながら、住み続けたいきれいなまちを創りあげていきます。

保土ヶ谷防犯協会

「みんなでつくろう安心のまちほどがや」を目指し、警察・区役所と連携し各防犯ボランティア団体とともにキャンペーンや防犯教室、青色回転灯装備車(青パト車)による防犯活動を行っている団体です。

年間を通じ、青パト車による目と耳からの防犯広報や、自治会町内会等での防犯教室、区内で行われる催し会場での防犯啓発活動を行っています。

保土ヶ谷区地域防災拠点 管理運営委員会連絡協議会

震災発災時の混乱の中でも避難者の方が安全・安心に生活を送れるよう、地域防災拠点開設訓練や地域の防災リーダーの養成などを平常時から行っています。

防災・減災は高齢者や障害者、子どもといった「災害弱者」を第一に考えて取り込まれるべきものです。そういった方々が防災訓練などの地域の活動に参加しやすくなるような仕組みを目指します。

保土ヶ谷区災害ボランティア ネットワーク会議

私たちは、災害時支援活動の効果的な実施に向けて、平常時から地域防災拠点や区行政等との幅広い交流による関係づくりを進め、協働連携する体制を構築し、災害時に備えています。

今後は各種取組、特にささえ愛バンドナ・一品一食運動の普及啓発等を通して、区民相互のつながり・支えあいによる災害に強いまちづくりを一層進めていきます。

保土ヶ谷区老人クラブ連合会

老人クラブは、仲間づくりを通じた生きがいと健康づくりで生活を豊かにする楽しい活動、明るい長寿社会づくり、福祉保健の向上に努め地域を豊かにする社会活動を目的としています。

自治会町内会等地域の諸団体と共同で介護予防と健康維持、高齢者がお互いに支えあい見守る友愛活動と多世代との交流を通して防災防犯美化活動等地域の環境整備に努めます。

保土ヶ谷区女性団体連絡協議会

私たちは、相互の連絡協調により、地域での社会的文化的生活の確立を目指しています。これまで地域ケアプラザでの介助ボランティア活動を通して、ふれあい支えあいを実践してきました。

今後も健やかにいきいきと暮らせるまちづくりを目指して、現在の活動を更に発展させるとともに、認知症サポーターを増やし高齢者とのつながりを深め、支えあいの精神を育てていきます。

保土ヶ谷区 子ども会育成連絡協議会

地域に根差した異年齢集団として、「子どもの手による子ども会活動」をモットーに、ジュニアリーダーの育成に様々な体験を重ねつつ活動しています。

仲間同士や大人との関わりを通じ、子ども会指導者、育成者がいろいろと展開でき、より良い運営ができるよう活性化に向けていきます。

保土ヶ谷区PTA連絡協議会

協議会に所属する小・中学校のPTAと学校が協力し、子どもたちの健全な育成のため活動しています。

具体的には、保護者同士の親睦をスポーツを通して図ったり、講演会を開催し啓蒙活動に努めたり、またPTA専門委員会について情報交換を行うなどしています。今年度も様々な企画を進行中です。

保土ヶ谷区 心身障害者・児団体協議会

当事者団体として社会への理解促進のための啓発活動の強化を目的に、ボランティアとの交流会・共同募金・障害者週間での街頭キャンペーン等、社会活動に積極的に参加しています。

三障害団体(身体障害・知的障害・精神障害)の障害特性の総理解を深め、ほっとなまちづくり推進会議の発展に提言できるよう努めていきます。

保土ヶ谷区地域自立支援協議会

80を超える区内の障害福祉の関係機関、事業所、団体等により構成され、障害児・者への福祉や支援の充実について協議しています。

全体会のほか、防災、住居、情報、当事者、子ども、計画相談の6部会において、地域における連携とネットワークづくりを図りながら、様々な障害者支援策を検討・実施します。

保土ヶ谷区 地域子育て支援拠点 こっころ

就学前の子どもとその保護者が交流するスペースの提供、子育て相談、情報提供などを行う子育て支援の拠点です。

子どもが親以外の大人に優しい気持ちで見守ってもらえると、親が安心して子育てができ、親子にも笑顔が生まれてきます。「いっしょにつくろう!まあるい笑顔!」を合言葉に、お腹の中の赤ちゃんも子どももおとなも笑顔があふれる地域を目指して、多世代交流ができる地域づくりを考えていきます。

保土ヶ谷区中学校長会

現在、各中学校区では学校家庭地域連携事業を通して、小中学校・家庭・地域が連携し、児童生徒の問題行動の防止及び健全育成を図っています。また、区内の小中学校と警察・児童相談所とともに学校警察連絡協議会を行っています。

今後は区内の中学校在り学校が協力して取り組めることを見出し、「ほっとなまちづくり」を目指す活動に協力したいと思います。

保土ヶ谷区小学校長会

小学校教育では、知・徳・体・公・開の調和を大切に生涯にわたって学び続け、区民の一員として地域文化を大切にし、地域の発展に主体的に関わろうとする児童の育成を目指しています。

各校では、地域や児童の実態に応じた教育課程を作成し、商業施設・福祉施設・教育ボランティア・農家・自治会等との交流学习を通して区民意識と実践力を育成しています。

第6章 資料編

1 計画の位置づけ

(1)市計画・区計画・地区別計画の関係

平成12年の社会福祉法改正により、第107条に地域福祉の推進に関する事項を定める「市町村地域福祉計画」が位置づけられました。

横浜市では、福祉と保健を一体に捉えて「地域福祉保健計画」とし、市計画と区計画を策定しています。区計画は、区の特성에応じた「区全域計画」と、地区ごとの状況に応じた「地区別計画」で構成されています。

市計画

基本理念と方向性を提示し、区全域計画の推進を支援する計画です。
(愛称:よこはま笑顔プラン)

区計画(保土ヶ谷ほっとなまちづくり)

区全域計画

区全体の方針や取組の方向性を示し、地区別の活動を支えたり、地区をまたぐ課題に取り組んだりします。

地区別計画

地区社協のエリアごとに策定・推進する、生活に身近な計画です。地区の状況に応じ、地域のつながり・支えあいを生かして住民主体で取り組みます。

(2)区地域福祉活動計画との一体的策定・推進について

保土ヶ谷区社会福祉協議会では、平成9年以降、「保土ヶ谷区地域福祉活動計画」を5年ごとに策定してきました。この計画は、区内の福祉関係団体や地域住民と区社会福祉協議会が、共に地域の問題を自分たちの問題として捉え、その解決に向けた取組を計画的・効果的に進めるために策定してきたものです。

平成23年の「第2期保土ヶ谷区地域福祉保健計画」からは、行政と区社会福祉協議会が共通の理念や目標をもって、役割分担を行いながら連携して地域福祉の推進を目指そうという目的のもと、2つの計画を一体化して策定することとなりました。第3期計画においても、引き続き一体的な策定・推進を行います。

(3)計画期間

保土ヶ谷ほっとなまちづくりは、5年間ごとに見直しながらい進めていきます。

第1期計画
平成18～22年度

第2期計画
23～27年度

第3期計画
28～32年度

第4期計画
33～37年度

...

コラム 区社会福祉協議会(区社協)とは…



「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」を活動理念として福祉のまちづくりに取り組む、民間の社会福祉法人です。

連合自治会町内会、民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会、障害者団体など当事者団体、ボランティア・市民活動団体、社会福祉施設・関係団体、区役所など多様な会員で構成された協議体です。

<主な取組>

①福祉啓発・福祉教育

- ・福祉情報の発信、PR
- ・福祉教育の実施

など

②団体活動などの支援

- ・地区社協支援
- ・福祉活動団体支援

など

③相談・個別支援事業

- ・ボランティアセンター
- ・あんしんセンター
- ・移動情報センター
- ・送迎サービス など

④つながり・支えあいの仕組みづくり

- ・個別ニーズに基づく新たな資源開発

⑤福祉活動に必要な財源の確保

- ・賛助会費、共同募金、善意銀行など

「ほっとなまちづくり」の推進に、区役所との共同事務局として、また地区支援チームの一員として取り組んでいます。

コラム 地域ケアプラザとは…



地域の福祉保健の総合相談窓口として住民の皆さんに寄り添い、また活動をサポートする、**福祉保健の拠点**です。皆さんが、住み慣れたまちで安心して暮らしていける地域をつくることを目的に、区内7か所*に設置されています。

*今井・岩崎・上菅田・川島・常盤台・仏向・星川地域ケアプラザ

<3つの機能>

◆地域活動・交流

- ・福祉保健活動の活性化に向けた、活動の場や機会の提供、活動情報のPRなど
- ・ボランティア活動の担い手の育成とコーディネート
- ・各種講座や事業の開催



◆地域包括支援センター

- ・福祉保健に関する相談支援の総合窓口
- ・地域住民、事業者、医療機関などとのネットワークづくり
- ・介護予防・認知症予防などの事業の開催、地域の活動の支援



◆居宅介護支援

- ・介護認定の申請・更新手続きの代行、ケアプランの作成

※その他、デイサービスを行っている施設もあります。

20万区民の自助・共助による減災運動
推進運動推進中

「20万区民の自助・共助による減災運動」とは？

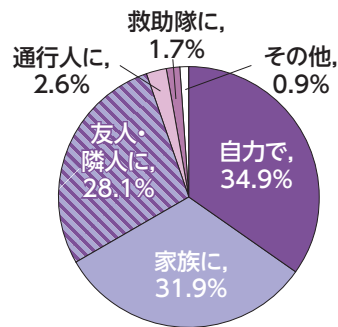
保土ヶ谷区では、平成25年度から、家庭と地域における自助・共助の取組の実践による防災力向上を目指して、地域・関係機関・区役所が、20万人の区民の皆様と一緒に運動を進めています。



自助・共助の力

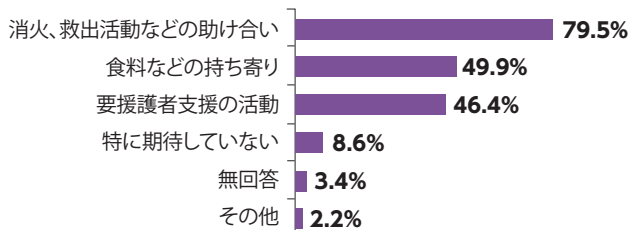
阪神・淡路大震災の際、救助された人のうち、倒壊した家屋などからの自力での脱出や、近隣の方などにより救助された人の割合は90%を超えており、自助・共助が大きな力を発揮したという報告がされています。

また、保土ヶ谷区民の皆さんも、災害時には地域の助けあいに期待していることが分かりました。



阪神・淡路大震災で
人命救助した人の内訳

出典：(社)日本火災学会：兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書



災害時、隣近所に期待
すること(複数回答)

出典：平成26年度保土ヶ谷区防災・地域福祉保健アンケート

災害時に備えての「支えあい」

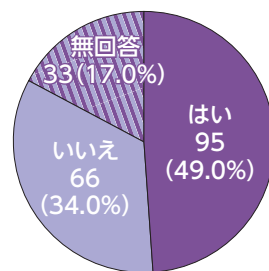
災害時のような厳しい環境下で、地域の助けあいの力を発揮するには、日頃からの関係ができていくことが大切です。「ほっとなまちづくり」は、様々な取組を通じて、地域のつながりづくりを進めています。このことは、災害時の安心にも役立つものです。



誰だって助けてもらう
側になるかも

日頃からの要援護者との関係づくり

地域には、要介護の高齢者や障害者など、自力で避難することが困難な“災害時要援護者”の方も暮らしています。災害時に地域ぐるみで要援護者の安否確認や避難支援を行うため、平常時から、要援護者を把握^{*}し、関係づくりをしておくことが重要です。区役所でも、地域の支えあいの取組を支援していきます。



災害時要援護者を把握する
取組を行っていますか

出典：平成26年度災害時要援護者把握に関する自治会町内会アンケート

^{*}自治会町内会などが災害時要援護者を把握する方法の1つとして、平成25年度から「情報共有方式」が加わりました。この方式を希望する自治会町内会などと区役所が協定を締結し、対象者に名簿提供の意向確認を行った上で、削除を希望しなかった方の名簿を提供する方式です。また、日頃から要援護者の見守りを行っている民生委員・児童委員と自治会町内会が連携を強化することも重要です。

2 第3期計画策定経過

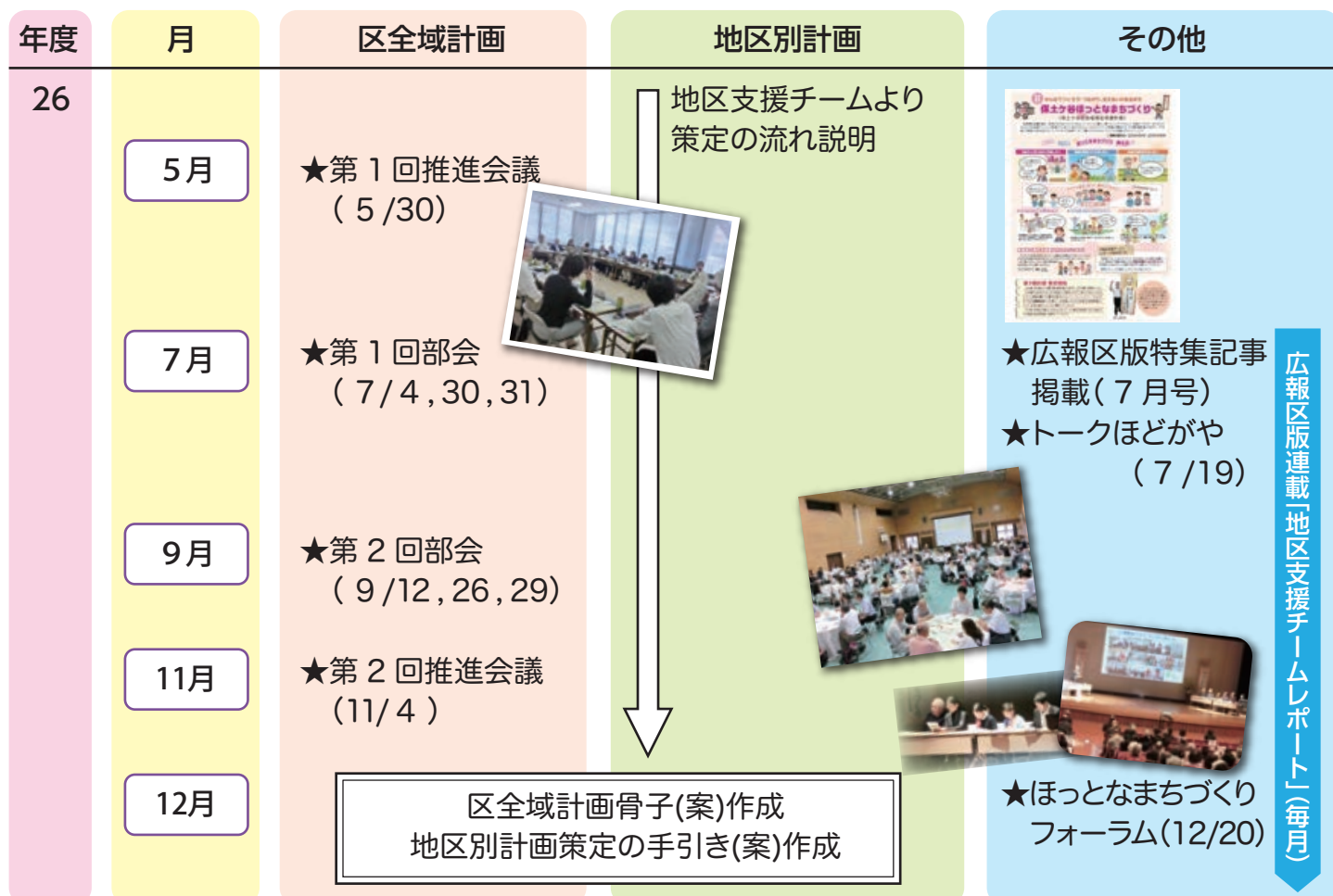
■ これまでの計画

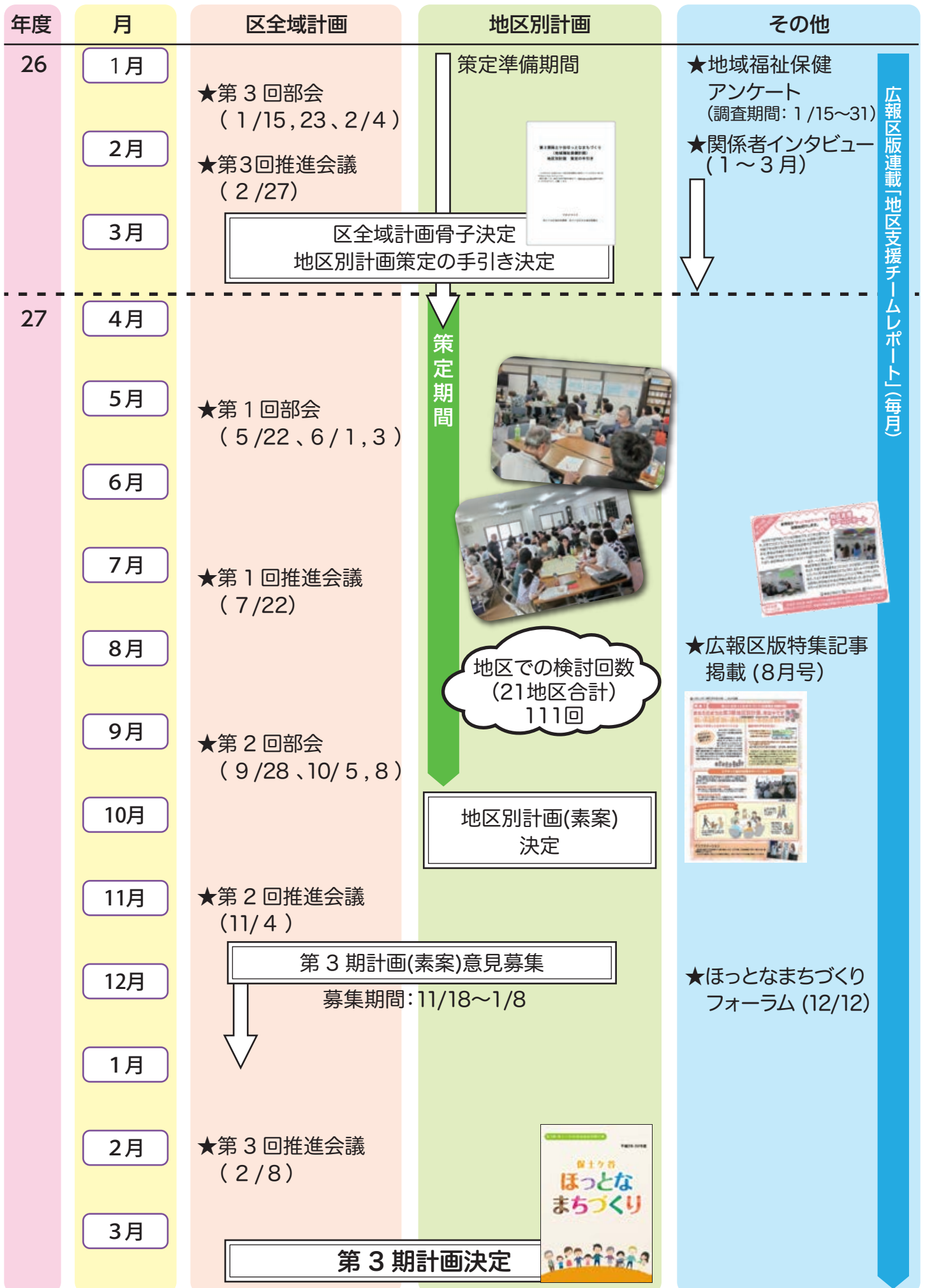
計画期間	計画概要
第1期計画 (平成18～22年度)	地域の様々な人や団体、関係機関が連携して地域の生活課題を解決する「仕組みづくり」を目指し、地区別計画と課題分野別計画(高齢者生活支援、健康づくり・介護予防、障害者生活支援、子育て支援、人材発掘・育成、情報発信・伝達)を策定。
第2期計画 (平成23～27年度)	地域に根付いた取組の活性化を目指し、地区別計画と、3つの共通課題(見守り・支えあい、いきいき健康な生活、担い手づくり)と対象者別(高齢者生活支援、障害者生活支援、子育て支援)からなる区全体計画を策定。

■ 第3期計画策定の流れ

保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進会議(以下、推進会議)において、区全域計画を検討しました。また、「見守り・支えあい」「いきいき健康」「担い手づくり・情報」の3テーマについては部会を設置し、更に詳細な検討を行いました。

また地区別計画は、幅広い地域住民の意見を計画に反映させるため、懇談会の開催やアンケートなどの工夫が各地区において行われました。





3 保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進会議・部会出席者

■ 保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進会議

＜開催日＞ 26年度：5/30、11/4、2/27
27年度：7/22、11/4、2/8

氏名	団体・役職
菅井 忠彦	保土ヶ谷区長
山崎 滋	保土ヶ谷区社会福祉協議会 会長 保土ヶ谷区連合町内会長連絡会 会長
小林 由美子	保土ヶ谷区民会議 代表
江淵 武雄	保土ヶ谷区民生委員児童委員協議会 会長
柏 かよ子	保土ヶ谷区民生委員児童委員協議会主任児童委員連絡会 代表
白石 勝己	保土ヶ谷区青少年指導員協議会 会長
堀越 晴雅	保土ヶ谷区スポーツ推進委員連絡協議会 上星川地区会長 (26年度)
木村 保雄	保土ヶ谷区スポーツ推進委員連絡協議会 会長 (27年度)
伊藤 勇衛	保土ヶ谷区保健活動推進員会 会長
竹内 静	保土ヶ谷区食生活等改善推進員会 会長
北村 美代子	保土ヶ谷保護司会 会長
薩澤 志萬子	保土ヶ谷区環境事業推進委員連絡協議会 会長 (26年度) 保土ヶ谷区更生保護女性会 会長
青木 八重子	保土ヶ谷区更生保護女性会 会長 (27年度)
片山 重勝	保土ヶ谷区環境事業推進委員連絡協議会 会長 (27年度)
鈴木 方規	保土ヶ谷防犯協会 会長 保土ヶ谷区地域防災拠点管理運営委員会連絡協議会 会長 保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク会議 代表
和田 叔也	保土ヶ谷区老人クラブ連合会 会長
橘 みさお	保土ヶ谷区女性団体連絡協議会 会長
大久保 節子	保土ヶ谷区子ども会育成連絡協議会 会長
今井 明美	保土ヶ谷区PTA連絡協議会 会長 (26年度)
神長 房恵	保土ヶ谷区PTA連絡協議会 会長 (27年度)
菱田 広	保土ヶ谷区ボランティア連絡会 会長 (26年度)
進藤 義政	保土ヶ谷区社会福祉協議会 ボランティア・市民活動分科会 会長 (27年度)
関塚 龍補	保土ヶ谷区心身障害者・児団体協議会 会長
篠崎 薫	保土ヶ谷区地域自立支援協議会代表 社会福祉法人光風会 地域支援室長 (26年度)
島田 直樹	保土ヶ谷区地域自立支援協議会代表 NPO法人きてん 総務部長 (27年度)
吉村 良子	保土ヶ谷区地域子育て支援拠点こっころ 施設長 (26年度第1回)
諏訪 ひとみ	保土ヶ谷区地域子育て支援拠点こっころ 施設長 (26年度第2回以降)
縣 利一	保土ヶ谷区小学校長会 区会長 (上菅田小学校) (27年度)
中島 良一	保土ヶ谷区中学校長会 代表理事 (岩崎中学校) (27年度)

※単年度のみ御出席いただいた委員には、括弧内にその年度を表示しています。

●見守り・支えあい部会

26年度：7/4、9/12、1/15 27年度：5/22、10/8

氏名	団体・役職
南出 俊男	千丸台地区社会福祉協議会 会長
片山 重勝	保土ヶ谷東部地区社会福祉協議会 会長 保土ヶ谷東部地区連合自治会 会長
塩田 清	中央東部地区連合町内会 会長
井上 力	保土ヶ谷区民生委員児童委員協議会 副会長
滝沢 恵美子	保土ヶ谷区民生委員児童委員協議会 事業企画部会長
和田 叔也	保土ヶ谷区老人クラブ連合会 会長
藤野 哲	保土ヶ谷区地域自立支援協議会 ほどがや地域活動ホームゆめ 副施設長
佐々木 安恵	保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク 副代表
深井 幸司	保土ヶ谷区介護支援専門員連絡会 会長
佐藤 雅子 西村 陽子	子育て支援者 トレーナー
大羽 更明	たちばな会 会長
安藤 浩幸	保土ヶ谷区福祉保健センター担当部長

●いきいき健康部会

26年度：7/30、9/26、2/4 27年度：6/3、9/28

氏名	団体・役職
畑尻 明	岩間地区社会福祉協議会 会長 岩間地区連合町内会 会長
嘉山 晴久	笹山地区社会福祉協議会 会長
有澤 文紀	常盤台地区連合町内会 会長
安藤 悠子	和田地区民生委員児童委員協議会 会長
松野 忍	保土ヶ谷区老人クラブ連合会 副会長
尾本 亜紀子	保土ヶ谷区保健活動推進員会 副会長
桜井 左右美	保土ヶ谷区食生活等改善推進員会 副会長
福島 昭夫	保土ヶ谷区スポーツ推進委員連絡協議会 川島原地区会長 (26年度)
宮澤 義郎	保土ヶ谷区スポーツ推進委員連絡協議会 和田地区会長 (27年度)
岩泉 美子	天王町シングルメイト(きらり☆シニア塾) 代表
安藤 浩幸	保土ヶ谷区福祉保健センター担当部長

●担い手づくり・情報部会

26年度：7/31、9/29、1/23 27年度：6/1、10/5

氏名	団体・役職
金子 久夫	上新地区社会福祉協議会 会長 上新地区連合自治会 会長
加藤 肇一	西谷連合町会 会長 西谷地区社会福祉協議会 会長
相田 恵美子	保土ヶ谷区民生委員児童委員協議会 副会長
喜多 ヨシエ	星川地区民生委員児童委員協議会 会長
永野 美也子	ハートの会ボランティアグループ 副代表
進藤 義政	特定非営利活動法人NPOさくら 理事長
岩堀 祐一	ほどがや市民活動センターアワーズ センター長
中村 好美	学校・地域コーディネーター 第2期横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会委員
安藤 浩幸	保土ヶ谷区福祉保健センター担当部長

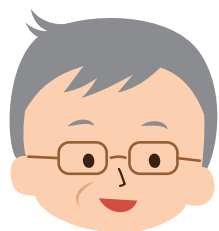
※単年度のみ御出席いただいた委員には、括弧内にその年度を表示しています。

本書の使い方

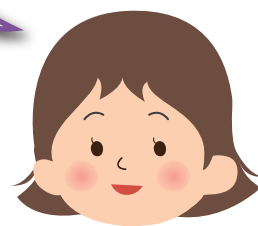
■ 家庭や団体での話し合いにご活用ください

それぞれのご家庭・団体において取組を確認したり、発展させたりするための話し合いにご活用ください。

「自分や家族でできる取組(自助)」のところを見てみると、自分や家庭でやっておいたほうがいいことを改めて考えるきっかけになったよ。



団体の取組を考えると、「地域の中での取組(共助)」のところを見ながらみんなで話すと、忘れていた大事な視点に立ち戻ることができるわ。



■ 目標の確認・共有にご活用ください

様々な活動者や団体が連携して、地域ぐるみで取組を進めるにあたって、地域の皆さんで立てた目標・目指す姿を確認・共有することが大切です。振り返りを行うときや、活動者が変わったとき、地域の活動を知らない方に説明するときなどにご活用ください。



第3期保土ヶ谷ほとなまちづくり(地域福祉保健計画)
—平成28年3月—

お問合せ

保土ヶ谷区役所 福祉保健課 事業企画担当

〒240-0001 保土ヶ谷区川辺町2-9

TEL:045-334-6343

FAX:045-333-6309

Eメール:ho-fukuho@city.yokohama.jp

社会福祉法人 横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会

〒240-0001 保土ヶ谷区川辺町5-11 かるがも3階

TEL:045-341-9876

FAX:045-334-5805

Eメール:h@shakyohodogaya.jp

ほとなまちづくり

検索

保土ヶ谷
ほっとな
まちづくり

